



当初設計

2023年度

新涯箕島線（橋梁下部）・5-1

福山市新涯町二丁目及び箕島町地内

道路改良工事実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=95.9m 場所打杭工 ϕ 1.0m L=4.5m N=6本 橋台躯体工 N=1基 仮設工 一式	

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路整備課 道路改良工事（新涯箕島線（橋梁下部）・5－1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」，「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
「令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書の1-1-1-26 週休二日の対応」は本工事においては適用しない。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。
- ・境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。
- ・受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- ・受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所、民地進入路の位置や勾配について監督員と協議すること。

第5節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第6節 現場代理人の常駐義務

- ・本工事において、現場代理人は常駐しなければならない。なお、やむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

第7節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受取方法について
作成者：受注者
納品方法：CD, DVD
作成方法：情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第8節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第9節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第10節 再生資源利用計画の現場掲示

- ・受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 大型土のう

・次のいずれかの要件に該当する場合は、袋体が破損する恐れがあるので「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル第2回改訂版（令和5年5月）で要求される性能（19項目）を全て満たした製品を使用すること。

- (1) 要領1m³当たりの中詰材重量が10kNを超える場合（20kN未満）
- (2) 2か月を超えて屋外へ使用する場合（3年未満）

第2節 コンクリートの配合指定

・鉄筋コンクリート（呼び強度30）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 施工箇所の制限

・本工事は重要港湾福山港内において、港湾管理者及び海岸管理者（広島県東部建設事務所港湾課）の同意を得て実施する行為であるため、**工事の施工に当たっては、事故防止及び海洋汚染防止に万全を期すと共に、港湾管理者及び海岸管理者の指示に従うこと。**

第2節 関連する別途工事

- ・工事名 : 道路改良工事（新涯箕島線・6-1）
- ・他工事の内容 : 釜屋公園付近における道路改良工事（擁壁工及び排水構造物工他）

第3節 関係機関との協議

- ・協議先機関名 : 福山市上下水道局施設部水づくり課
- ・協議内容 : 仮設盛土工施工時の新涯ポンプ場の運用について（施工スケジュール・安全管理）
: 工事期間中における新涯ポンプ場の出入口確保及び既設埋設（電気・通信）ケーブルの養生等について
- ・協議先機関名 : 福山市建設局土木部農林整備課
- ・協議内容 : 仮設盛土工施工時の唐樋排水機場の運用について（施工スケジュール・安全管理）
- ・協議先機関名 : 広島県警察本部福山東警察署
- ・協議内容 : 工事施工中の交通規制について
大型車通行禁止区間の通行許可について
- ・協議先機関名 : 中国電力ネットワーク株式会社
- ・協議内容 : A2橋台付近における中電柱・架空送電線の移設について
: クレーン作業時における架空高圧送電線とブームの離隔確保について
- ・協議先機関名 : 株式会社NTTフィールドテクノ
- ・協議内容 : A2橋台付近における架空通信線の移設について

第4節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第5節 水替・流入防止施設

- ・内容 : 汚濁防止フェンス（H=4.0m, L=61.1m）を施工すること。
（連続フロート）φ300, #300, 4×20m
- ・期間 : 仮設工の工事着手前から工事竣工時まで

第6節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。
また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。
尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。
したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第7節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。
なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25 度以上の日をいう。
ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3 位を四捨五入して2 位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第8節 指定仮設

- ・内容：仮設工 工事用道路工
- ・理由：橋梁下部工の施工及び重要港湾福山港湾内の流路確保のため、上記工種は指定仮設とし、設計図書に定める方法により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
【仮設盛土計画天端高】 T.P +2.24m
【仮設管渠必要排水流量】 Q = 71.08m³ /s 以上
【港湾区域内の水域及び公共空地の占用許可番号】 東建港第1075号

第9節 発生土（搬入）（他工事からの流用）

- ・本工事では、他工事からの発生土として次の搬入を予定している。
- ・搬入元工事名：国土交通省福山河川国道事務所管内工事
- ・搬入期間：2024年(令和6年)7月～11月（予定）
（搬入期間の詳細は、仮設盛土工・大型土のう工の施工時期を踏まえ調整する。）
- ・搬入数量：約4,600m³を見込んでいる。（仮設盛土工・大型土のう工）
- ・受渡し場所：本工事現場
- ・その他：工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

第10節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第11節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・実施伝票は原本を提出すること。

第12節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。の受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第13節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 現場標示板等について

「第20 回世界パラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。

- ・使用するロゴは「第20 回世界パラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に沿ったものとする。
 - ・「第20 回世界パラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
 - ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
 - ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
 - ・ロゴ標示期限は2026 年（令和8 年）3 月31 日とする。
- （デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。）

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-06.02.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 02 河川・道路構造物工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁下部					Y1E05 レベル1
A 2 橋台工	1	式			Y1E0505 レベル2
作業土工	1	式			Y1E050501 レベル3
床掘り 【土質】	1	式			Y1E05050102 レベル4
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	260	m3			SPK23040015 00 単第0 -0001 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E05050103 レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	160	m3			SPK23040020 00 単第0 -0002 表
基面整正		m2			Y1E05050104 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基面整正					SPK23040017 00
	44	m2			単第0 -0003 表
残土処理工					Y1E050310 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土質】					Y1E05031002レベル4
		m3			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)					SPK23040002 00
	80	m3			単第0 -0004 表
残土等処分					Y1E05031003レベル4
		m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 砂質土等					F0000000001 00
	80	m3			
場所打杭工					Y1E050504 レベル3
	1	式			
場所打杭 【杭径,杭長(設計長)】					Y1E05050401レベル4
		本			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基礎杭工 杭1本当り掘削長7.15m 設計杭径 1,000mm	6	本			S1030029 00 単第0 -0005 表
杭頭処理工	6	本			S0385 00 単第0 -0009 表
鉄筋工 SD345_D16 ~ D25 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t未満	3.17	t			SS000099 00 単第0 -0010 表
鉄筋工 SD345_D13 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t未満	0.04	t			SS000099 00 単第0 -0011 表
積込(ルーズ) 【土質】		m3			Y1E05050402レベル4
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	20	m3			SPK23040007 00 単第0 -0012 表
積込(ルーズ) 破碎岩 土量50,000m3未満	8	m3			SPK23040007 00 単第0 -0013 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E05050103レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	8	m3			SPK23040020 00 単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05050405レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	20	m3			SPK23040002 00 単第0 -0004 表
土砂等運搬 標準 硬岩 DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	8	m3			SPK23040002 00 単第0 -0015 表
残土等処分 【土質】		m3			Y1E05050406レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費 砂質土等	20	m3			F0000000001 00
残土処分費 硬岩	8	m3			F0000000002 00
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1E05050407レベル4
コンクリート殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離28.4km以下(23.2km超)	5	m3			SPK23040152 00 単第0 -0016 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 【殻種別】		m3			Y1E05050408 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻処分費 再生工場搬入	11	t			F0000000003 00
橋台躯体工(構造物単位)	1	式			Y1E050507 レベル3
逆T式橋台 【高さ区分,打設量化粧型枠の有無】		m3			Y1E05050701 レベル4
逆T式橋台 90m3以上160m3未満 (H5m以上7m未満) 生コンクリート(各種)	127	m3			S3076 00 単第0 -0017 表
円形型枠材料費 各種箱抜き	1	式			V0001 00 単第0 -0019 表
コンクリート保護塗装工 CC-B塗装	36	m2			V0002 00 単第0 -0020 表
鉄筋 【鉄筋材料規格・径】		t			Y1E05050702 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 SD345_D16~D25 一般構造物 [規]10t未満	4.91	t			SS000099 00 単第0 -0021 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.71	t			SS000099 00 単第0 -0022 表
護床工	1	式			Y1C0105 レベル2
護床工	1	式			Y1C010503 レベル3
既設護床撤去工 【石材規格】		m3			Y1C01050301 レベル4
既設護床切断工 水中作業	494	m			V0003 00 見積り 単第0 -0023 表
既設護床撤去工 水中作業	744	m2			V0004 00 見積り 単第0 -0024 表
既設捨石撤去工 水中作業 再利用撤去	18	m3			V0005 00 見積り 単第0 -0025 表
運搬処理工	1	式			Y1C011416 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1C01141601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離34.3km以下(28.4km超)	74	m3			SPK23040152 00 単第0 -0026 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1C01141602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
既設護床マット処分費 廃プラスチック類・がれき類混成 安定型最終処分場・埋立処分	156	t			F000000015 00
構造物撤去工	1	式			Y1G0228 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G022806 レベル3
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分,工法区分】		m3			Y1G02280601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	4	m3			SDT00031 00 A 2側 水叩きコンクリート 単第0 -0027 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 【舗装版種別,舗装版の全体厚】		m			Y1G02280602レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下	6	m			SPK23040306 00 A 2側 水叩きコンクリート 単第0 -0028 表
運搬処理工	1	式			Y1G022816 レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G02281601レベル4
コンクリート殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離28.4km以下(23.2km超)	4	m3			SPK23040152 00 A 2側 水叩きコンクリート 単第0 -0016 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G02281602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻処分費 再生工場搬入	10	t			F0000000003 00 A 2側 水叩きコンクリート
仮設工	1	式			Y1E0512 レベル2

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工事用道路工					Y1E051201 レベル3
	1	式			
工事用道路盛土 【施工幅員】					Y1E05120101 レベル4
		m3			
仮設盛土工 Aブロック 潮待ち補正係数1.23					V0006 00
	250	m3			見積り 単第0 -0029 表
仮設盛土工 Bブロック 潮待ち補正係数1.25					V0007 00
	820	m3			見積り 単第0 -0030 表
仮設盛土工 Cブロック 潮待ち補正係数1.25					V0008 00
	780	m3			見積り 単第0 -0031 表
仮設盛土工 Dブロック 潮待ち補正係数1.28					V0009 00
	750	m3			見積り 単第0 -0032 表
防砂シート敷設工 Aブロック 潮待ち補正係数1.03					V0010 00
	292	m2			見積り 単第0 -0033 表
防砂シート敷設工 Bブロック 潮待ち補正係数1.27					V0011 00
	597	m2			見積り 単第0 -0034 表
防砂シート敷設工 Cブロック 潮待ち補正係数1.27					V0012 00
	528	m2			見積り 単第0 -0035 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防砂シート敷設工 Dブロック 潮待ち補正係数1.14	282	m2			V0013 00 見積り 単第0 -0036 表
敷鉄板 【鋼材規格,作業区分】		m2			Y1E05120104レベル4
敷鉄板設置	362	m2			S1050041 00 単第0 -0037 表
敷鉄板撤去	362	m2			S1050043 00 単第0 -0039 表
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間138日	78	枚			S1050029 00 単第0 -0040 表
土のう		袋			Y1E05120111レベル4
大型土のう製作	1,436	袋			SHD10007 00 単第0 -0041 表
大型土のう工 Aブロック 潮待ち補正係数1.03 設置手間のみ	284	袋			V0014 00 見積り 単第0 -0043 表
大型土のう工 Bブロック 潮待ち補正係数1.27 設置手間のみ	444	袋			V0015 00 見積り 単第0 -0044 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
大型土のう工 Cブロック 潮待ち補正係数1.27 設置手間のみ	448	袋			V0016 00 見積り 単第0 -0045 表
大型土のう工 Dブロック 潮待ち補正係数1.14 設置手間のみ	260	袋			V0017 00 見積り 単第0 -0046 表
水替工	1	式			Y1E051206 レベル3
ポンプ排水 【排水量,排水方法】		日			Y1E05120601 レベル4
水替工 排水量 40以上120未満 (m3/h) 作業時排水	1	式			V0018 00 A 2 橋台 単第0 -0047 表
仮水路工	1	式			Y1E051208 レベル3
仮設管渠工		m			Y1E05120803 レベル4
仮設管渠工 Bブロック 潮待ち補正係数1.45 設置手間のみ	60	m			V0019 00 見積り 単第0 -0053 表
仮設管渠工 Cブロック 潮待ち補正係数1.45 設置手間のみ	40	m			V0020 00 見積り 単第0 -0054 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
高耐圧ポリエチレン管材料費 呼び径1800mm	1	式			V0022 00 単第0 -0055 表
裏込め工 潮待ち補正係数1.45 標準突出型断面 M-30	630	m3			V0021 00 見積り 単第0 -0056 表
汚濁防止工	1	式			Y1E051215 レベル3
汚濁防止フェンス 【作業区分】		m			Y1E05121501 レベル4
汚濁防止膜工 設置 汚濁防止膜 (連続フロート) 300, # 300, 4 × 20m 買取	61	m			S1050001 00 単第0 -0058 表
交通管理工	1	式			Y1E051221 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1E05122101 レベル4
交通誘導警備員B	250	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
重建設機械分解組立輸送費	1	式			YZZ04001003 レベル4
重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系 35t吊超え80t吊以下		回			YZZ04001003 レベル4
重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系 35t吊超え80t吊以下	1	回			S1000017 00 単第0 -0061 表
重建設機械分解組立輸送 オールケーシング掘削機(クローラ式)	1	回			S1000017 00 単第0 -0062 表
仮設材運搬費					YZZ04001004 レベル4
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 6.8km 製品長 12m以内		t			YZZ04001004 レベル4
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 6.8km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0063 表
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					

図面番号	1 / 2 3	縮 尺	S=1:10,000
工 種	道路改良工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	新漕箕島線 (橋梁下部) ・ 5 - 1		
工事箇所	福山市新漕町二丁目及び箕島町地内		

令和5年度
国補

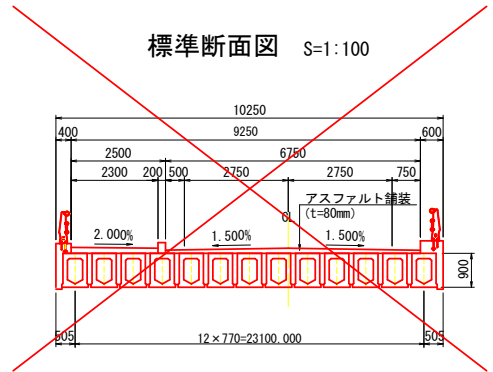
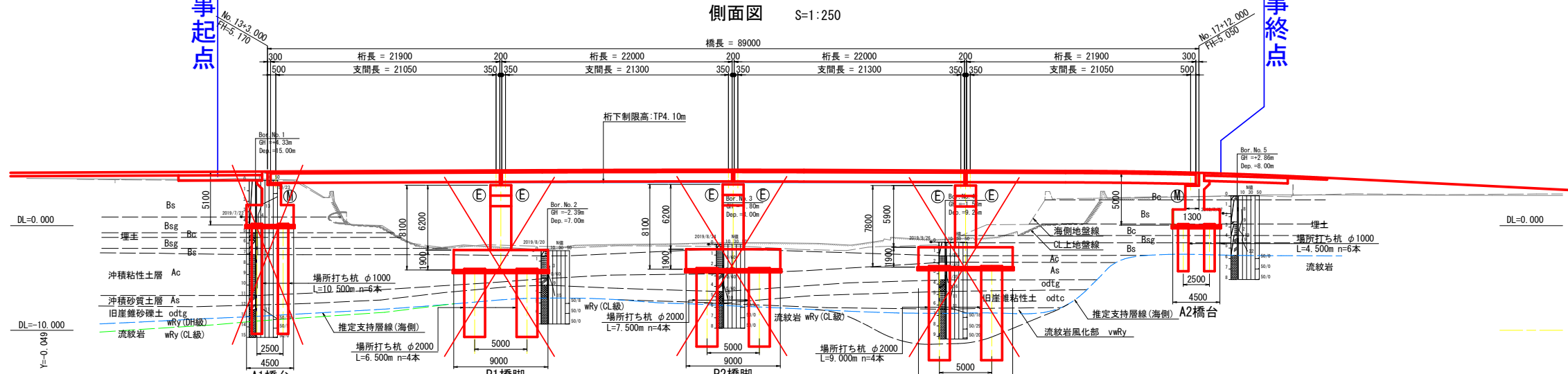
福 山 市



橋梁一般図

工事延長 L=95.9m
 場所打杭工 φ1.0m L=4.5m N=6本 橋台躯体工 N=1基 仮設工 一式

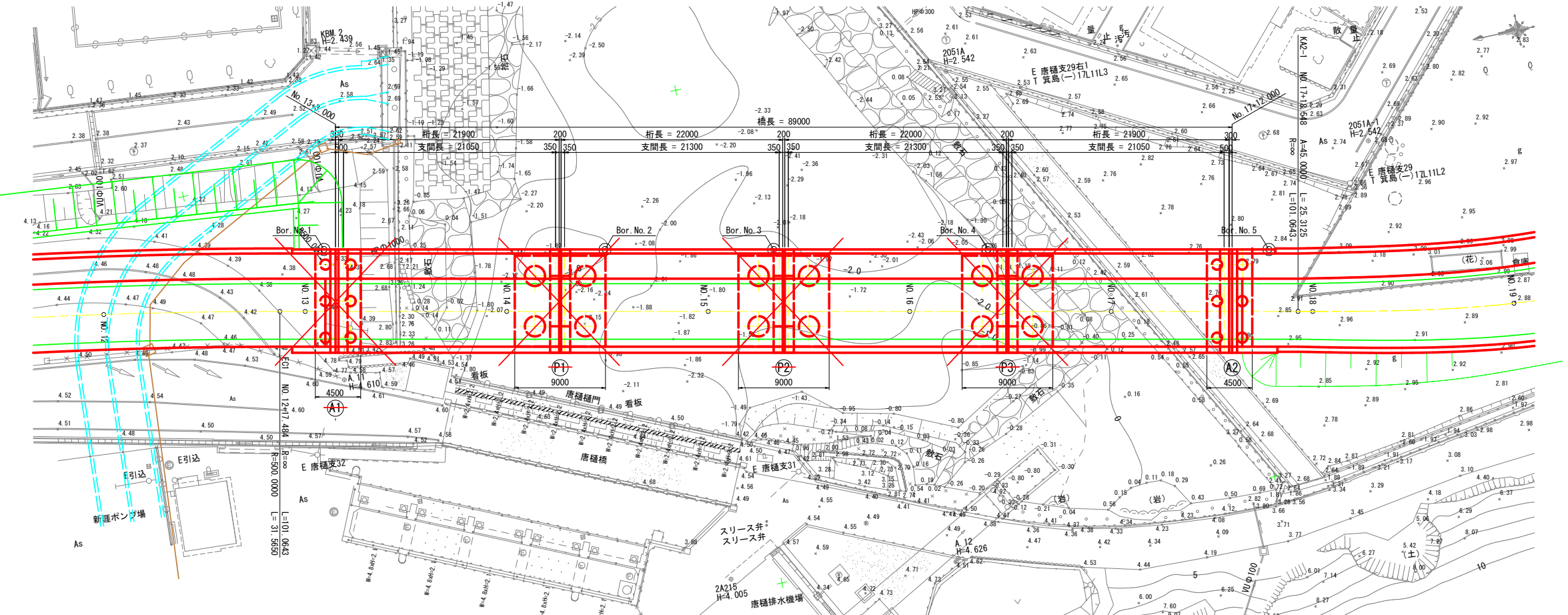
側面図 S=1:250



勾配	VCL = 40.00m Y = 0.000045 · X ²		VCR = 11100 Y = 0.00017086 · X ²		VCL=25000 Y = 0.00017086 · X ²		VCR = 2926 Y = 0.000942 · X ²		VCL=25000 Y = 0.000942 · X ²		VCR = 530 Y = 0.000942 · X ²		
計画高	4.853	5.144	5.156	5.170	5.224	5.251	5.276	5.328	5.330	5.317	5.299	5.270	
地盤高		4.41	4.50	4.43	-2.04	-2.06	-2.22	-1.76	-1.74	-1.62	-1.67	-1.20	
追加距離	200.000	257.484	260.000	263.000	280.000	285.300	289.256	300.000	301.756	314.256	320.000	329.700	
測点	No.10	EC1	No.13	A1橋台	No.14	P1橋脚	+9.256	No.15	+1.756	P2橋脚	+14.256	No.16	+19.256

平面図 S=1:250

※KA2-1が筑島工区の道路設計の測点No.17+16.792とする。(1.756mブレーキ有り。)



設計条件		
橋名	(仮称)新唐橋橋	
路線名	市道 新運実島線	
道路規格	第3種 第4級	
橋長	89.000m	
支間長	21.050m+21.300m+21.300m+21.050m	
幅員	有効幅員	2.500+0.500+2.750+2.750+0.750=9.250m
	全幅	0.400+9.250+0.600=10.250m
設計速度	V= 30 km/h	
横断勾配	車道: 1.500%, 歩道: 2.000%	
縦断勾配	0.285%~0.300%~4.280%	
斜角	90° 00' 00"	
設計荷重	A活荷重	
橋の重要度区分	A種の橋	
型式	上部工	プレテンション方式4径間連続ホロノ橋
	橋台	逆T式橋台
	橋脚	張出し式橋脚
	基礎工	杭基礎
適用示方書	道路橋示方書-同解説1~V (平成29年11月)	

福山港潮位表		
潮位種別	C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高潮面	4.96 3.00
H.W.L	最高潮面	4.20 2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87 1.91
M.S.L	平均水面	2.10 0.14
T.M.S.L(旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96 0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01 -0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18 -1.78
C.D.L	最低水面	0.00 -1.96

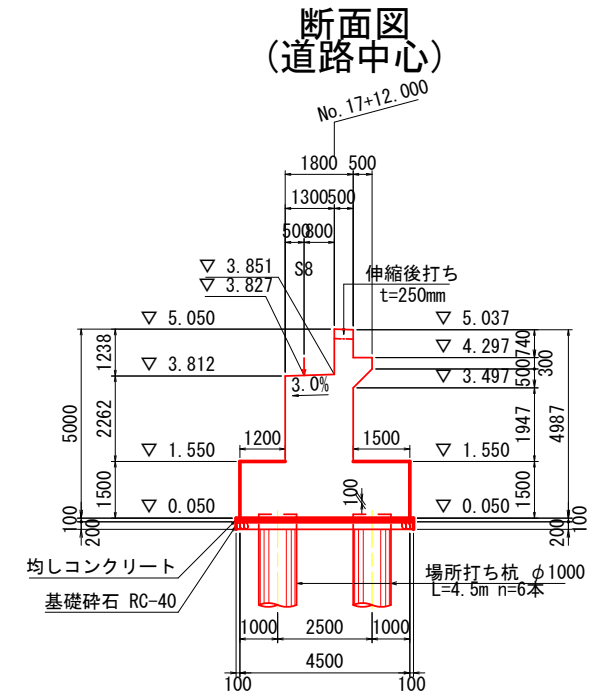
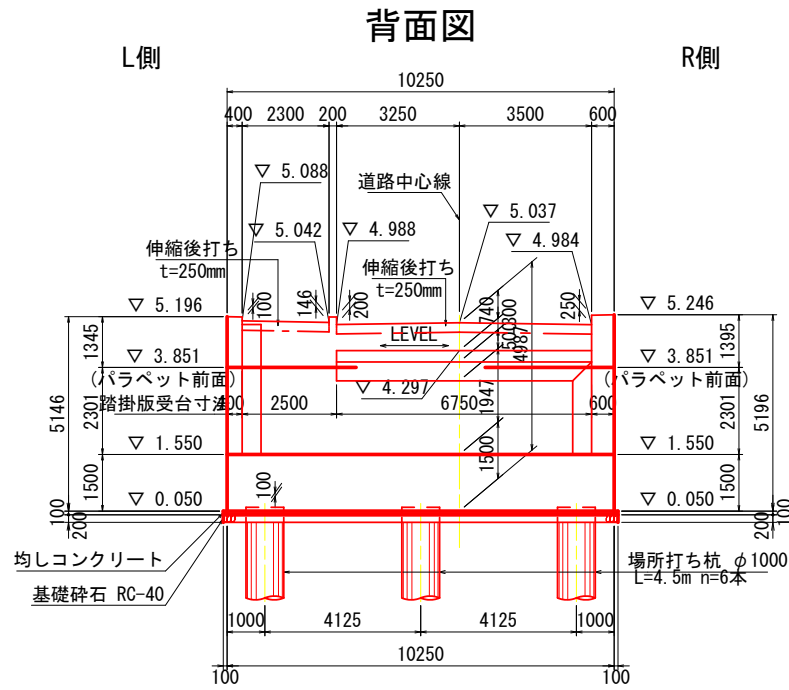
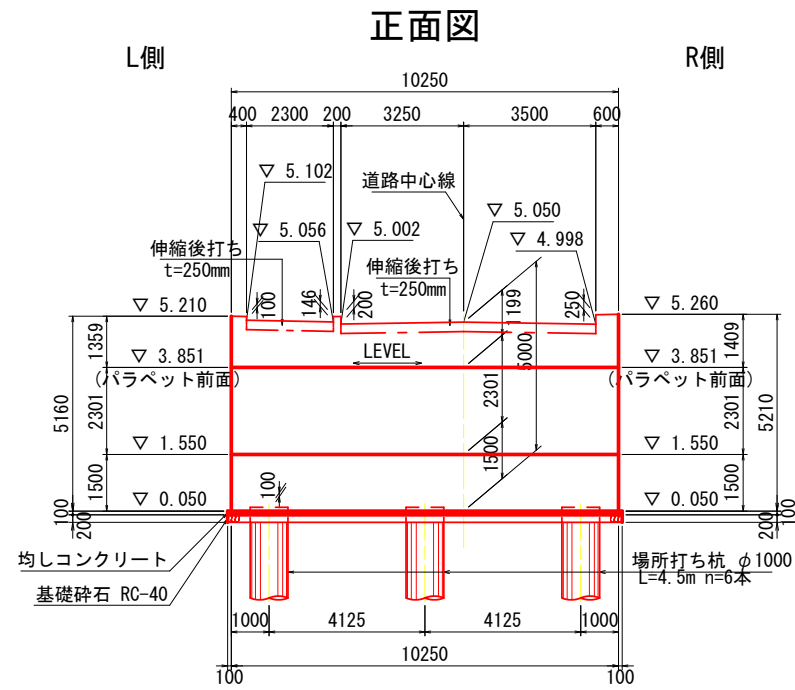
※T.M.S.L(旧称T.P)で図示している。

令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新運実島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	橋梁一般図		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

A2橋台構造一般図(その1) S=1:100 (M)



下部工設計条件

名称	仕様
上部工形式	プレテンション方式PC4径間連続橋台ロー桁橋
下部工形式	逆T式橋台
支承条件	可動支承
下部工設計基準強度	踏掛版 24 N/mm ² -20 (25)-12 橋台 30 N/mm ² -20 (25)-12
下部工鉄筋種別	SD 345
鉄筋定着長	踏掛版 35φ 橋台 30φ
鉄筋最大定尺長	12m
基礎工形式	場所打ち杭 φ1000
基礎工設計基準強度	24 N/mm ² (呼び強度 30 N/mm ² -20 (25)-12)
基礎工鉄筋種別	SD 345
基礎工定着長	杭頭 : 30φ+10φ 杭体内 : 45φ
塩害対策区分	塩害対策区分 S区分

注) 橋台背面は良質土で埋め戻すこと。

下部工計画高表

	A2橋台 (S8上)		
	G1	CL	G13
計画高	5.1204	5.0713	5.2688
舗装厚	0.1889	0.1398	* 0.3373
桁天端高	4.932	4.932	4.932
主桁高	0.900	0.900	0.900
レアー厚	0.010	0.010	0.010
支承厚	0.155	0.155	0.155
モルタル厚	0.040	0.040	0.040
橋座高	3.827	3.827	3.827
支承線方向勾配	LEVEL		

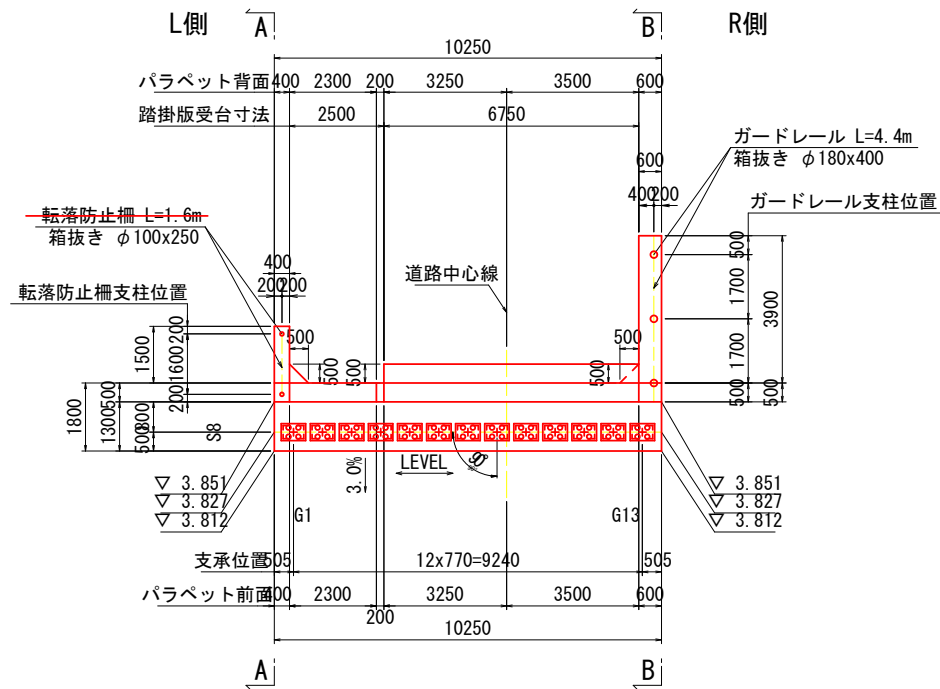
注1) *印の舗装厚(t)は、地覆高を含んだ厚さを示す。
注2) G13の計画高(Z1)、舗装厚(t)は、地覆天端勾配を考慮しない値とする。

令和5年度
国補

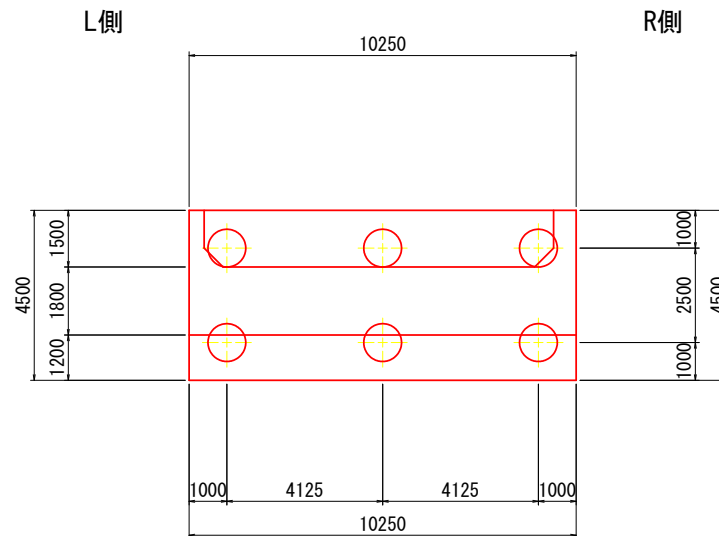
※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新運賃島線(橋梁下部)・5-1)
図面名	A2橋台構造一般図(その1)
作成年月日	2024年(令和6年)2月
縮尺	図示 図面番号 3 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社
事業者名	福山市

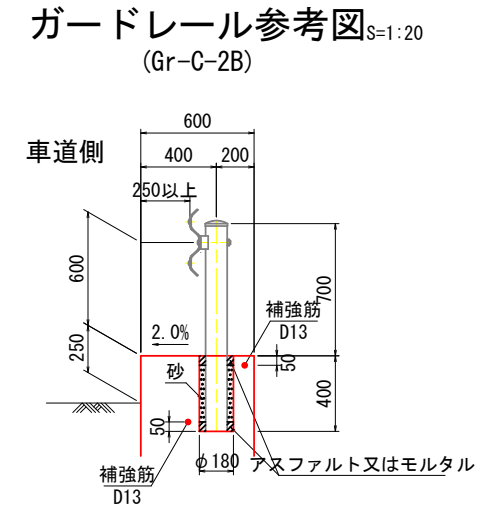
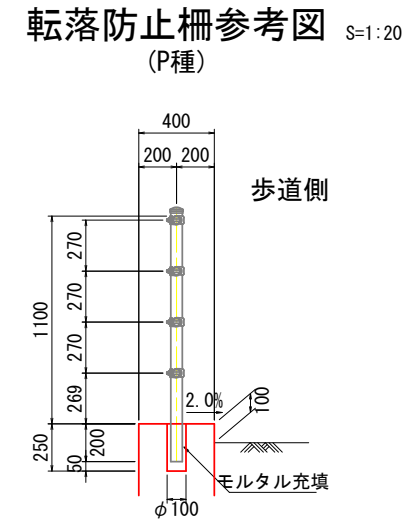
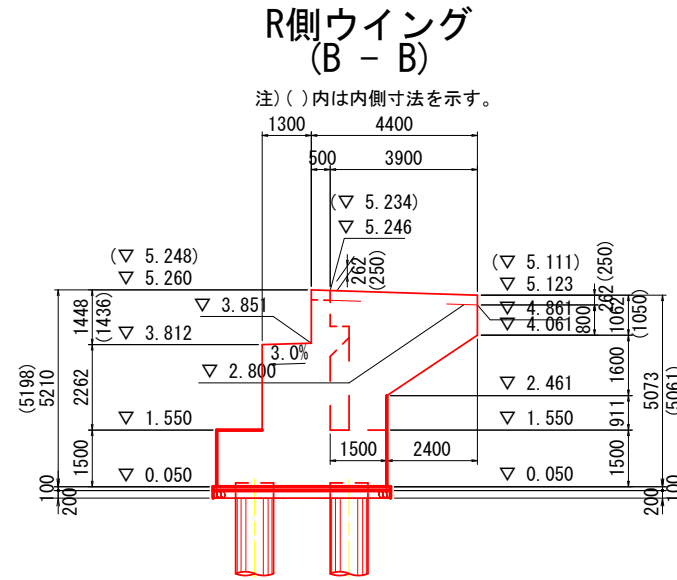
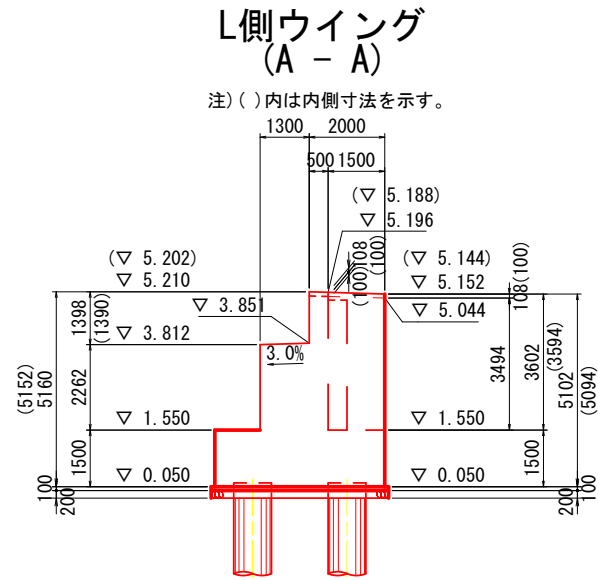
橋座平面図



底板平面図

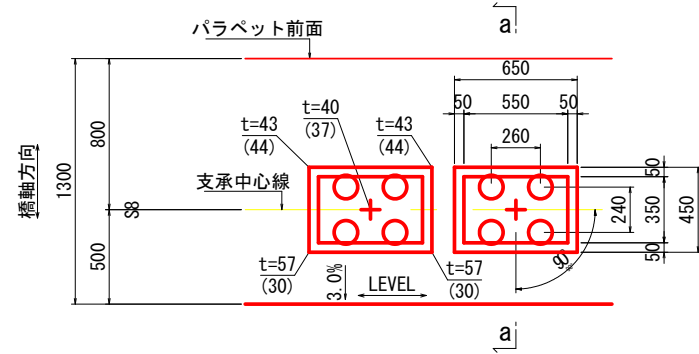


A2橋台構造一般図(その2) S=1:100 (M)

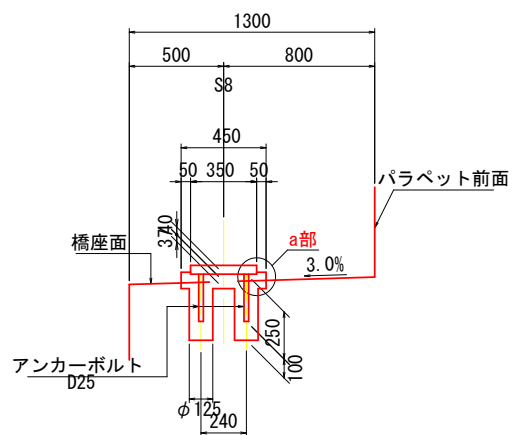


支承詳細図 平面図 S=1:20

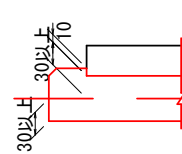
注) tはモルタル厚を示し、()内は箱抜き深さを示す。



a-a 橋軸方向

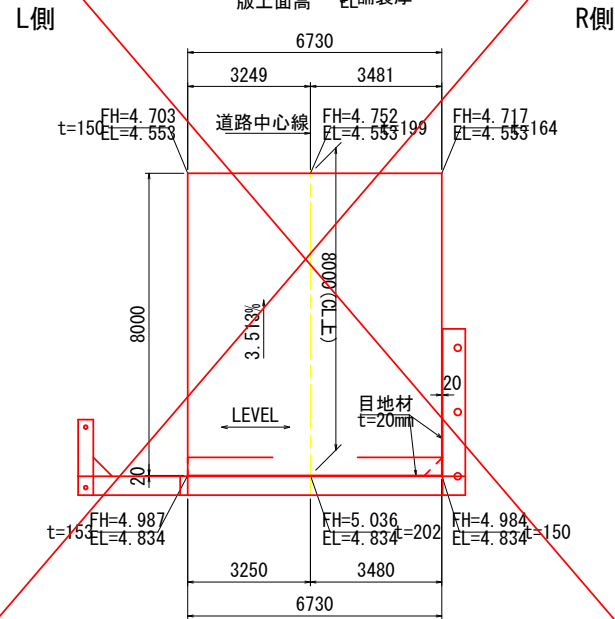


a部詳細図 S=1:5

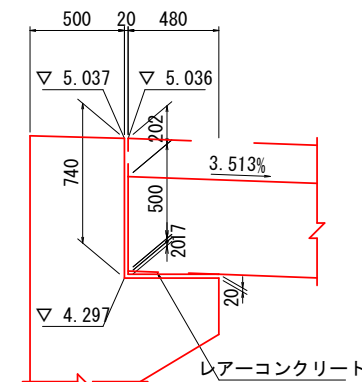


踏掛版詳細図 (版厚=500)

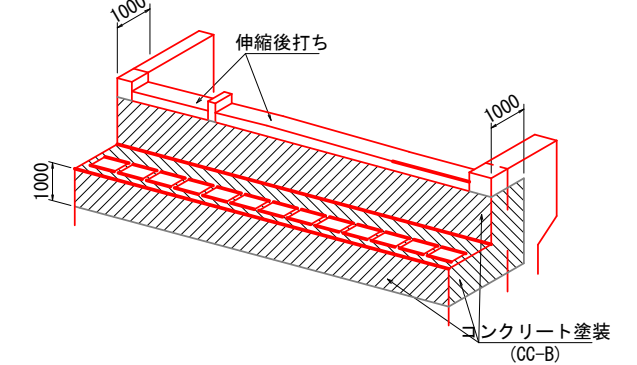
路面計画高 FH
版上面高 付舗装厚



受台詳細図 S=1:20



コンクリート塗装工 (CC-B)



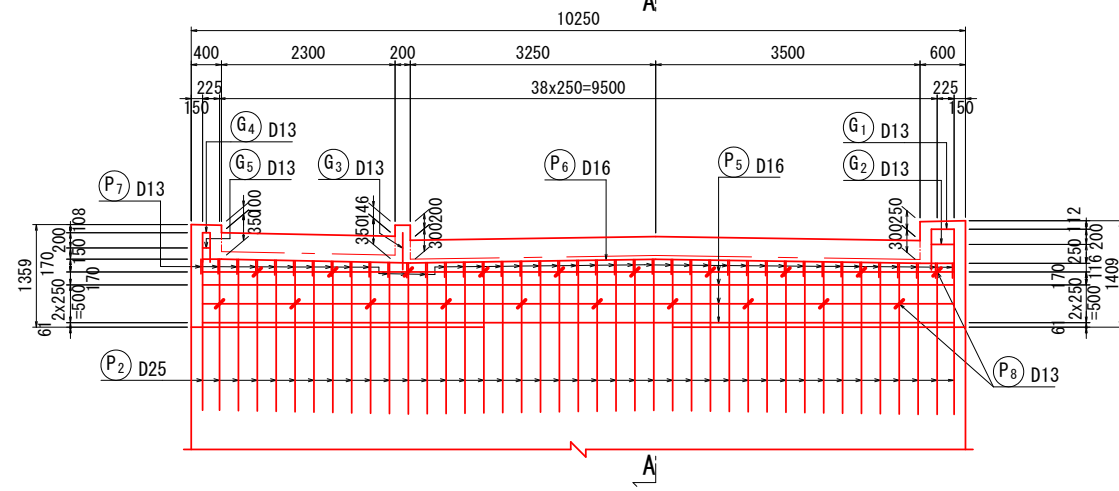
令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

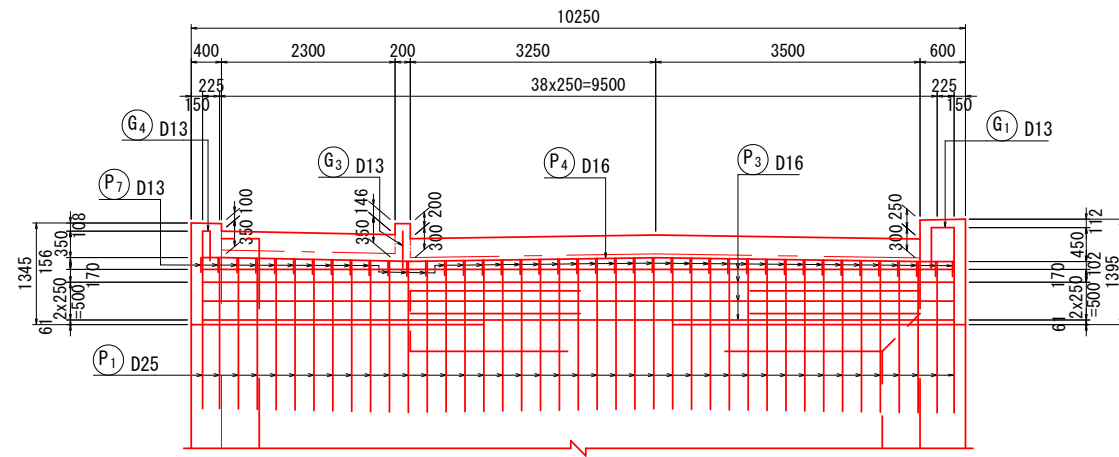
工事名	道路改良工事(新運算島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	A2橋台構造一般図(その2)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

A2橋台配筋図(その1) S=1:50

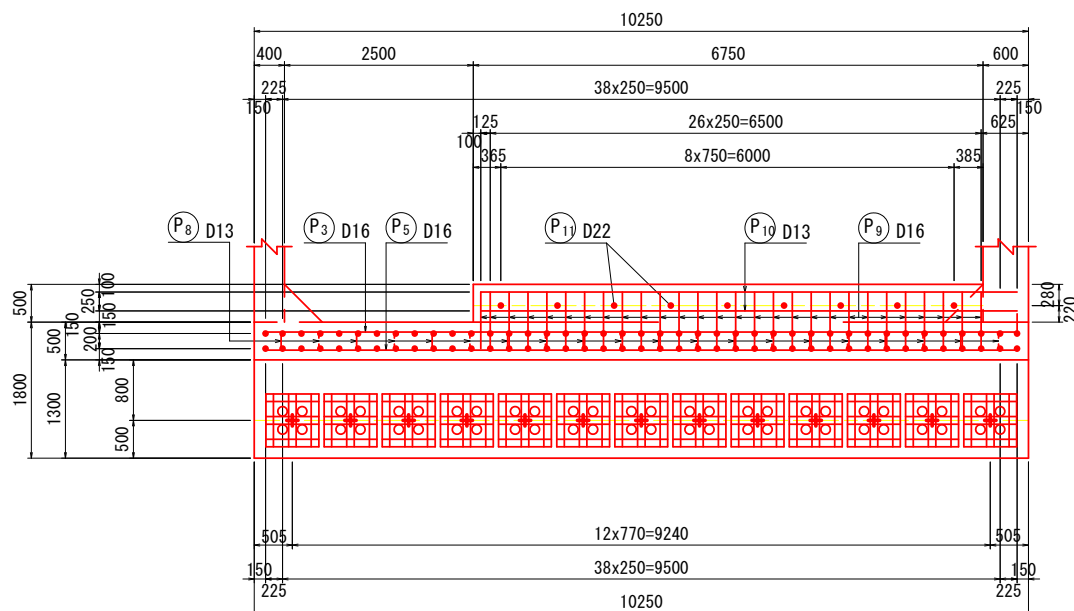
1 - 1



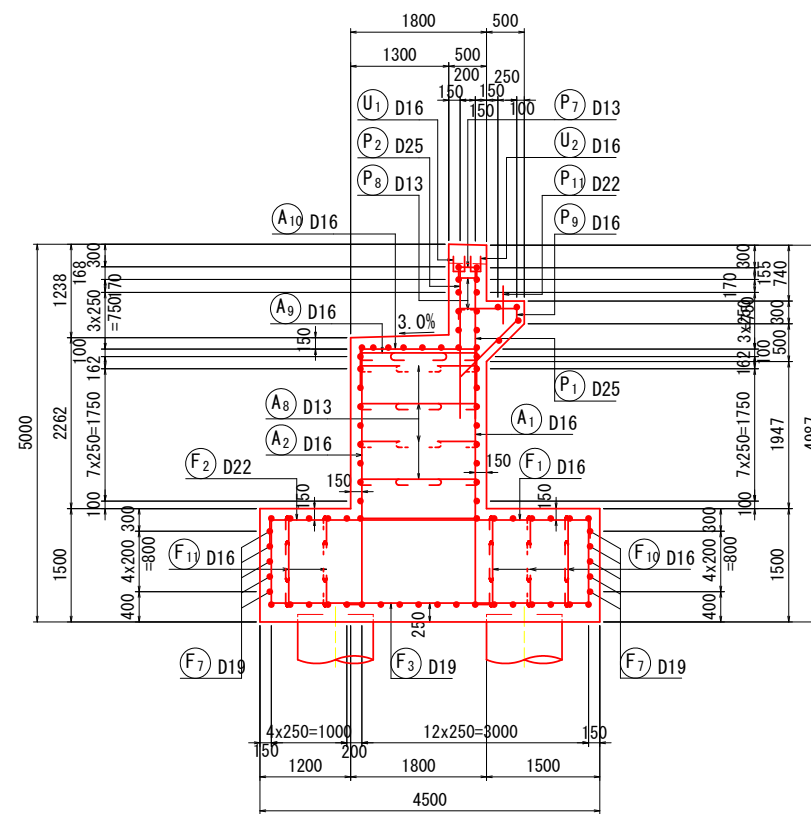
2 - 2



3 - 3

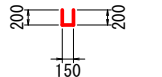
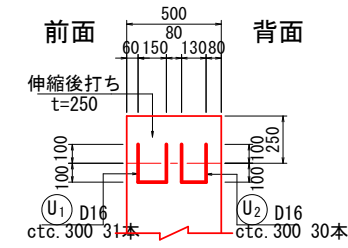


断面図 (A-A)

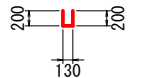


伸縮継手補強筋 S=1:20

注) 位置については伸縮図面参照のこと。

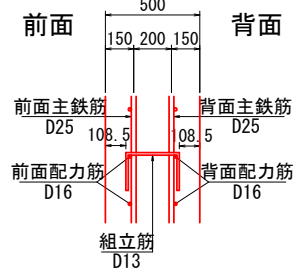


U1 31-D16 X 550



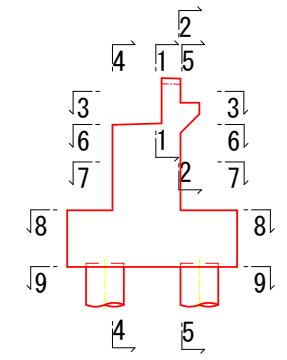
U2 30-D16 X 530

かぶり詳細図 (パラベット) S=1:20



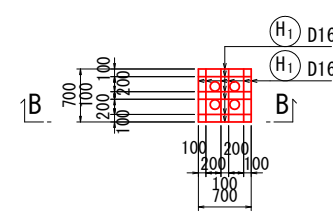
注) 背面配力筋はウイング補強筋を兼ねる。

位置図



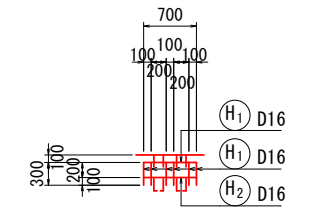
沓座補強鉄筋

平面図



H1 156-D16 X 1300

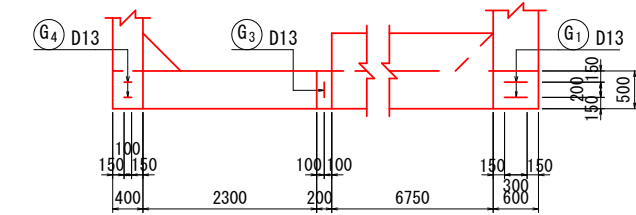
B - B



注) 純かぶり90mmを確保できるように鉄筋を配置すること。

H2 26-D16 X 1910

地覆平面図



G1 2-D13 X 1380
G2 1-D13 X 720
G3 1-D13 X 1180
G4 2-D13 X 880

G2 1-D13 X 720

G5 1-D13 X 520

下部工設計条件

名称	仕様
下部工設計基準強度	30 N/mm ²
下部工鉄筋種別	SD 345
鉄筋定着長	30φ
鉄筋最大定尺長	12m
塩害対策区分	塩害対策区分 S区

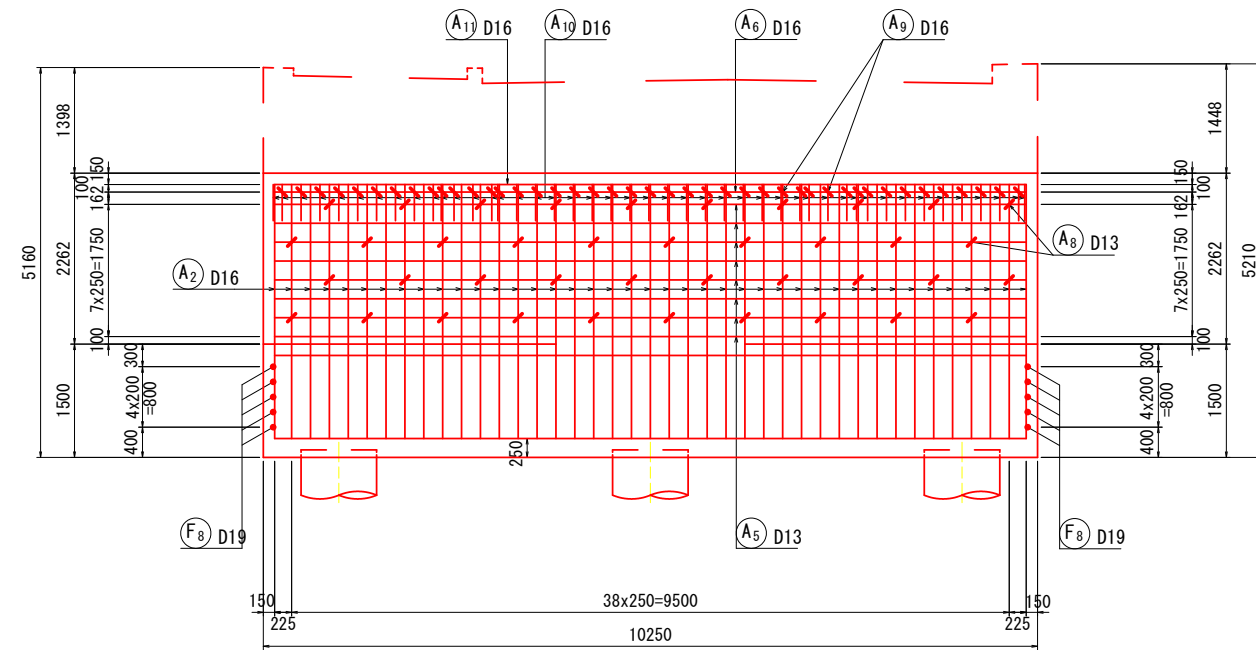
※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新渥美島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	A2橋台配筋図(その1)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	5 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

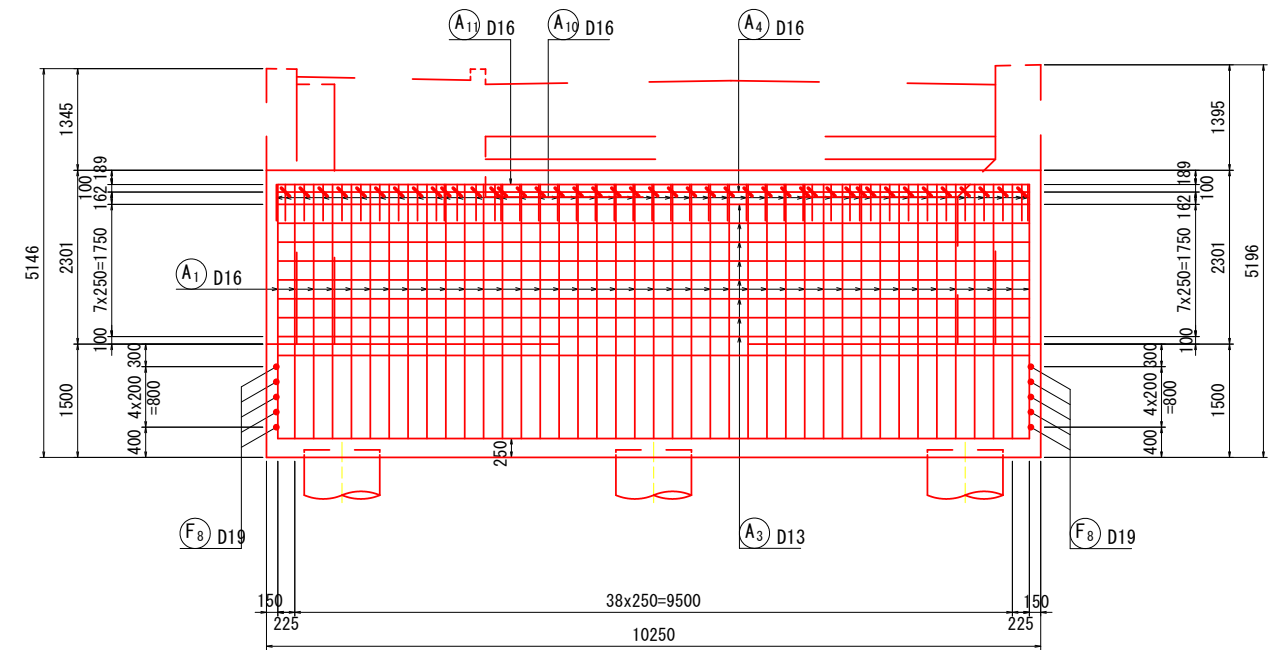
令和5年度
国補

A2橋台配筋図(その2) S=1:50

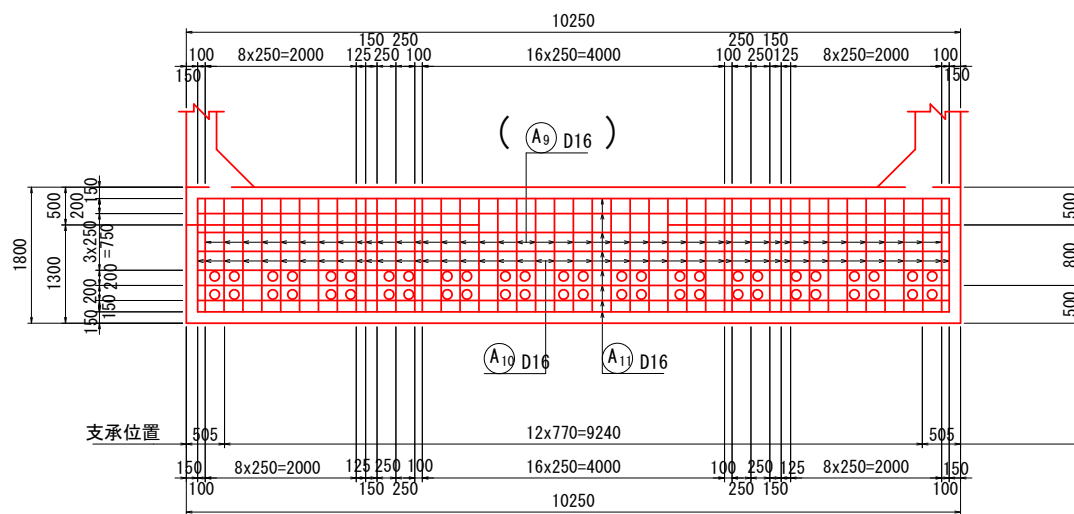
4 - 4



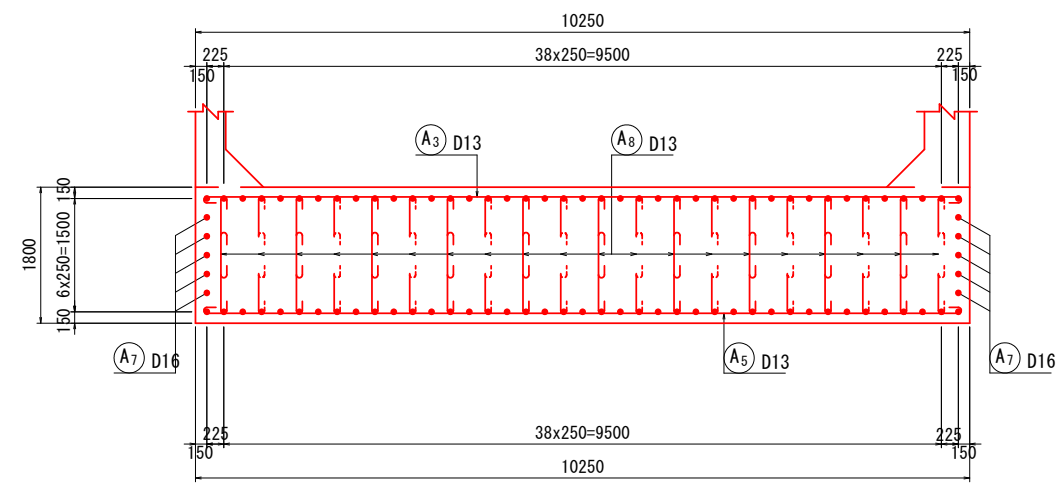
5 - 5



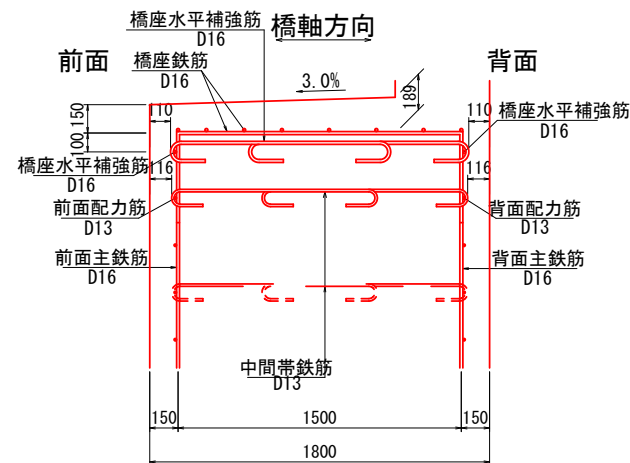
6 - 6 注) ()内は沓座水平補強筋を示す。



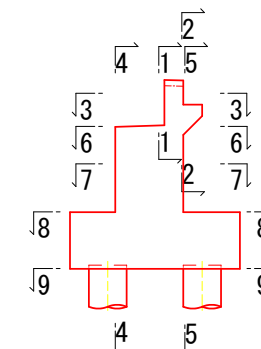
7 - 7



かぶり詳細図 S=1:20



位置図



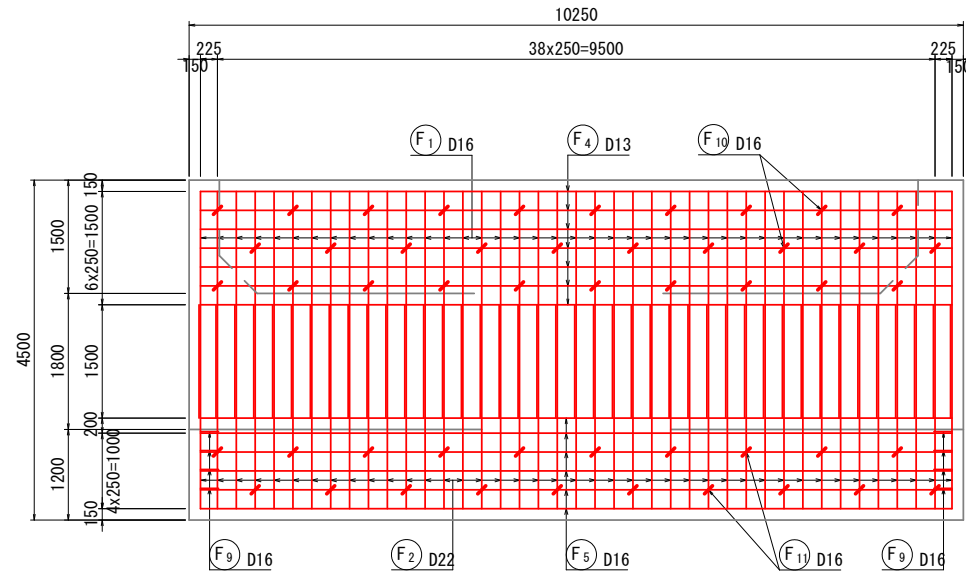
令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

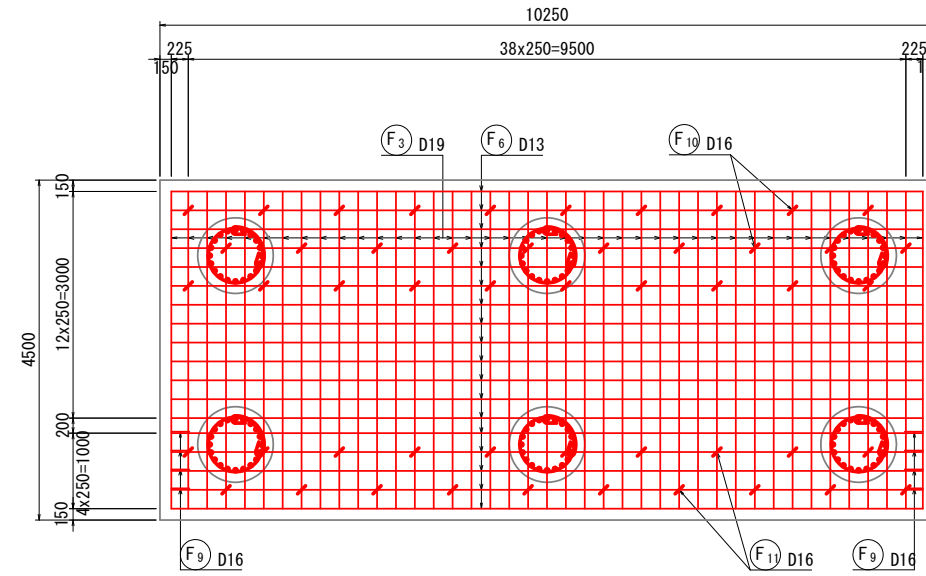
工事名	道路改良工事(新運賃島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	A2橋台配筋図(その2)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	6 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

A2橋台配筋図(その3) S=1:50

8 - 8

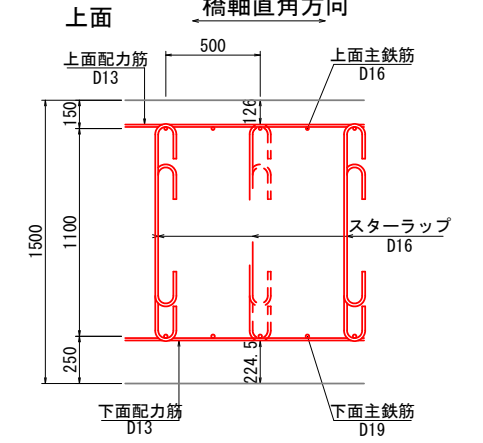


9 - 9



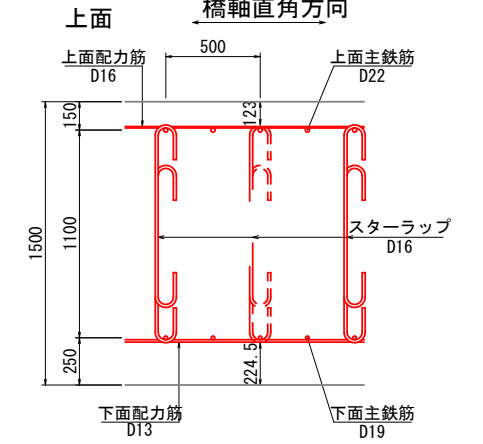
かぶり詳細図 S=1:20

(底板後趾)
橋軸直角方向



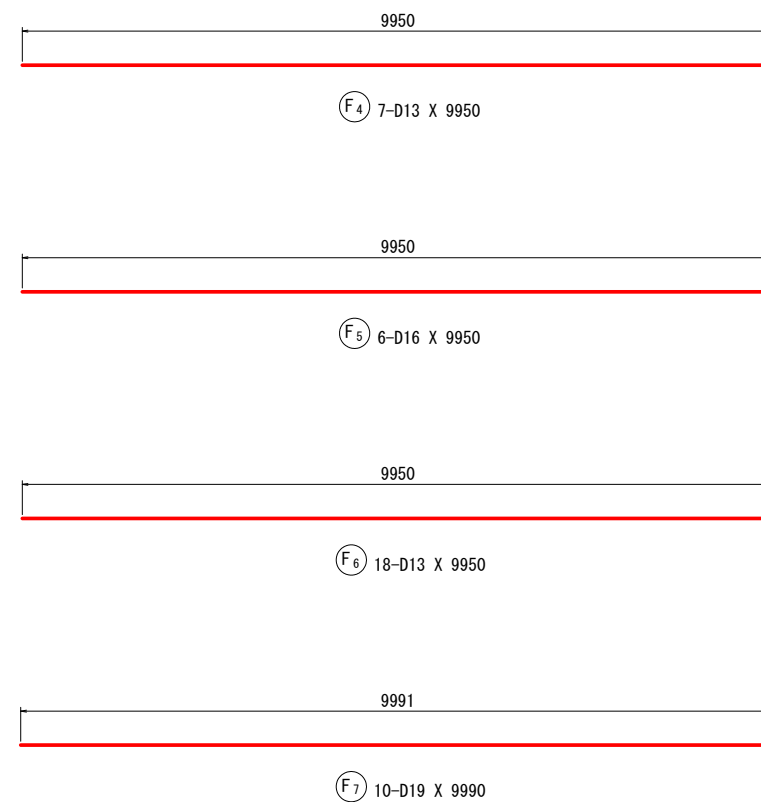
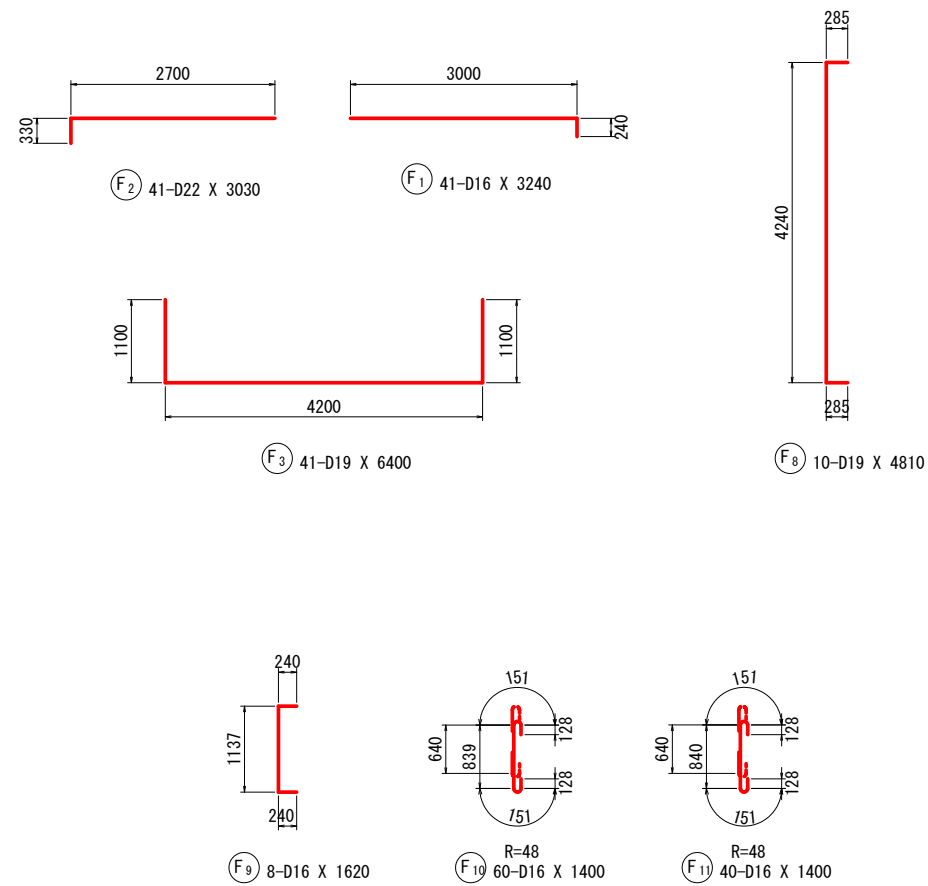
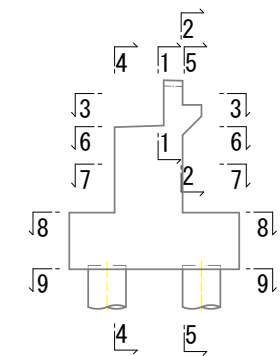
下面

(底板前趾)
橋軸直角方向



下面

位置図

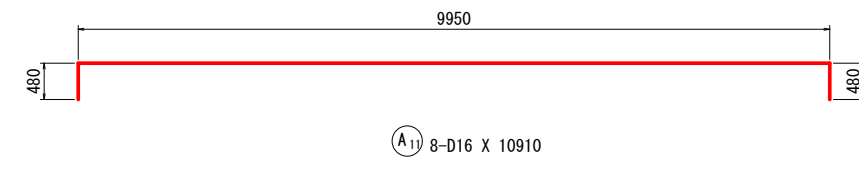
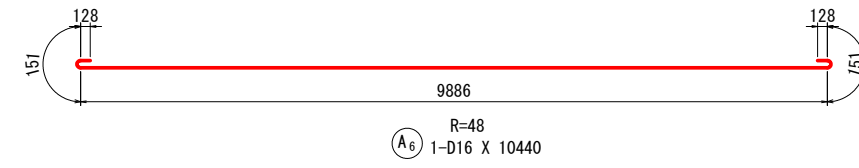
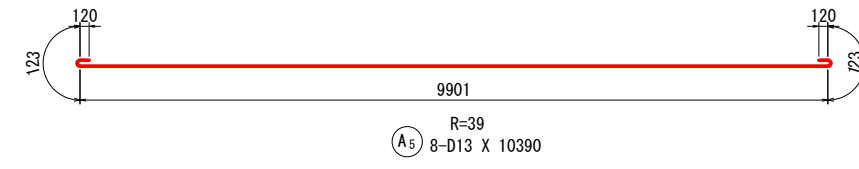
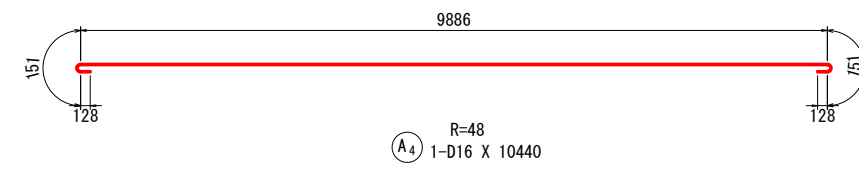
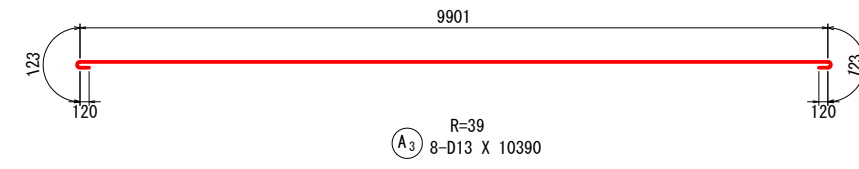
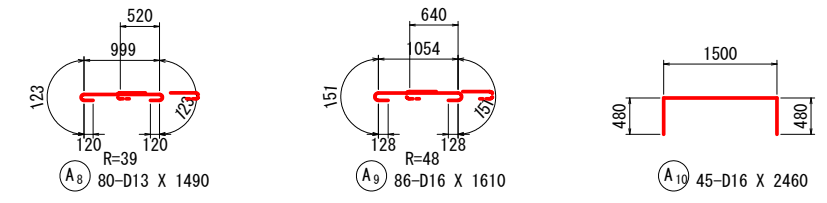
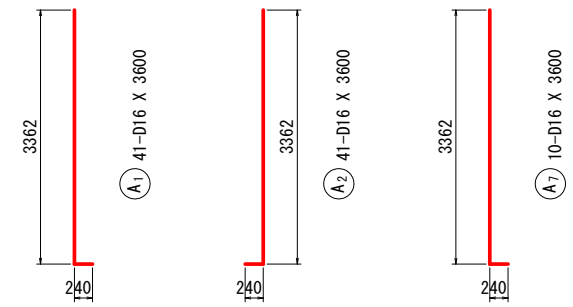
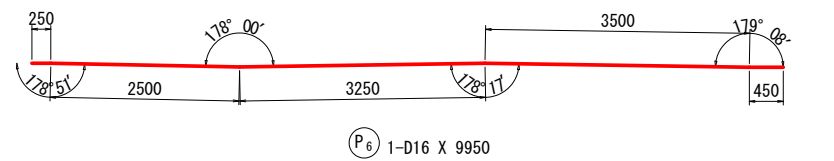
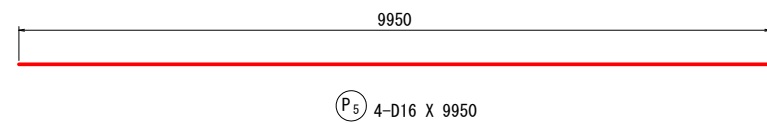
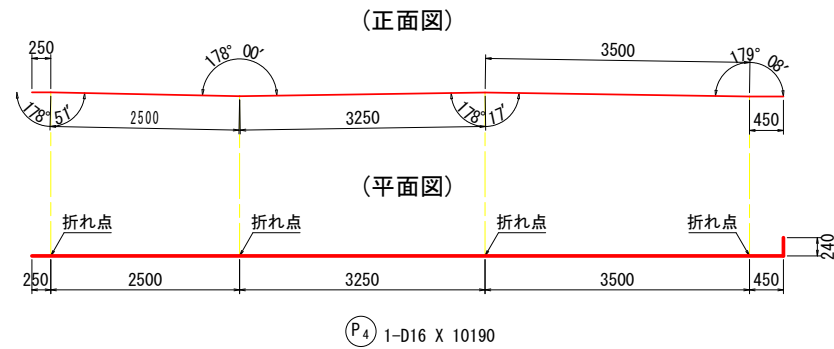
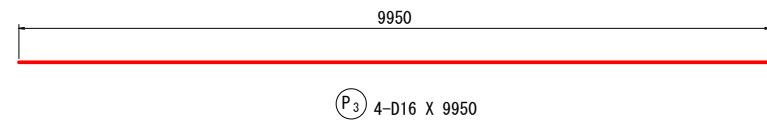
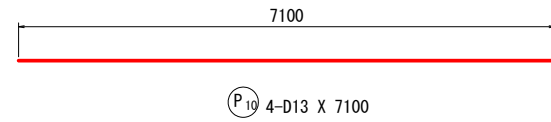
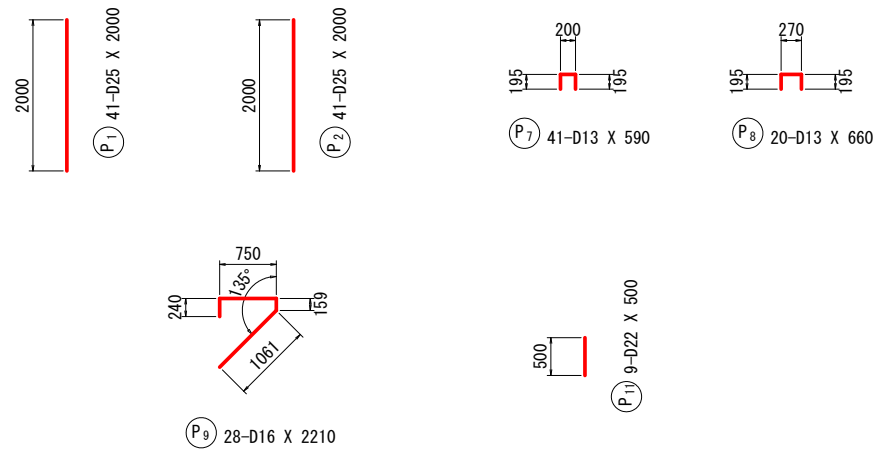


令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新渥美島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	A2橋台配筋図(その3)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	7 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

A2橋台配筋図(その4) S=1:50



令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新運算島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	A2橋台配筋図(その4)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

A2橋台配筋図(その5) S=1:50

鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
P ₁	D25	2000	41	3.98	7.96	326		
P ₂	"	2000	41	"	7.96	326		
P ₃	D16	9950	4	1.56	15.52	62	—	
P ₄	"	10190	1	"	15.90	16	—	
P ₅	"	9950	4	"	15.52	62	—	
P ₆	"	9950	1	"	15.52	16	—	
P ₇	D13	590	41	0.995	0.59	24	□	
P ₈	"	660	20	"	0.66	13	□	
P ₉	D16	2210	28	1.56	3.45	97	∟	
P ₁₀	D13	7100	4	0.995	7.06	28	—	
P ₁₁	D22	500	9	3.04	1.52	14		
							984	
A ₁	D16	3600	41	1.56	5.62	230		
A ₂	"	3600	41	"	5.62	230		
A ₃	D13	10390	8	0.995	10.34	83	—	
A ₄	D16	10440	1	1.56	16.29	16	—	
A ₅	D13	10390	8	0.995	10.34	83	—	
A ₆	D16	10440	1	1.56	16.29	16	—	
A ₇	"	3600	10	"	5.62	56		
A ₈	D13	1490	80	0.995	1.48	118	↔	
A ₉	D16	1610	86	1.56	2.51	216	↔	
A ₁₀	"	2460	45	"	3.84	173	□	
A ₁₁	"	10910	8	"	17.02	136	—	
							1357	
F ₁	D16	3240	41	1.56	5.05	207	—	
F ₂	D22	3030	41	3.04	9.21	378	—	
F ₃	D19	6400	41	2.25	14.40	590	□	
F ₄	D13	9950	7	0.995	9.90	69	—	
F ₅	D16	9950	6	1.56	15.52	93	—	
F ₆	D13	9950	18	0.995	9.90	178	—	
F ₇	D19	9990	10	2.25	22.48	225	—	
F ₈	"	4810	10	"	10.82	108		
F ₉	D16	1620	8	1.56	2.53	20	□	
F ₁₀	"	1400	60	"	2.18	131	□	
F ₁₁	"	1400	40	"	2.18	87	□	
							2086	

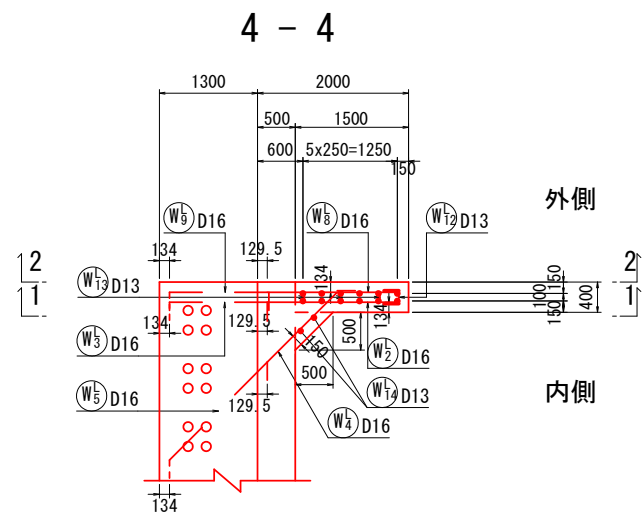
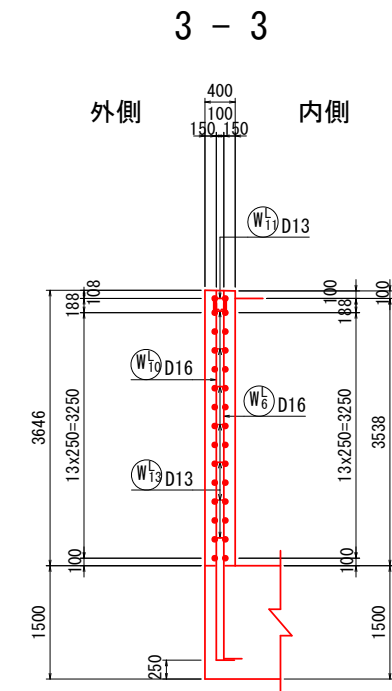
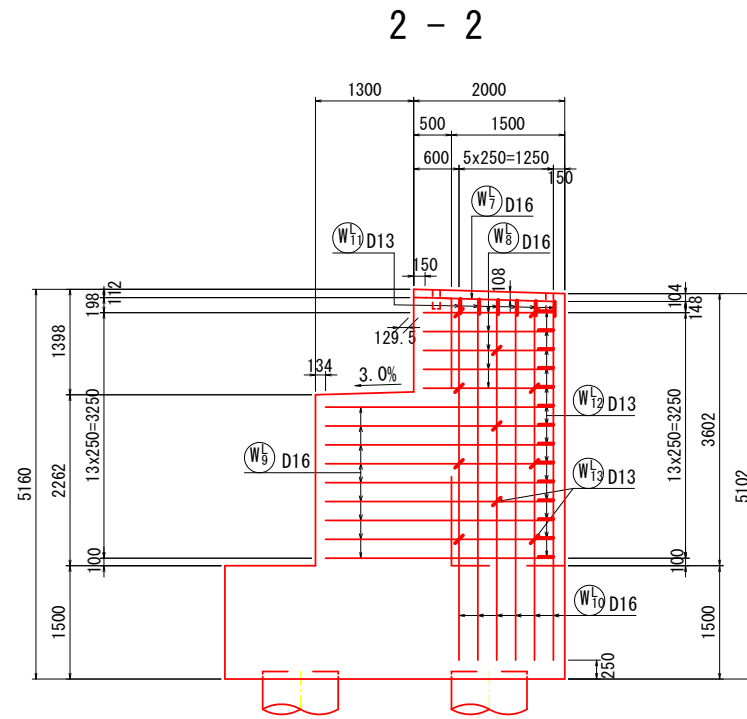
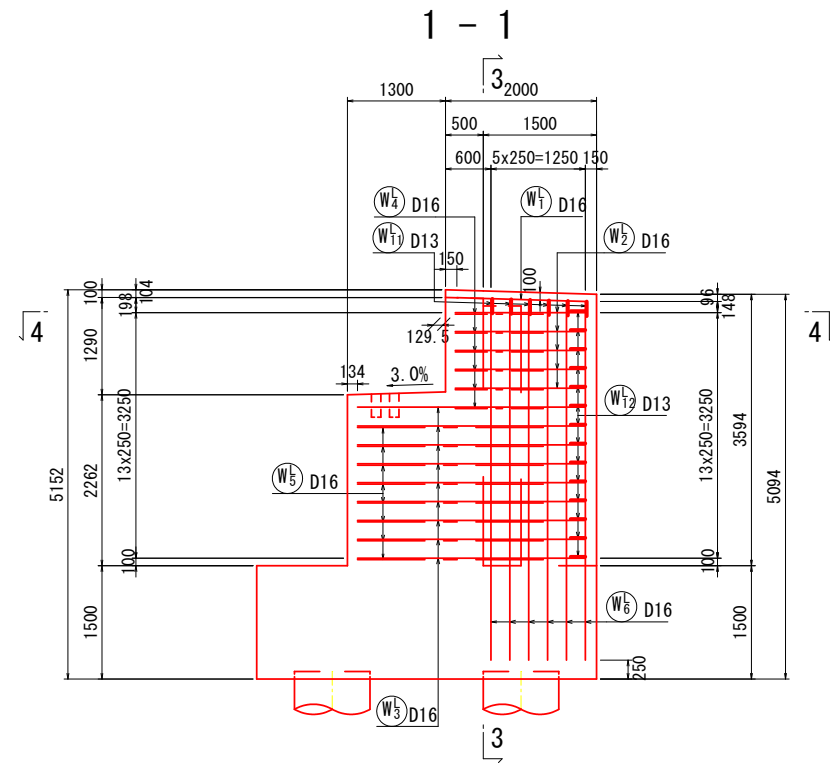
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
G ₁	D13	1380	2	0.995	1.37	3	□	
G ₂	"	720	1	"	0.72	1	□	
G ₃	"	1180	1	"	1.17	1	□	
G ₄	"	880	2	"	0.88	2	□	
G ₅	"	520	1	"	0.52	1	□	
							8	
H ₁	D16	1300	156	1.56	2.03	317	□	
H ₂	"	1910	26	"	2.98	77	□	
							394	
U ₁	D16	550	31	1.56	0.86	27	□	
U ₂	"	530	30	"	0.83	25	□	
							52	
合計 D25				652	kg			
D22				392	kg			
D19				923	kg			
D16				2310	kg			
D13				604	kg			
総質量				4881	kg			



※この図面は実際の図面を約50%縮小している

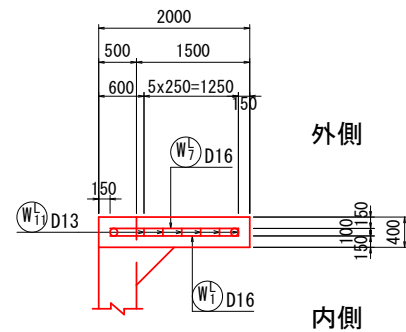
工事名	道路改良工事(新運賃島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	A2橋台配筋図(その5)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	9 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

A2橋台ウイング配筋図(その1) S=1:50 (L側ウイング)

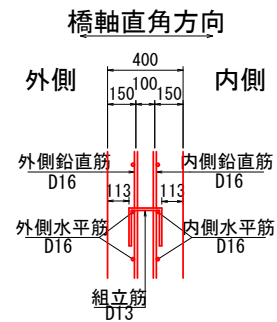


ウイング天端鉄筋配置図

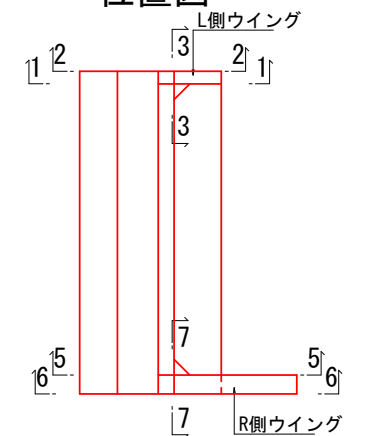
注) 鉄筋が転落防止柵箱抜きに干渉しないよう現場にて調整し配置すること。



かぶり詳細図 S=1:20



位置図



下部工設計条件

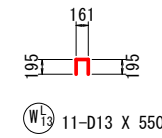
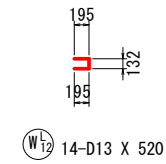
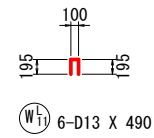
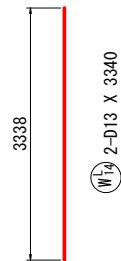
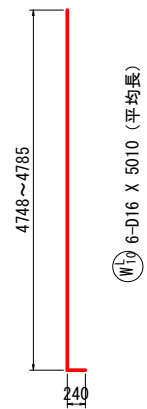
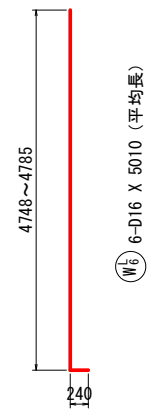
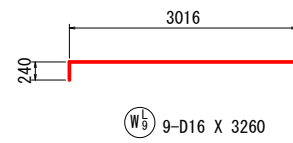
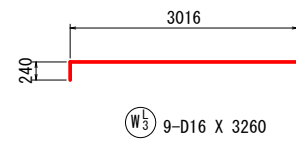
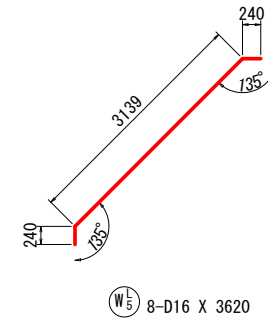
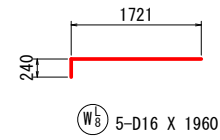
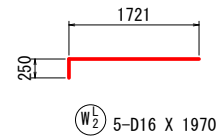
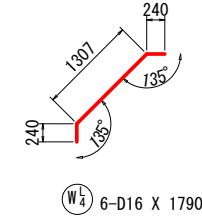
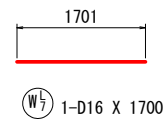
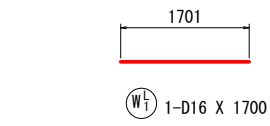
名称	仕様
下部工設計基準強度	30 N/mm ²
下部工鉄筋種別	SD 345
鉄筋定着長	30φ
鉄筋最大定尺長	12m
塩害対策区分	塩害対策区分 S区分

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新渥美島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	A2橋台ウイング配筋図(その1)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	10 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

令和5年度
国補

A2橋台ウイング配筋図(その2) S=1:50 (L側ウイング)



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
W ₁	D16	1700	1	1.56	2.65	3	—
W ₂	"	1970	5	"	3.07	15	—
W ₃	"	3260	9	"	5.09	46	—
W ₄	"	1790	6	"	2.79	17	/
W ₅	"	3620	8	"	5.65	45	/
W ₆	"	5010	6	"	7.82	47	(平均長)
W ₇	"	1700	1	"	2.65	3	—
W ₈	"	1960	5	"	3.06	15	—
W ₉	"	3260	9	"	5.09	46	—
W ₁₀	"	5010	6	"	7.82	47	(平均長)
W ₁₁	D13	490	6	0.995	0.49	3	□
W ₁₂	"	520	14	"	0.52	7	□
W ₁₃	"	550	11	"	0.55	6	□
W ₁₄	"	3340	2	"	3.32	7	
307							
合計 D16				284	kg		
D13				23	kg		
総質量				307	kg		

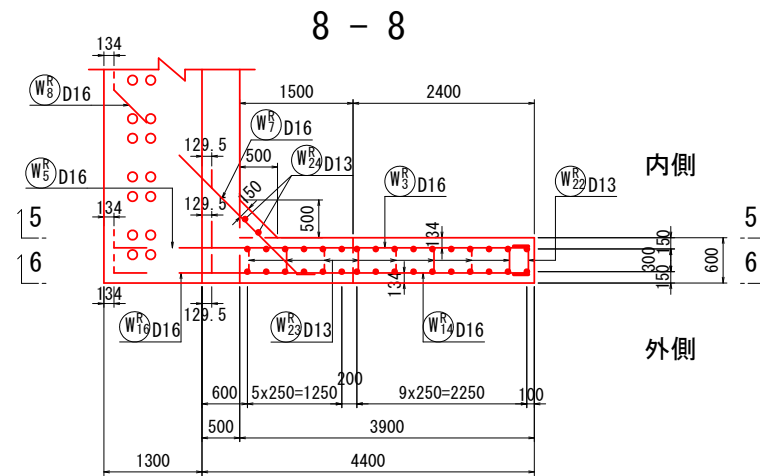
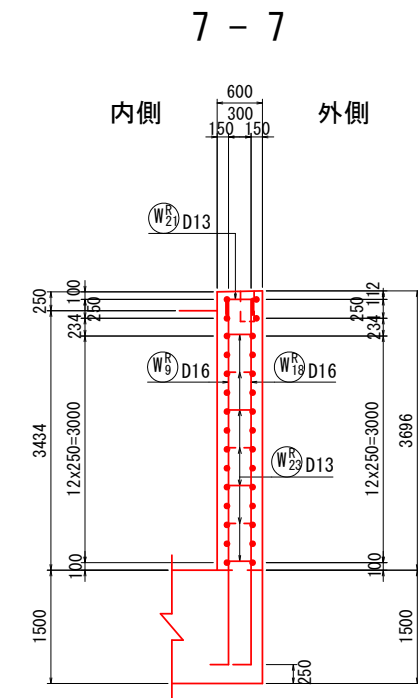
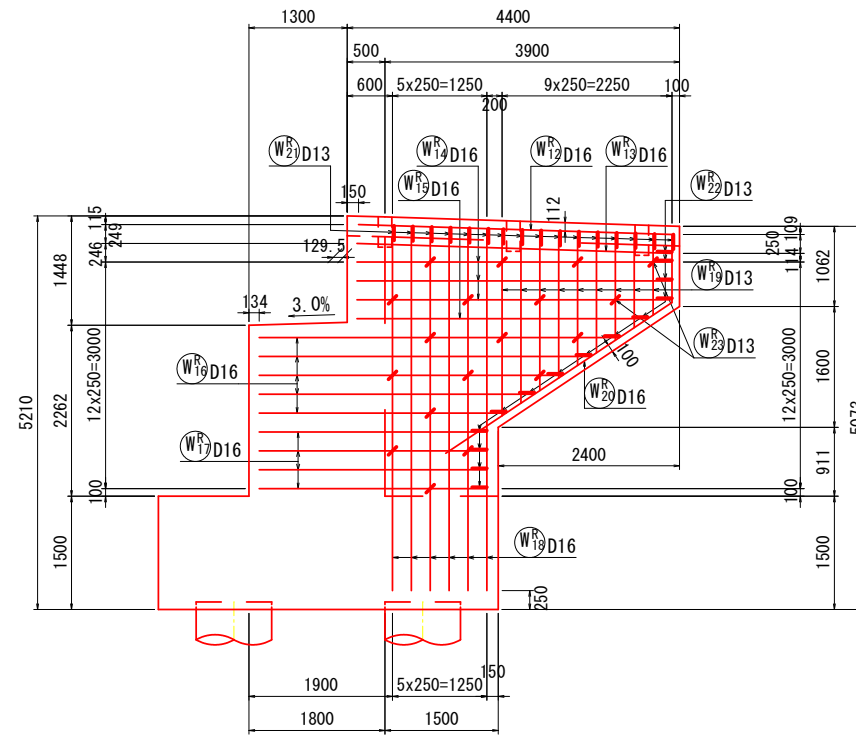
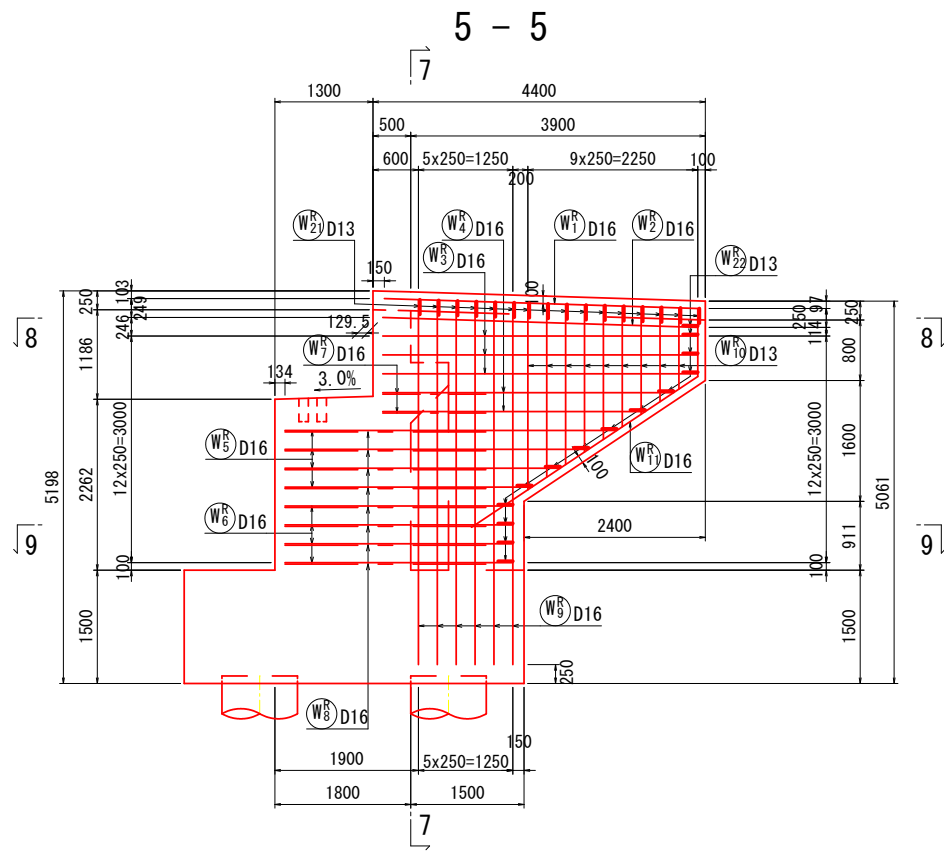
令和5年度
国
補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新運算島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	A2橋台ウイング配筋図(その2)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	11 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

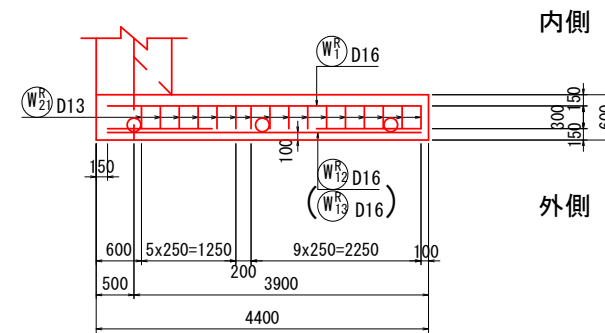
A2橋台ウイング配筋図(その3) S=1:50

(R側ウイング) 6-6

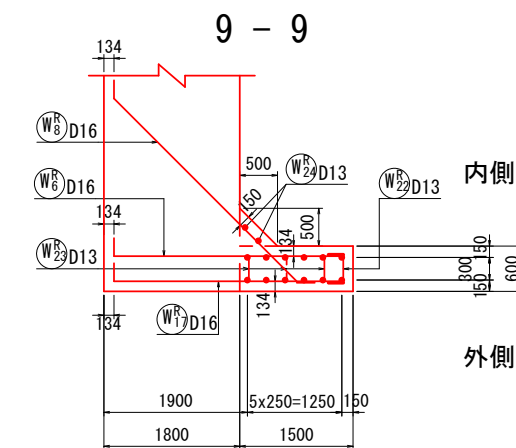
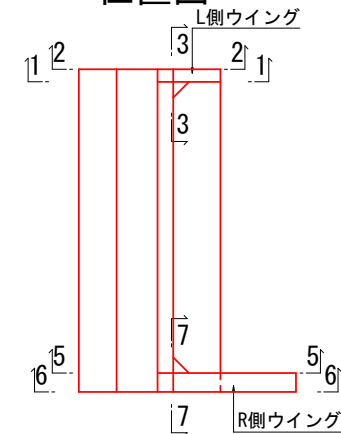


ウイング天端鉄筋配置図

注) 鉄筋がガードレール箱抜きに干渉しないよう現場にて調整し配置すること。

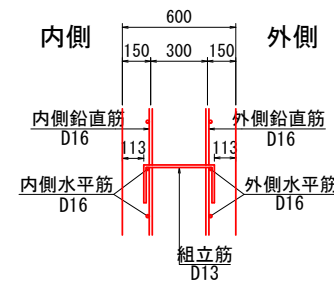


位置図



かぶり詳細図 S=1:20

橋軸直角方向



下部工設計条件

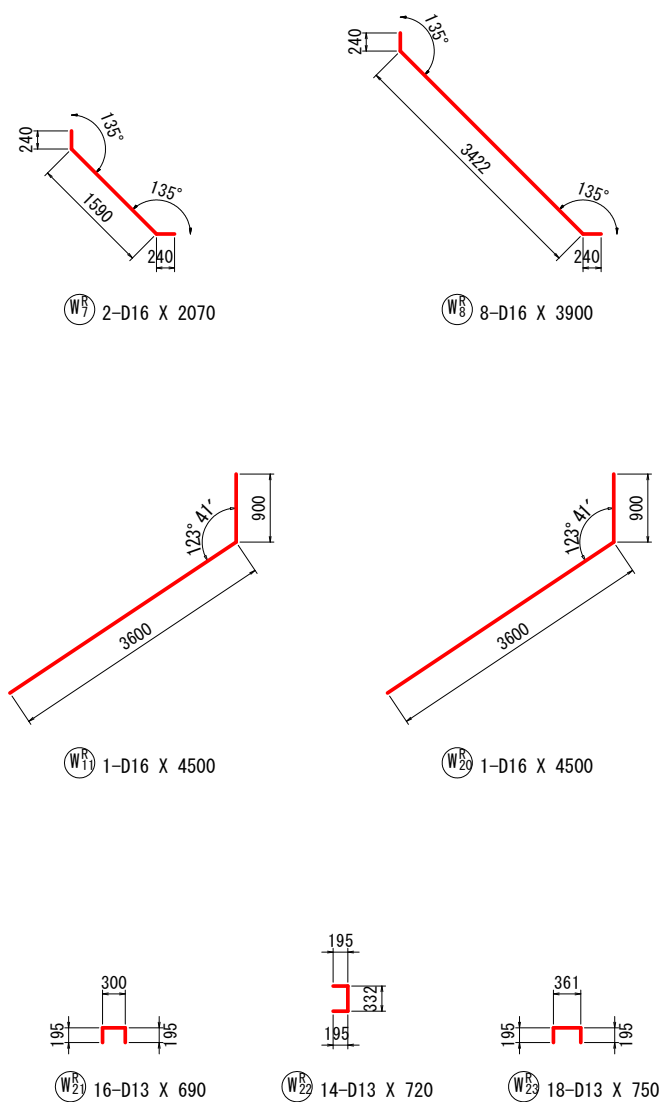
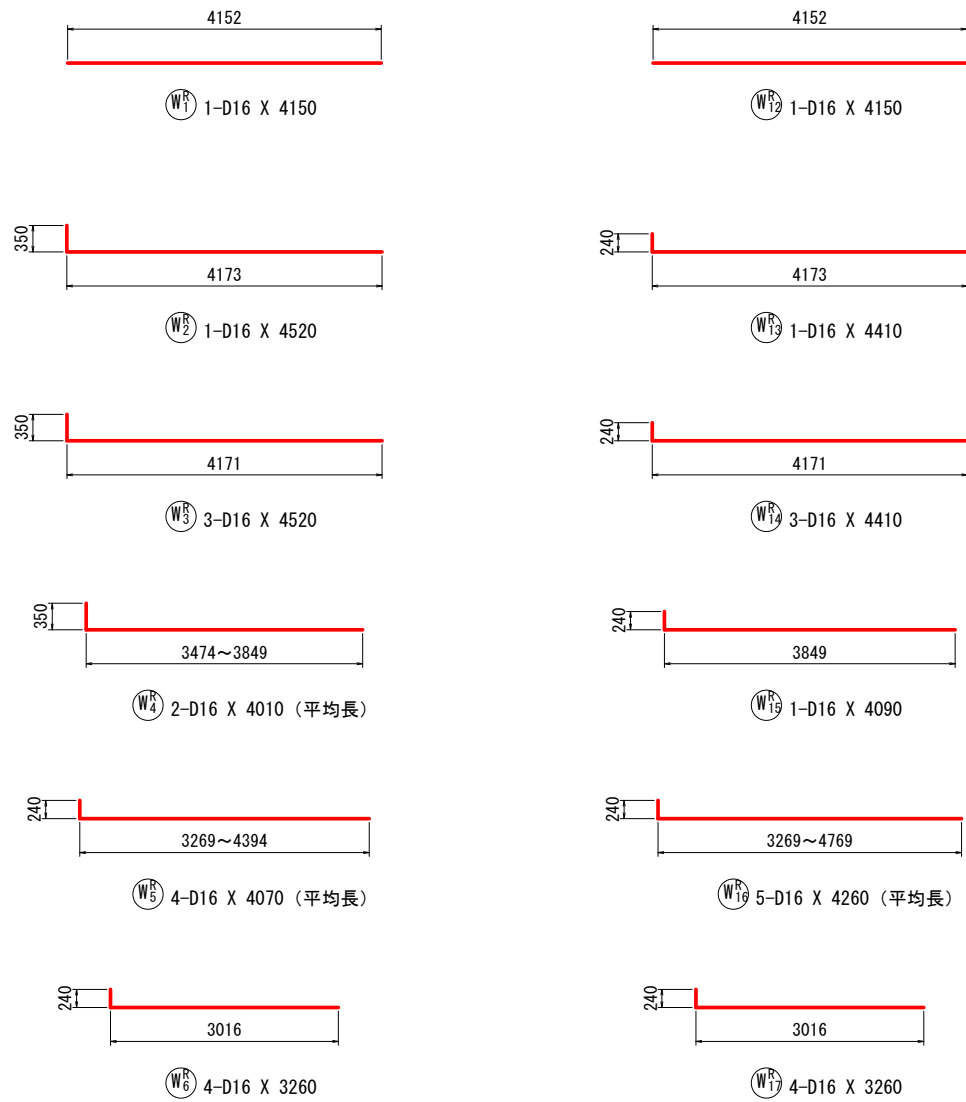
名称	仕様
下部工設計基準強度	30 N/mm ²
下部工鉄筋種別	SD 345
鉄筋定着長	30φ
鉄筋最大定尺長	12m
塩害対策区分	塩害対策区分 S区分

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新渥美島線(橋梁下部)・5-1)
図面名	A2橋台ウイング配筋図(その3)
作成年月日	2024年(令和6年)2月
縮尺	図示 図面番号 12 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社
事業者名	福山市

令和5年度
国補

A2橋台ウイング配筋図(その4) S=1:50 (R側ウイング)

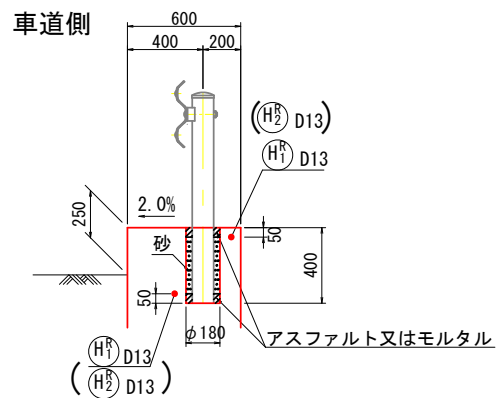


鉄筋質量表 (SD345)

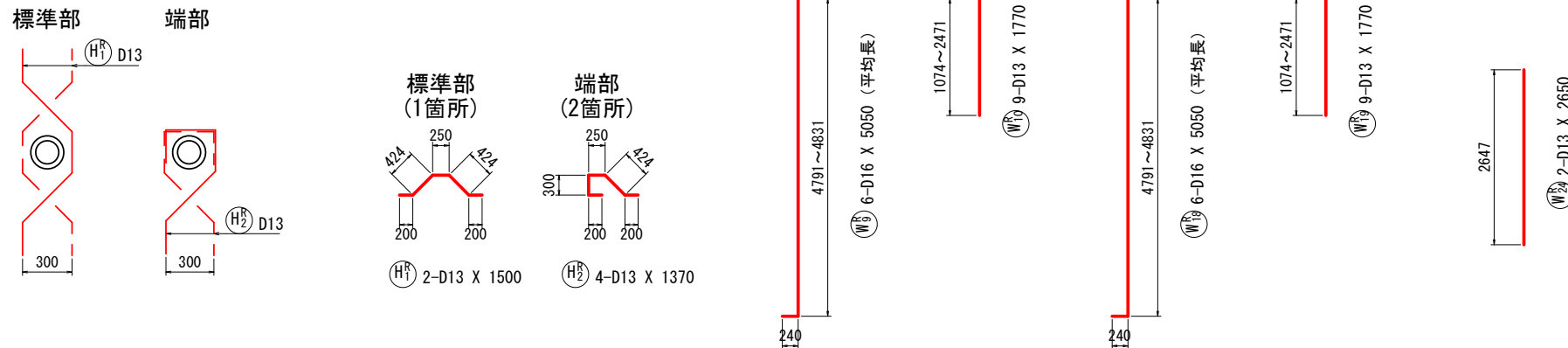
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
W ^R ₁	D16	4150	1	1.56	6.47	6	—
W ^R ₂	"	4520	1	"	7.05	7	—
W ^R ₃	"	4520	3	"	7.05	21	—
W ^R ₄	"	4010	2	"	6.26	13	(平均長)
W ^R ₅	"	4070	4	"	6.35	25	(平均長)
W ^R ₆	"	3260	4	"	5.09	20	—
W ^R ₇	"	2070	2	"	3.23	6	—
W ^R ₈	"	3900	8	"	6.08	49	—
W ^R ₉	"	5050	6	"	7.88	47	(平均長)
W ^R ₁₀	D13	1770	9	0.995	1.76	16	(平均長)
W ^R ₁₁	D16	4500	1	1.56	7.02	7	—
W ^R ₁₂	"	4150	1	"	6.47	6	—
W ^R ₁₃	"	4410	1	"	6.88	7	—
W ^R ₁₄	"	4410	3	"	6.88	21	—
W ^R ₁₅	"	4090	1	"	6.38	6	—
W ^R ₁₆	"	4260	5	"	6.65	33	(平均長)
W ^R ₁₇	"	3260	4	"	5.09	20	—
W ^R ₁₈	"	5050	6	"	7.88	47	(平均長)
W ^R ₁₉	D13	1770	9	0.995	1.76	16	(平均長)
W ^R ₂₀	D16	4500	1	1.56	7.02	7	—
W ^R ₂₁	D13	690	16	0.995	0.69	11	□
W ^R ₂₂	"	720	14	"	0.72	10	□
W ^R ₂₃	"	750	18	"	0.75	14	□
W ^R ₂₄	"	2650	2	"	2.64	5	
420							
H ^R ₁	D13	1500	2	0.995	1.49	3	〰
H ^R ₂	"	1370	4	"	1.36	5	〰
8							
合計 D16				348 kg			
D13				80 kg			
総質量				428 kg			

ガードレール参考図 S=1:20 (Gr-C-2B)

注) 1. 位置については下部工構造一般図を参照のこと。
2. ()内は端部鉄筋を示す。



鉄筋組立図



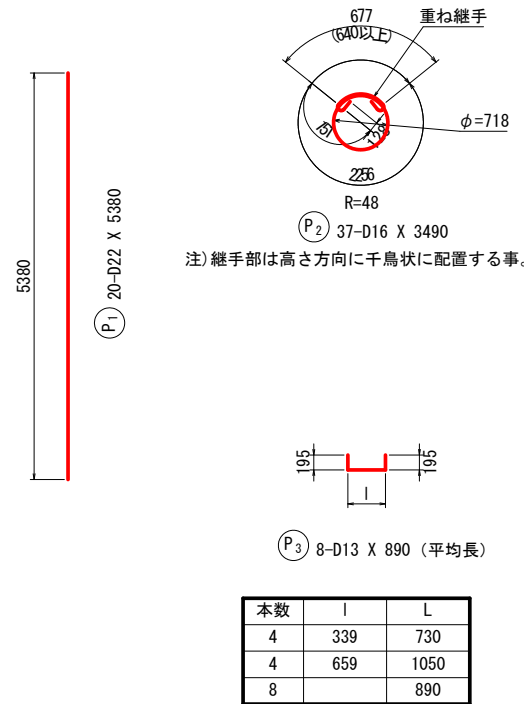
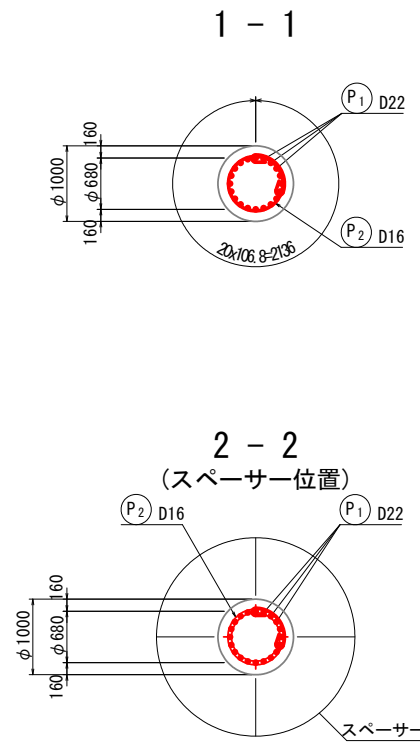
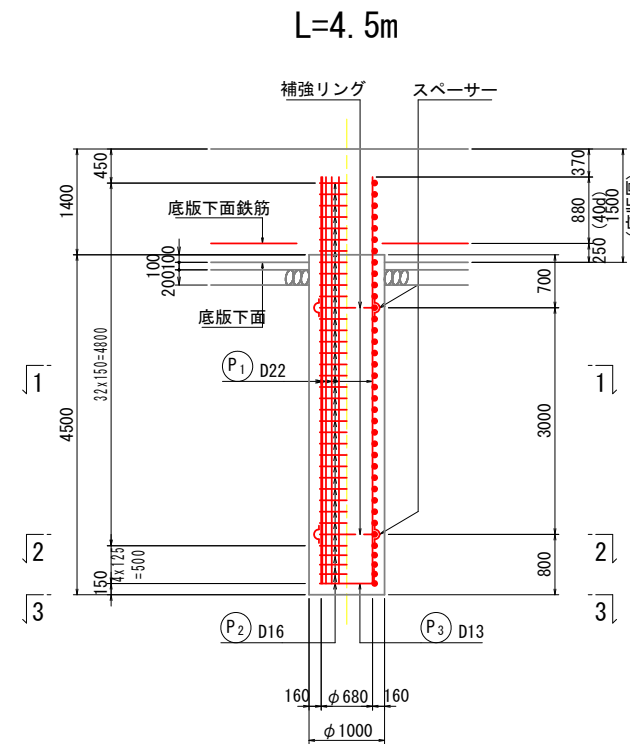
令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新運賃島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	A2橋台ウイング配筋図(その4)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	13 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

A2橋台場所打ち杭配筋図 S=1:50

注) 鉄筋の組立においては、組立上の形状保持などの溶接を行ってはならない。



鉄筋質量表 (SD345) (杭1本当り)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
P ₁	D22	5380	20	3.04	16.36	327	I	
P ₂	D16	3490	37	1.56	5.44	201	○	
P ₃	D13	890	8	0.995	0.89	7	□ (平均長)	
							535	
							杭1本当り	1本当り
合計 D22					327 kg x 6本 =	1962 kg		
D16					201 kg x 6本 =	1206 kg		
D13					7 kg x 6本 =	42 kg		
総質量					535 kg x 6本 =	3210 kg		

補強リング固定金具 (杭1本当り)

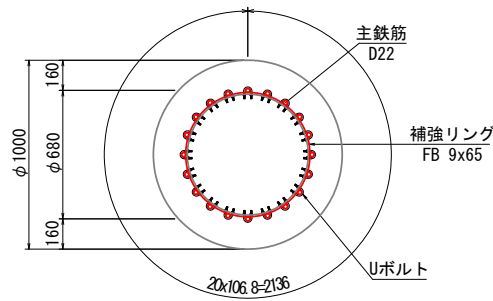
種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
FB 9 x 65	2067	2	4.59	9.49	19	補強リング
Uボルト D22用	-	40	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定

スパーサー固定金具 (杭1本当り)

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
Uボルト D22用	-	16	-	-	-	スパーサーと主鉄筋の固定
FB 30 x 4	80	16	0.942	0.08	1	Uボルト固定用

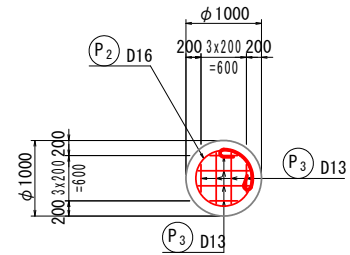
※Uボルト規格 D22用, SS400, 変形時荷重30kN以上 「場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドライン」に準拠する。

補強リング固定金具配置図 S=1:20

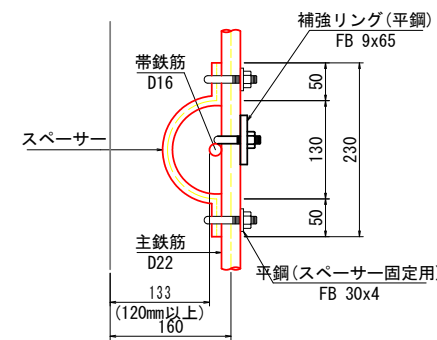


注) 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定する。

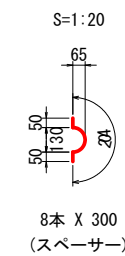
3-3



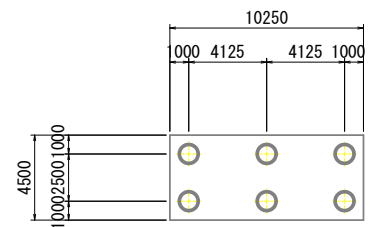
スパーサー詳細図 S=1:5



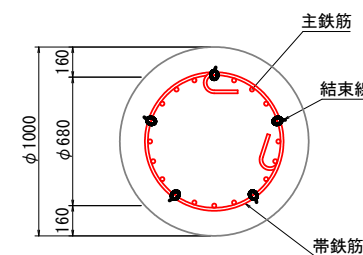
注) スパーサーは、1断面当り4箇所以上に配置する。また、上下を1箇所ずつ金具で固定すること。



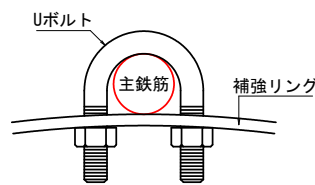
杭配置図 S=1:200



主鉄筋、帯鉄筋結束参考図 S=1:20



固定金具参考図 S=1:2



注) 1. 固定金具は、Uボルト又は同等品とする。
2. 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定する。

基礎工設計条件

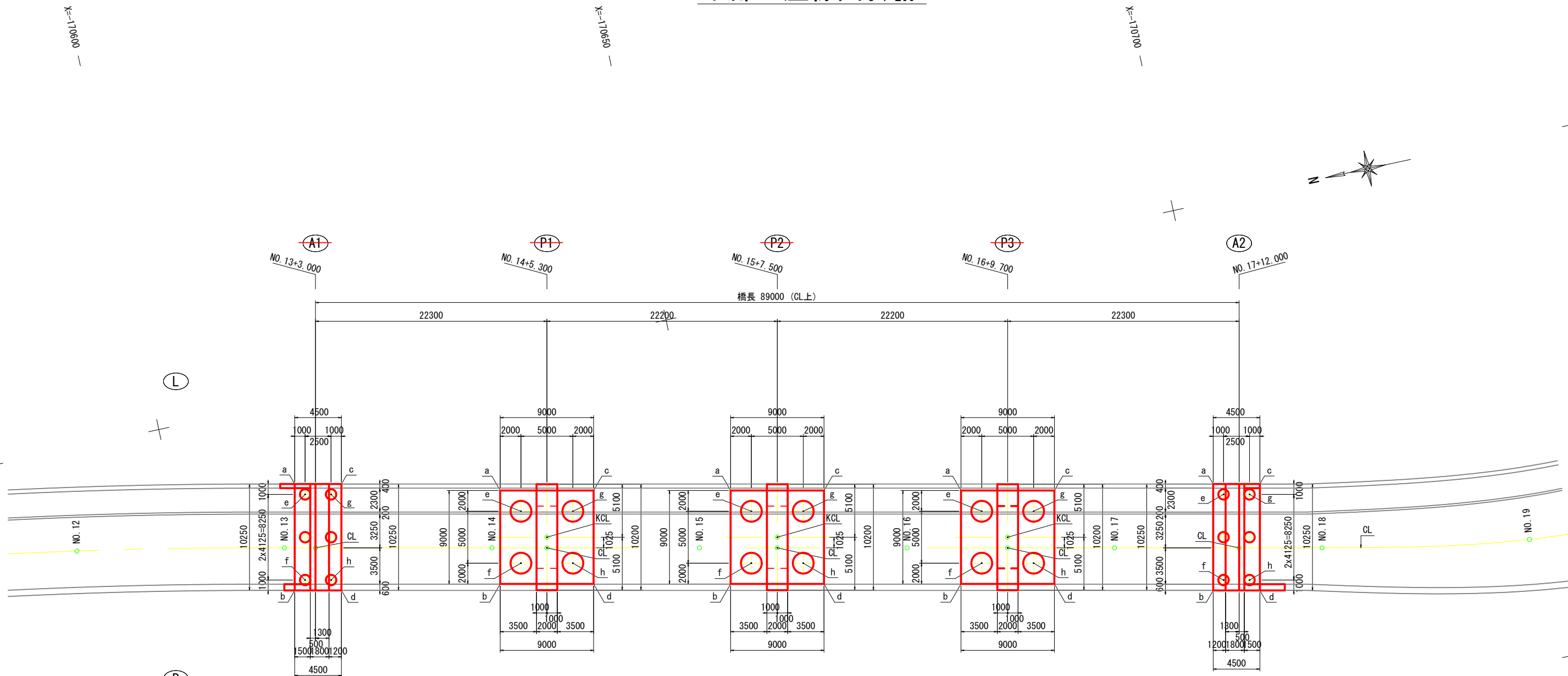
名称	仕様
基礎工設計基準強度	24 N/mm ² (呼び強度 30 N/mm ²)
基礎工鉄筋種別	SD 345
鉄筋定着長	杭頭 : 30φ+10φ 杭体内 : 45φ
鉄筋最大定尺長	12m
塩害対策区分	塩害対策区分 S区分

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事 (新渚貫島線 (橋梁下部) ・ 5-1)		
図面名	A2橋台場所打ち杭配筋図		
作成年月日	2024年 (令和6年) 2月		
縮尺	図示	図面番号	14 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

令和5年度
国補

下部工座標図 S=1:200



A1橋台座標値

	X座標	Y座標
CL	-170612.3554	113835.6736
a	-170611.6972	113842.1070
b	-170609.5357	113832.0875
c	-170616.0960	113841.1581
d	-170613.9345	113831.1386
e	-170612.4639	113840.9186
f	-170610.7241	113832.8542
g	-170614.9076	113840.3915
h	-170613.1679	113832.3270

P1橋脚座標値

	X座標	Y座標
CL	-170634.1539	113830.9710
KCL	-170634.3700	113831.9730
a	-170630.9202	113837.3207
b	-170629.0823	113828.5231
c	-170639.7178	113835.4228
d	-170637.8199	113826.6252
e	-170632.4534	113834.9439
f	-170631.3991	113830.0564
g	-170637.3410	113833.8895
h	-170636.2866	113829.0020

P2橋脚座標値

	X座標	Y座標
CL	-170655.8547	113826.2895
KCL	-170656.0708	113827.2915
a	-170652.6210	113832.6392
b	-170650.7231	113823.8416
c	-170661.4186	113830.7413
d	-170659.5207	113821.9437
e	-170664.1542	113830.2625
f	-170653.0998	113825.3749
g	-170659.0418	113829.2081
h	-170657.9874	113824.3205

P3橋脚座標値

	X座標	Y座標
CL	-170677.5554	113821.6081
KCL	-170677.7716	113822.6100
a	-170674.3217	113827.9578
b	-170672.4238	113819.1601
c	-170683.1193	113826.0599
d	-170681.2214	113817.2622
e	-170675.8550	113825.5810
f	-170674.8006	113820.6934
g	-170680.7426	113824.5266
h	-170679.6882	113819.6390

A2橋台座標値

	X座標	Y座標
CL	-170699.3540	113816.9055
a	-170698.2071	113823.4444
b	-170696.0456	113813.4249
c	-170702.6059	113822.4954
d	-170700.4444	113812.4759
e	-170698.9737	113822.2560
f	-170697.2340	113814.1915
g	-170701.4175	113821.7288
h	-170699.6778	113813.6643

令和5年度
国
補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新選算路線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	下部工座標図		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	1:200	図面番号	15 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

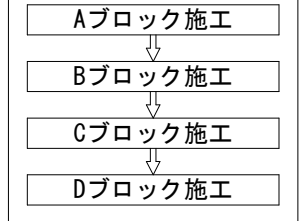
【仮設盛土の概要】

橋梁下部工の施工に際しては、箕島町側から工事用重機械を搬入することが難しいため、港湾管理者の占用許可を受け、海上に仮設盛土工を施工して工事用道路として使用する。

仮設盛土一般図

仮設盛土 V=2,600m³
 大型土のう N=1,436個
 仮設管渠φ1.8m L=100m

施工フロー

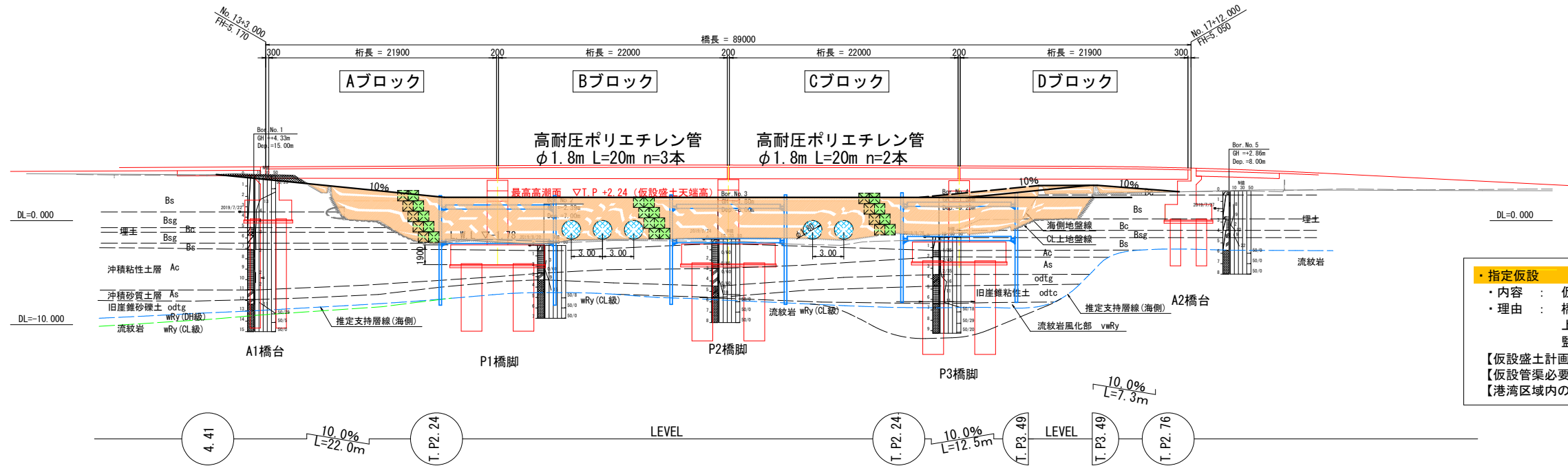


指定仮設

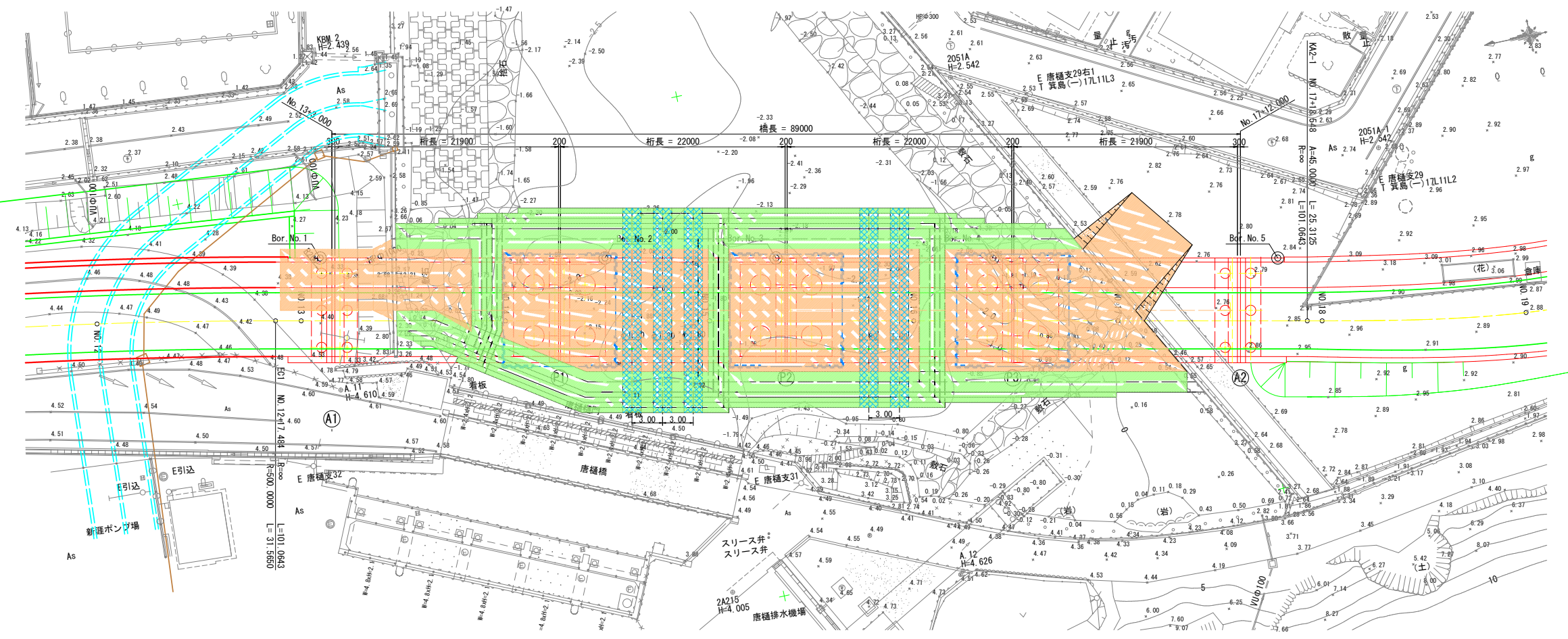
- 内容 : 仮設工 工事用道路工
- 理由 : 橋梁下部工の施工及び重要港湾福山港湾内の流路確保のため、上記工種は指定仮設とし、設計図書に定める方法により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

【仮設盛土計画天端高】 T.P +2.24m
 【仮設管渠必要排水流量】 Q = 71.08m³/s 以上
 【港湾区域内の水域及び公共空地の占用許可番号】 東建港第1075号

側面図 S=1:250



平面図 S=1:250



潮位種別	C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高潮面	4.96 3.00
H.H.W.L	最高潮面	4.20 2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87 1.91
M.S.L	平均水面	2.10 0.14
T.M.S.L(旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96 0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01 -0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18 -1.78
C.D.L	最低水面	0.00 -1.96

※T.M.S.L(旧称T.P)で図示している。

指定仮設

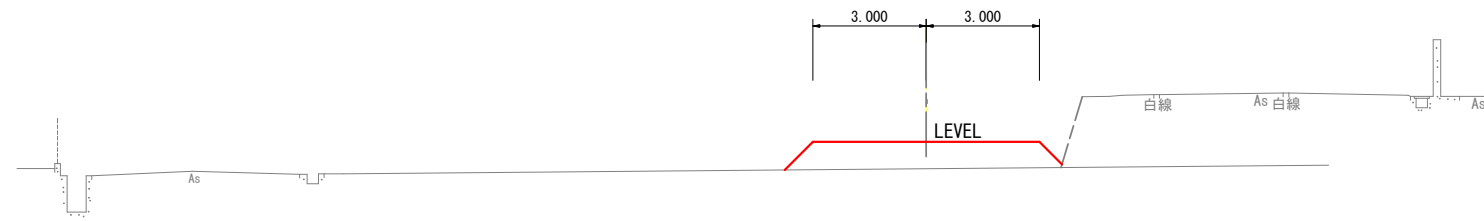
※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新運箕島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	仮設盛土一般図		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	16 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

令和5年度
国補

横断図(1) S=1:100

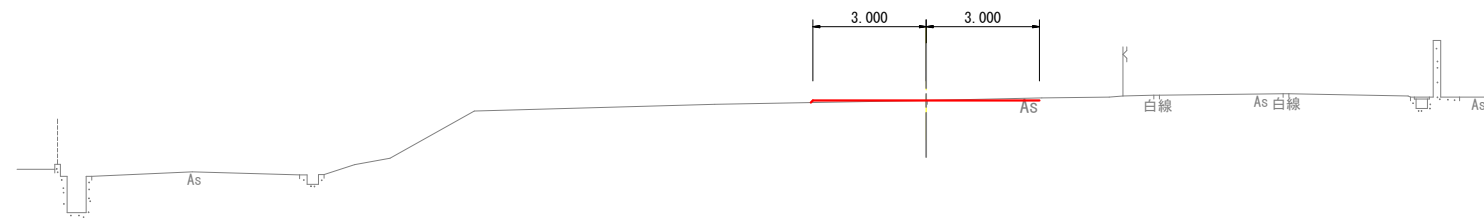
NO. 13+8.6
GH= 2.68
FH= 5.197



注) NO. 13+8.6の断面は、護岸背面の盛土を行うため、平面図からの読み取りで作成した。

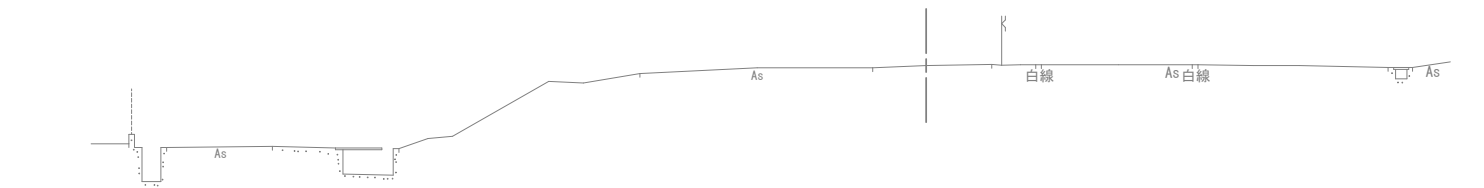
DL=0.00

EC-1
GH= 4.41
FH= 5.144



DL=0.00

D=17.484
NO. 12
GH= 4.53
FH= 5.061



DL=0.00



※この図面は実際の図面を約50%縮小している

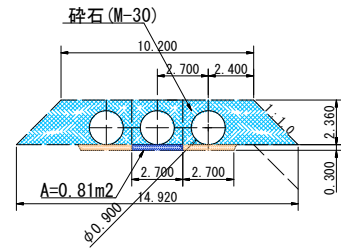
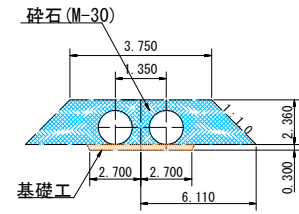
工事名	道路改良工事(新運算島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	横断面図(1)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	1:100	図面番号	17 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

横断図(2) S=1:100

裏込め工 構造図

S=1:200

(標準突出型断面)



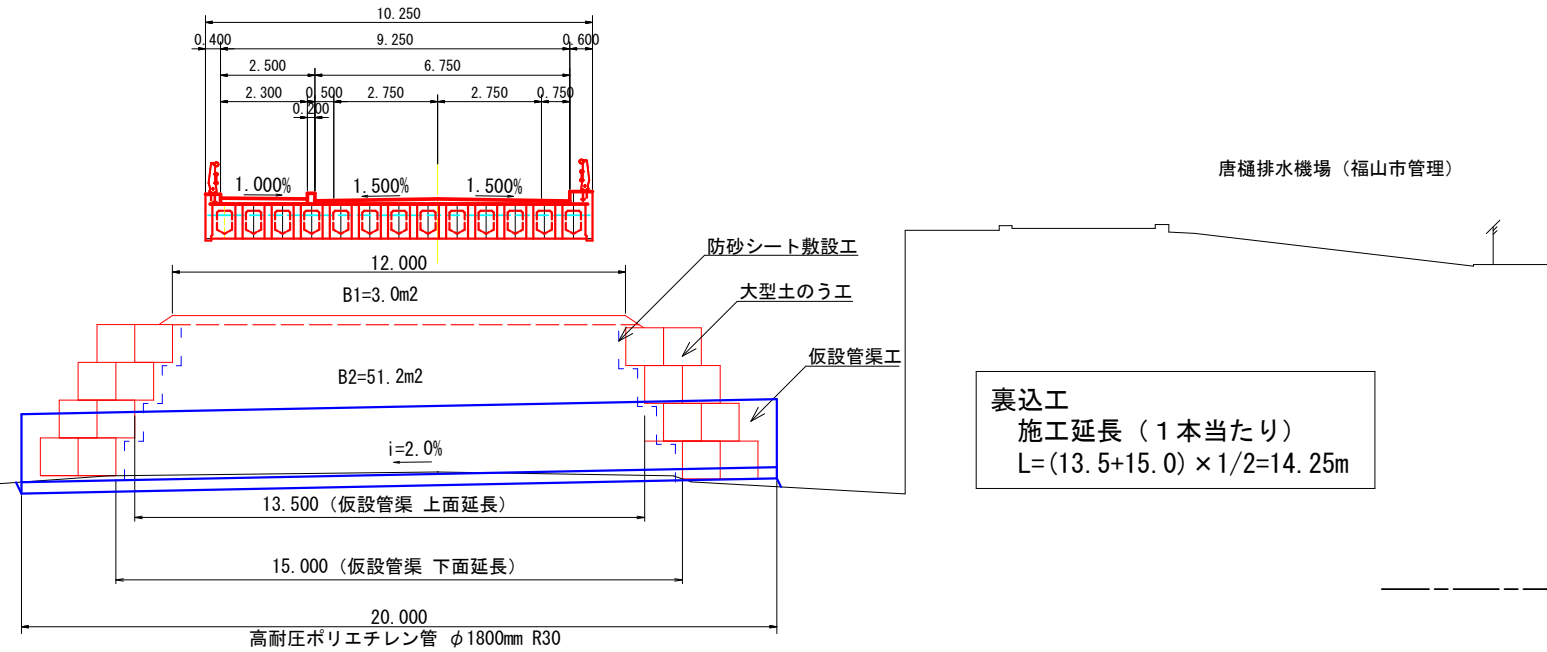
最高高潮面 $\nabla 2.24$
 朔望平均満潮位 $\Delta 1.91$

平均低潮面 $\nabla -0.95$

DL = -5.000

No. 15
 GH = -1.900
 FH = 5.328

B1: 陸上部施工
 B2: 陸上部施工 (水面下)

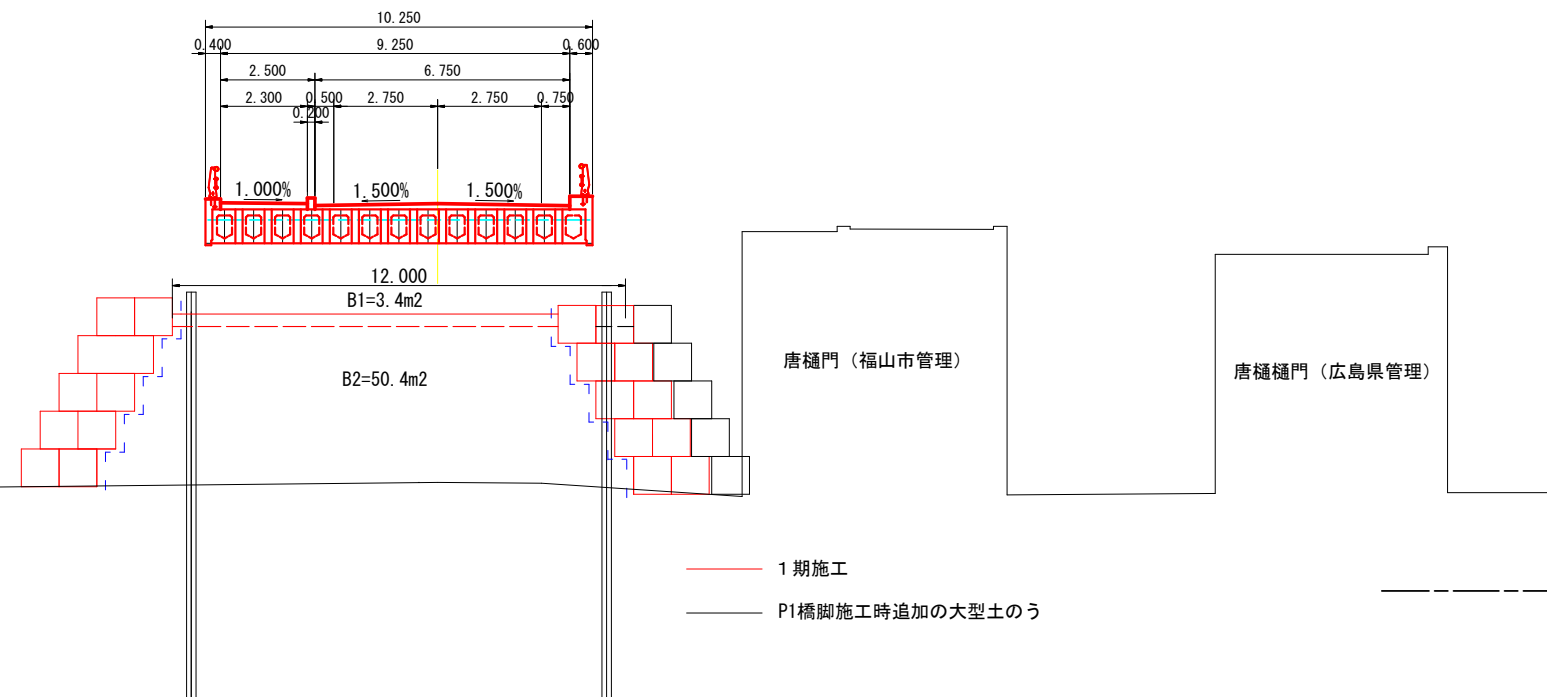


No. 14
 GH = -2.130
 FH = 5.251

最高高潮面 $\nabla 2.24$
 朔望平均満潮位 $\Delta 1.91$

平均低潮面 $\nabla -0.95$

DL = -5.000



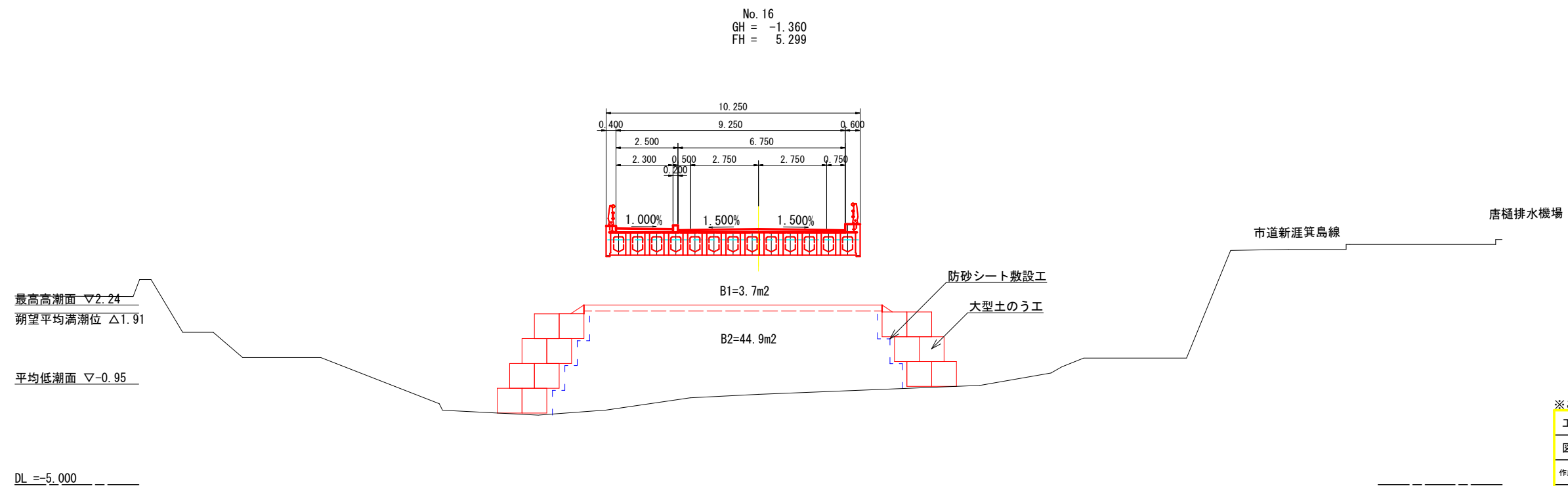
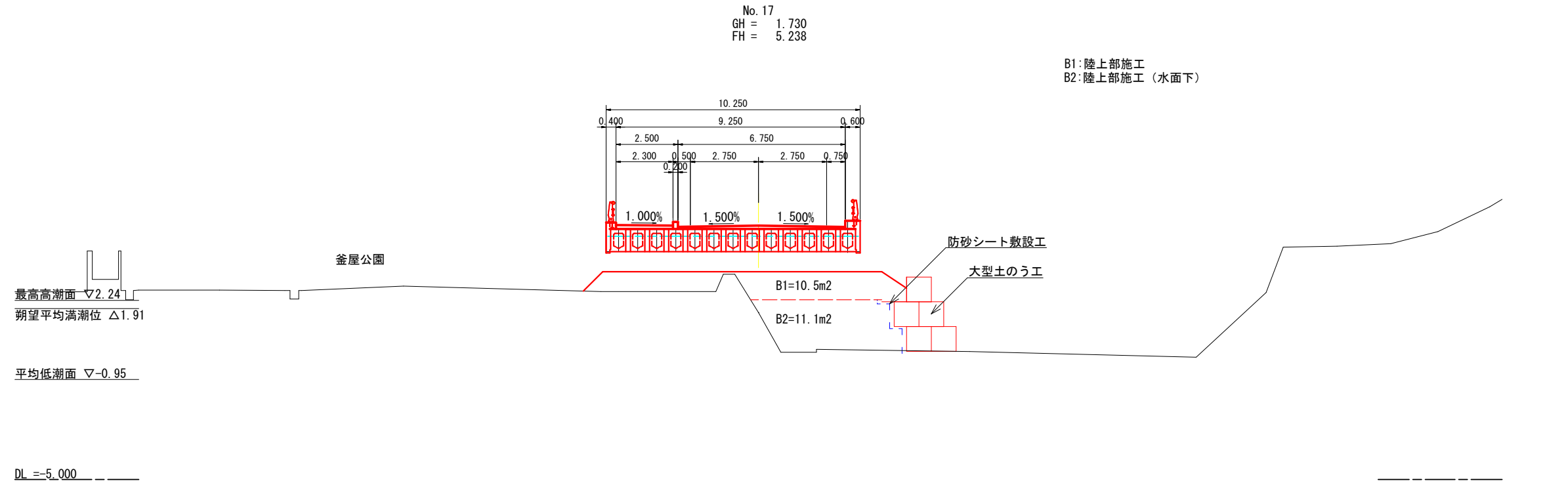
— 1期施工
 — P1橋脚施工時追加の大型土のう

令和5年度
 国
 補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新運算島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	横断面図(2)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	1:100	図面番号	18 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

横断図(3) S=1:100

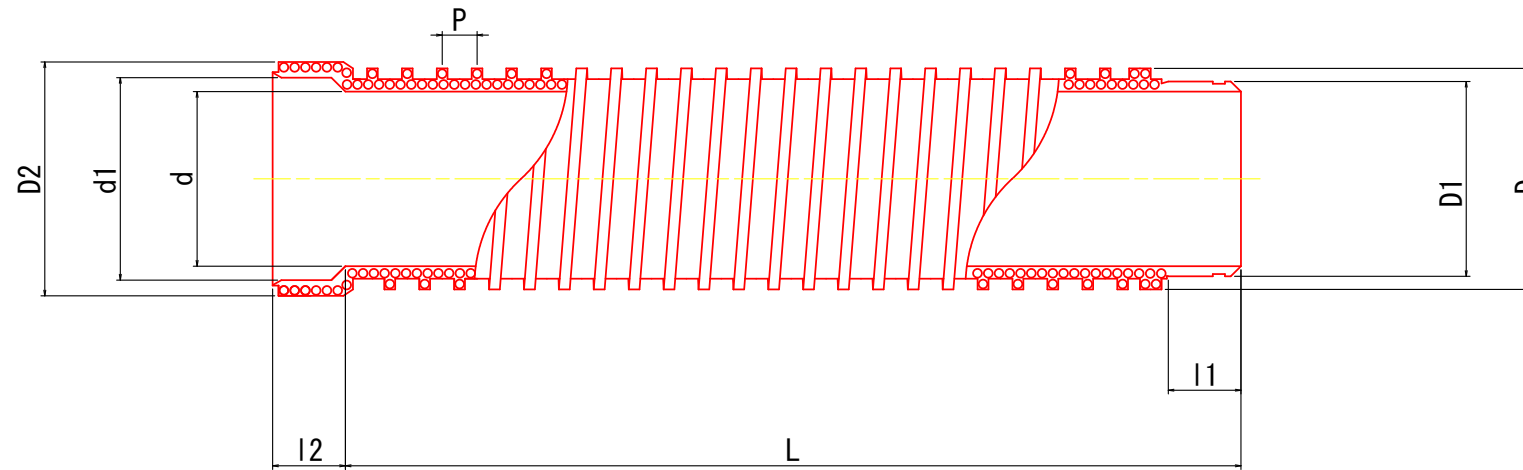


令和5年度
国
補

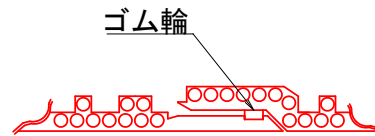
※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新漕箕島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	横断図(3)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	1:100	図面番号	19 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

高耐圧ポリエチレン管 構造図 (R30 直管 受口あり・差口あり)



継手部詳細図



R30 (旧R型1種) 規格寸法及びその許容差 (単位: mm)

呼び径	内径		有効長		差口部			受口部			参考値						
	d	許容差	L	許容差	外径	長さ	長さ	内径	長さ	ピッチ	外径	受口外径	参考重量				
1650	1650	±11.0			D1	許容差	l1	許容差	d1	許容差	l2	許容差	P	D _{最大}	D _{最小}	D2	(kg/本)
1800	1800	±11.5			1720	±11.0	270		1746	±11.0	270		270	1902	1886	1922	1070
2000	2000	±12.0	5000	+50	1870	±11.5	290	+0	1896	±11.5	290	+5	210	2052	2036	2088	1235
2200	2200	±13.0		-25	2070	±12.0		-5	2096	±12.0		-0	120	2252	2236	2308	1545
2400	2400	±14.0			2280	±13.0	320		2306	±13.0	320		120	2462	2447	2472	2090
					2490	±14.0			2526	±14.0			120	2677	2661	2744	2600

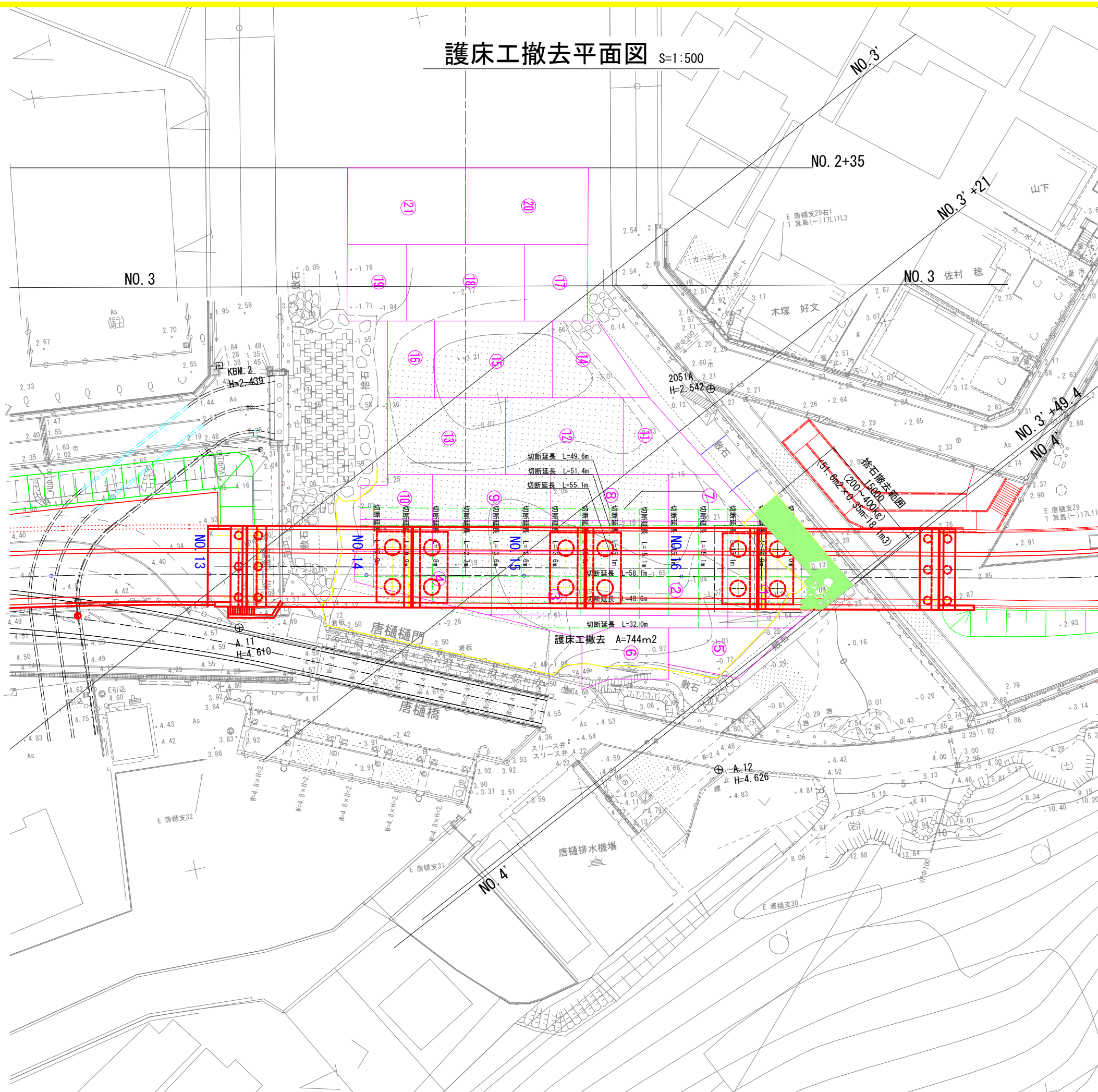
注1) 有効長 (L) は5000mm以下とする事ができる。その際、有効長 (L) が 4000mm < L ≤ 5000mmの時は、有効長の許容差を+50mm、-25mmとする。又、有効長 (L) が L ≤ 4000mmの時は、有効長の許容差を+40mm、-20mmとする。
 注2) 内径及び受口内径は、任意の箇所における相互の二方向以上の内径測定値の算術平均とする。
 注3) 公差なき寸法は参考値とする。



※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新渥美島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	高耐圧ポリエチレン管構造図		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	20 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

護床工撤去平面図 S=1:500

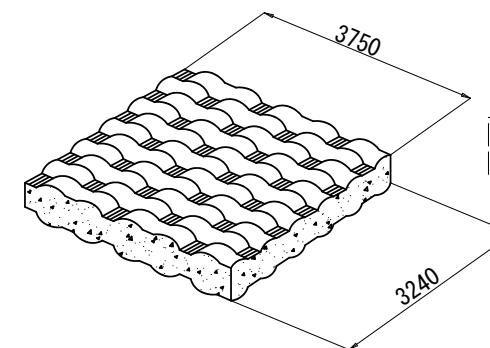


能力表 (50t吊りクローラークレーン) (単位:t)

作業半径 (m)	ブーム長さ (m)					
	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6
5.0	30.1/5.2m					
5.5	27.6	26.0/5.7m				
6.0	24.1	24.1	22.8/6.2m	19.8/6.8m		
7.0	19.2	19.2	19.1	19.0	17.8/7.3m	16.1/7.8m
8.0	15.8	15.8	15.7	15.7	15.6	15.5
9.0	13.4	13.4	13.3	13.3	13.2	13.1
10.0	11.6	11.6	11.5	11.4	11.4	11.3
12.0	9.0	9.0	8.9	8.9	8.8	8.7
14.0	7.3	7.3	7.2	7.1	7.0	7.0
16.0	6.1	6.0	6.0	5.9	5.8	5.7
18.0	5.2	5.1	5.0	4.9	4.9	4.8
20.0	4.6/19.7m	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
22.0		3.8	3.7	3.6	3.6	3.5
24.0		3.8/22.3m	3.3	3.2	3.1	3.0
26.0			3.1/25.0m	2.8	2.7	2.6
28.0				2.5/27.6m	2.4	2.3
30.0				3.5/32.9m	2.1	2.0
32.0					2.0/30.3m	1.7

注:フック質量 0.65t

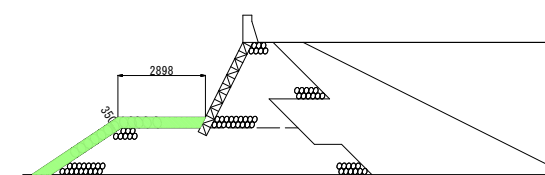
布製型枠参考構造図



50tクローラークレーンで吊上げ可能な重量(左図)となるよう水中で切断する。

護床工重量(切断後): $3.24 \times 3.75 \times 0.1 = 1.215\text{m}^3 \rightarrow 2.55\text{t}$
 \rightarrow 水中重量 1.55t

護岸横断図



捨て石: 200~400kg/個

- 捨石撤去
- 護床工撤去

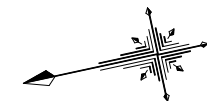
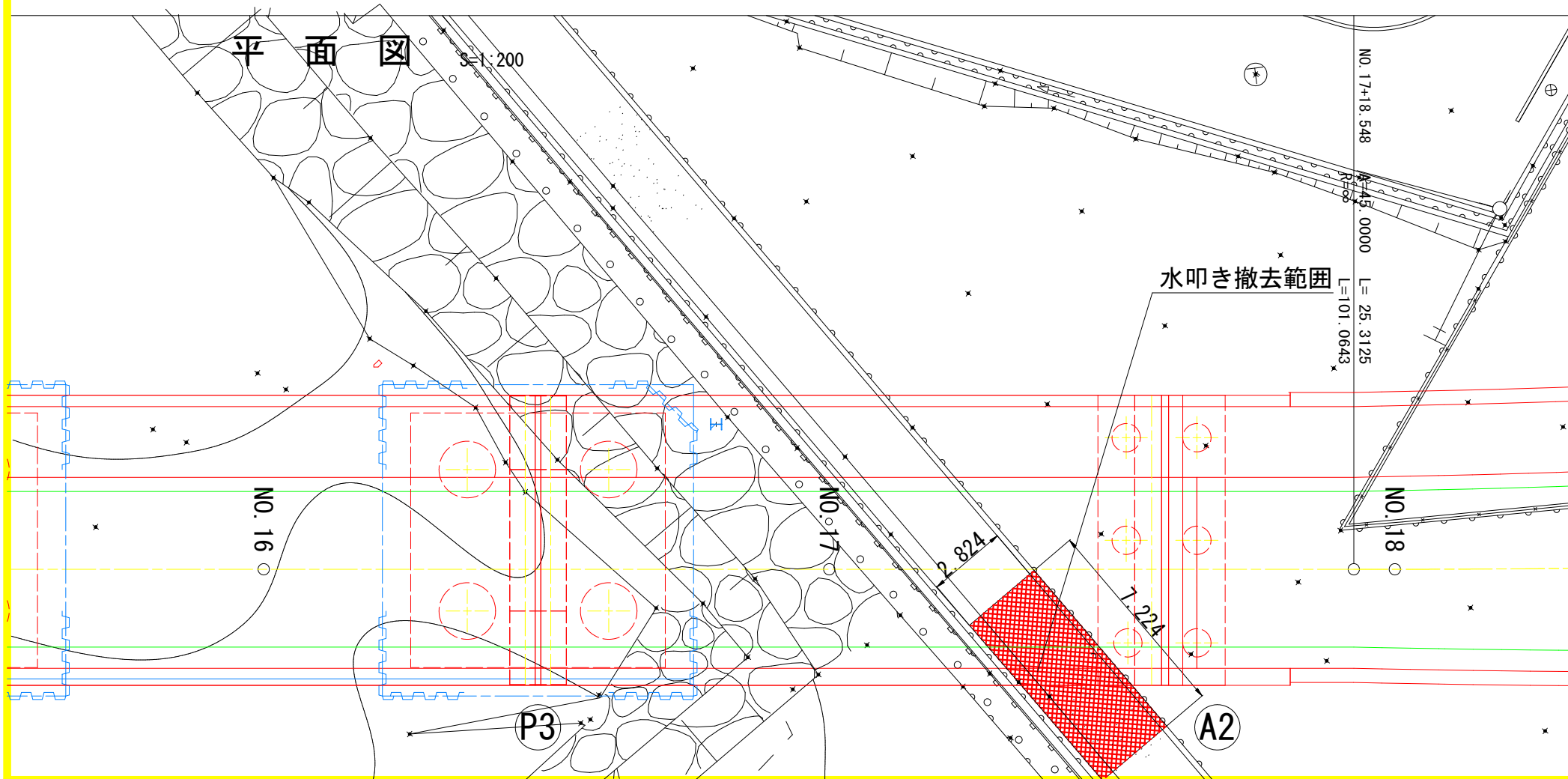
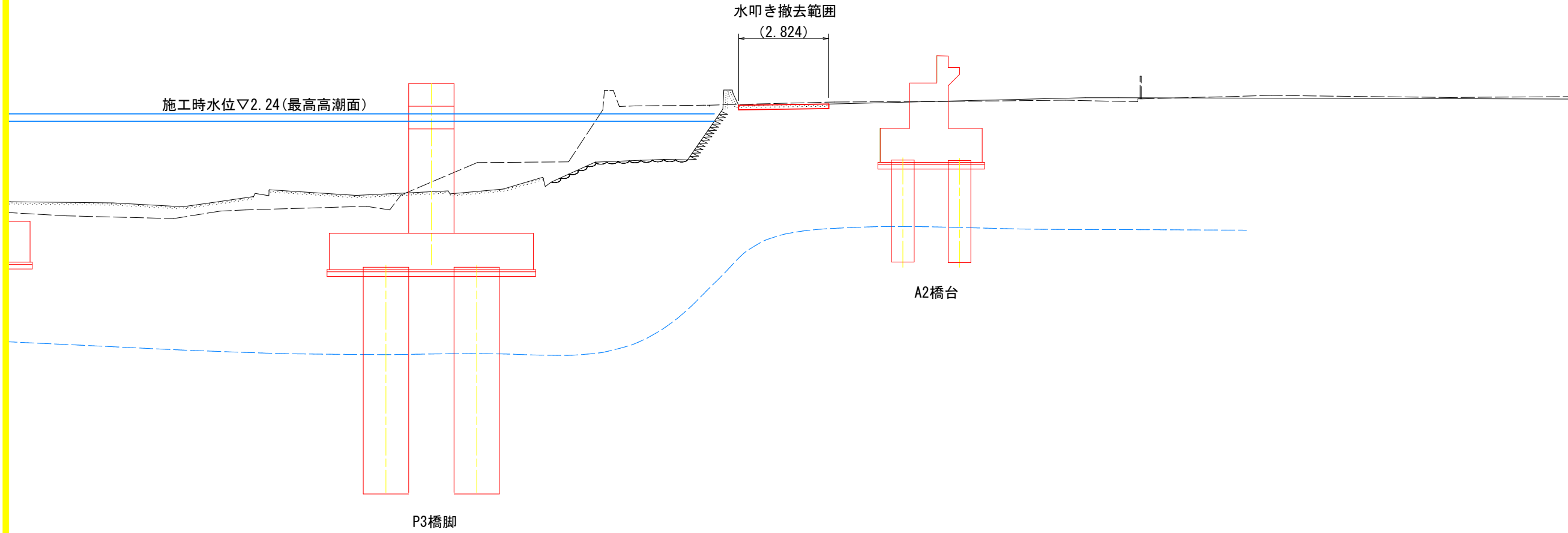
※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新運箕島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	護床工撤去平面図		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	1:500	図面番号	21 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

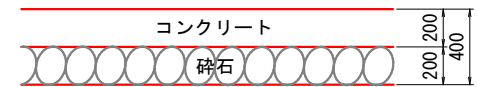
令和5年度
国補

側面図 S=1:200

A2橋台側 水叩き撤去図 S=1:100



既設水叩き構造図 S=1:20



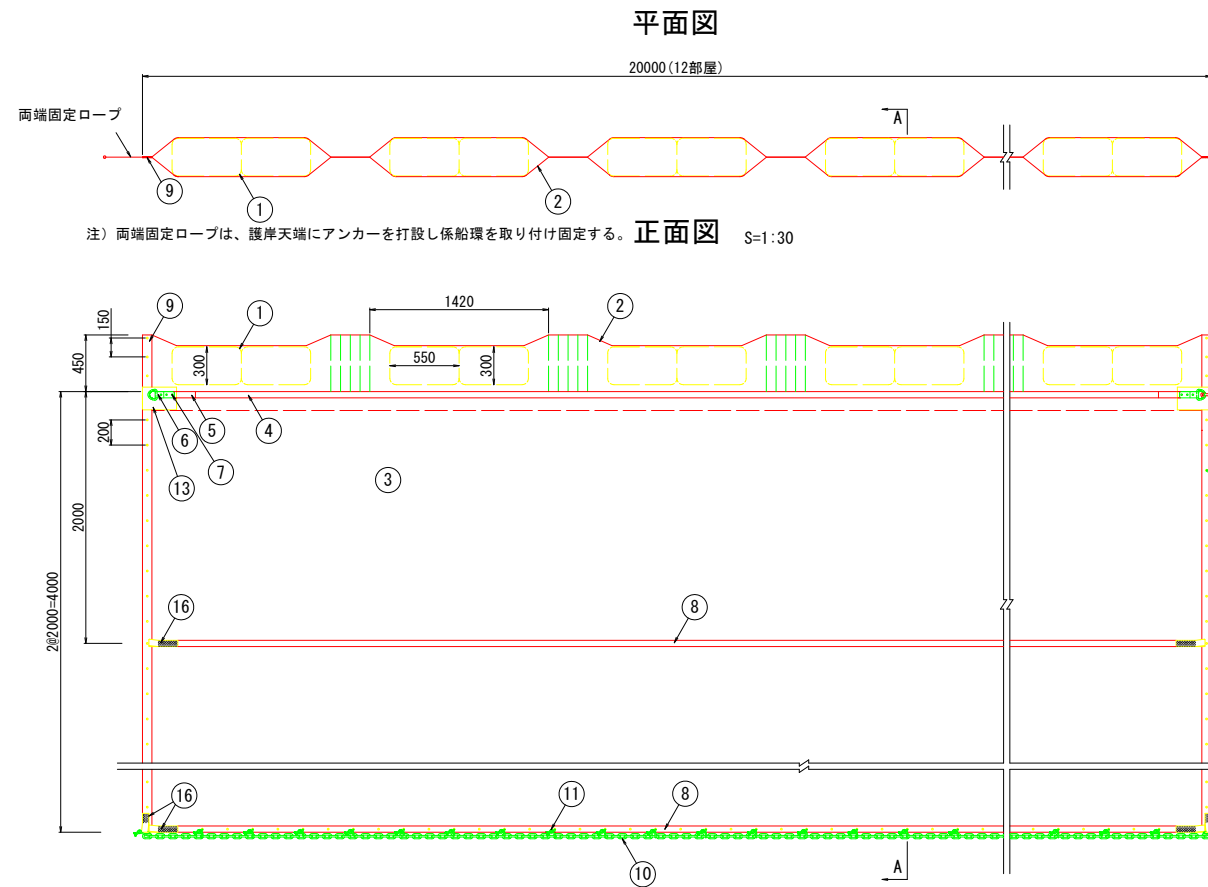
注) 撤去時に既設水叩きの厚さを確認すること

令和5年度
国補

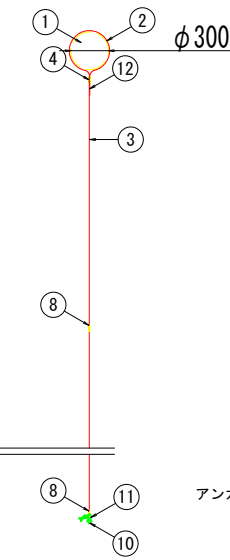
※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新渥美島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	A2橋台側 水叩き撤去図		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	1:200	図面番号	22 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

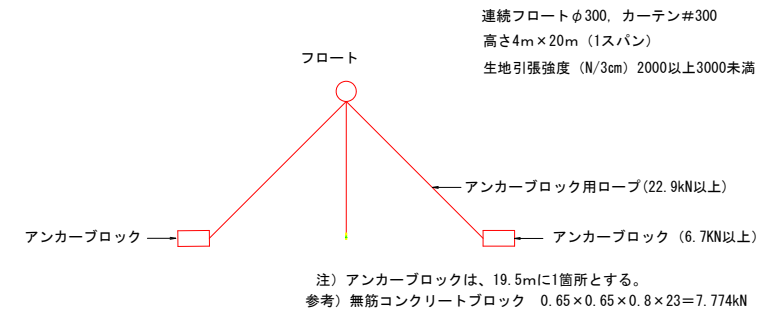
汚濁防止膜工（シルトフェンス）詳細図



A-A断面図

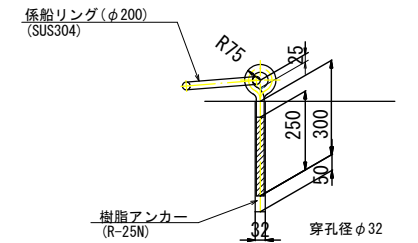
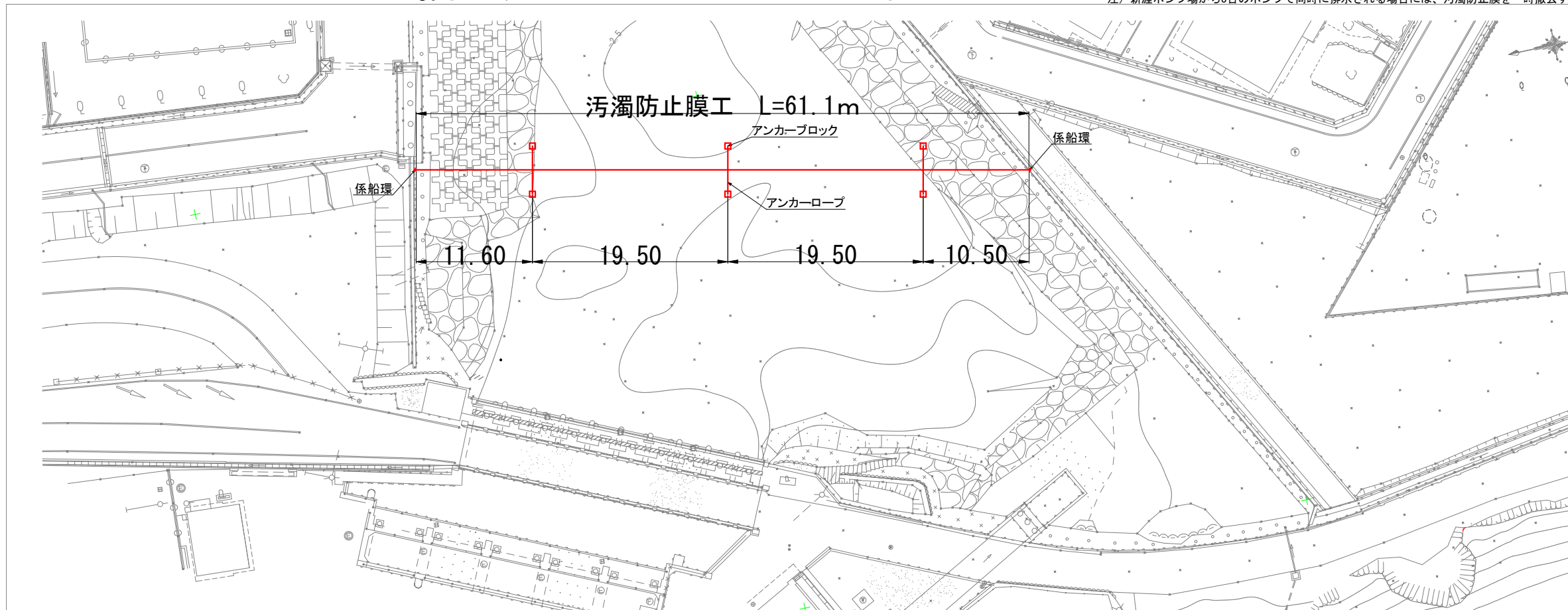


NO.	名称	規格	数量	備考
①	フロート	φ300mm×550mm	24個	発泡スチロール
②	フロートカバー	t=0.9mm	1式	ポリエステル+PVC
③	カーテンキャンバス	T-300	1式	ポリエステル
④	テンションベルト	3mm×50mm	両面	ポリエステル
⑤	補強ベルト	3mm×50mm	両面	ポリエステル
⑥	D環付金具	φ12mm	2組	SS400 (HDZ)
⑦	ボルト・ナット	M12mm	6組	SS400 (HDZ)
⑧	ベルト	2mm×50mm	1式	ポリエステル
⑨	ベルト	2mm×75mm	1式	ポリエステル
⑩	ウエイトチェーン	φ13mm	20m	SS400 (HDZ)
⑪	ラッキングロープ	φ8mm	1式	PPスパンロープ
⑫	補強布	ターポリン	1式	ポリエステル+PVC
⑬	保護布	ターポリン	両面	ポリエステル+PVC
⑭	シャックル	S-16	2個	SS400 (HDZ)
⑮	連結用ロープ	φ10mm	1式	PPスパンロープ
⑯	接続ベルト	2mm×50mm	1式	ポリエステル



汚濁防止膜工（シルトフェンス）配置平面図 S=1:250

注) 捨て石の上部には、フロートを設けないものとする。
注) 新運ポンプ場から3台のポンプで同時に排水される場合には、汚濁防止膜を一時撤去すること。



※護岸に係船環を取り付け、これに汚濁防止膜を両端固定ロープで固定する。

令和5年度
国
補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事 (新運気島線 (橋梁下部) ・5-1)		
図面名	汚濁防止膜 (シルトフェンス) 詳細図		
作成年月日	2024年 (令和6年) 2月		
縮尺	図示	図面番号	23 / 23
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

参 考 图 书

施工単価表

床掘り

SPK23040015

単第0 -0001 表

土砂 標準

無し 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 24.08% 労務構成比:

50.56%

材料構成比: 25.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

227.74000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	24.08%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	50.56%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	25.36%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

埋戻し

SPK23040020

単第0 -0002 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 11.71% 労務構成比:

83.03%

材料構成比:

5.26%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,861.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	9.99%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	1.62%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.10%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	51.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	22.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.12%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.14%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0004 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07% 材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

720.47000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=9 距離3.0km以下(2.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

基礎杭工
杭1本当り掘削長7.15m

S1030029
設計杭径 1,000mm

単第0 -0005 表

1

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.740	人			
とび工	0.740	人			
特殊作業員	0.740	人			
普通作業員	0.740	人			
機-18_オールケーシング掘削機運転 全回転式 CD 最大掘削径1500mm	0.740	日			単第0-0006 表
機-18_クローラクレーン運転 油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型70t吊 排出ガス対策型3次基準	0.740	日			単第0-0007 表
機-28_バックホウ運転(賃料) クローラ型山積0.45m3	0.740	日			単第0-0008 表
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度30,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	3.852	m3			
諸雑費	29	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=5.55 C=0 E=1 G=2 I=1	レキ質土・粘性土・砂・砂質土の掘削長(m) 軟岩2の掘削長(m) 設計杭径 1,000mm コンクリート(各種) -		B=0 D=1.6 F=4.5 H=18	岩塊・玉石・軟岩1の掘削長(m) 硬岩1・中硬岩の掘削長(m) 杭長(m) 【F】コンクリート(m3)	

施工単価表

積込(ルーズ)

SPK23040007

単第0 -0012 表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 44.49% 労務構成比: 35.67%

材料構成比: 19.84%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

229.05000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	44.49%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3)		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	35.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.84%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

施工単価表

埋戻し

SPK23040020

単第0 -0014 表

最大埋戻幅1m未満

1

m3 当り

機械構成比: 6.01% 労務構成比:

90.52%

材料構成比:

3.47%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,845.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	5.33%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00010 MTPT00010
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.68%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	54.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	27.09%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.53%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.97%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=4 最大埋戻幅1m未満			D=1 -(全ての費用)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0015 表

標準 硬岩

DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 48.11% 労務構成比:

36.75% 材料構成比: 15.14%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,022.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	48.11%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	36.75%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=3 硬岩 E=9 距離3.0km以下(2.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

コンクリート殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし

SPK23040152

単第0 -0016 表

DID区間有り 運搬距離28.4km以下(23.2km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40%

材料構成比: 15.25%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,633.2000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=64 運搬距離28.4km以下(23.2km超)		

施工単価表

逆T式橋台
90m3以上160m3未満 (H5m以上7m未満)

S3076
生コンクリート(各種)

単第0 -0017 表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.700	人			0.7*1
特殊作業員	0.200	人			0.2*1
型わく工	2.600	人			2.6*1
とび工	0.600	人			0.6*1
普通作業員	2.200	人			2.2*1
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度30,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	10.200	m3			
コンクリートポンプ車運転 トラック架装ブーム式 90~110m3/h	0.060	日			単第0-0018 表
雑工種(基礎材敷設転圧)	2	%			#06
雑工種(均しコンクリート打設)	5	%			#06
諸雑費	20	%			#09
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

既設護床切断工
水中作業

V0003

単第0 -0023 表

見積り

100

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
潜水土	2.487	人			
潜水連絡員	1.244	人			
潜水送気員	1.244	人			
エアークンプレッサー 75 p s	2.488	台			
エアークース 50m	4.974	本			
切断機 グラインダー 100	2.487	日			
切断刃 ダイヤモンド刃	7.461	枚			
削岩機 15kg ホース径19mm	2.487	日			
削岩機ビット クロスビット19mm	2.487	個			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	74.6	L			
諸雑費	13.5	%			#09 労務費の13.5%
*** 合計 ***	100	m			

施工単価表

既設護床撤去工
水中作業

V0004

単第0 -0024 表

見積り

100

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
潜水世話役	1.000	人			
潜水士	1.000	人			
潜水連絡員	1.000	人			
潜水送気員	1.000	人			
<作>クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型)50t吊,オペレータ付 排ガス(第1,2次)低騒音(分解,組立が必要)	1.000	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	80.0	L			
諸雑費	8.0	%			#09 労務費の8%
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

既設捨石撤去工
水中作業

V0005

単第0 -0025 表

再利用撤去

見積り

10

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
潜水士	0.689	人			
潜水連絡員	0.689	人			
潜水送気員	0.689	人			
<作>クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型)50t吊,オペレータ付 排ガス(第1,2次)低騒音(分解,組立が必要)	0.689	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	55.12	L			
諸雑費	20.0	%			#09 労務費の20%
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0026 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離34.3km以下(28.4km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 4,230.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=67 運搬距離34.3km以下(28.4km超)		

施工単価表

舗装版切断

SPK23040306

単第0 -0028 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下 A 2側 水叩きコンクリート

1

m 当り

機械構成比: 9.87%

労務構成比:

34.84%

材料構成比: 55.29%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,038.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深30cm級ブレード径 75cm	6.67%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深30cm級ブレード径 75cm		MTPC00057 MTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	12.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	5.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径75cm(30インチ)	24.95%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径75cm(30インチ)		TTPC00016 TTPT00016
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	17.10%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径35cm(14インチ)	10.46%		コンクリートカッタブレード 径14インチ		TTPC00344 TTPT00344

施工単価表

仮設盛土工 Aブロック
潮待ち補正係数1.23

V0006

単第0 -0029 表

見積り

100

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.496	人			
普通作業員	0.266	人			
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.401	日			
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.155	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	29.294	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

仮設盛土工 Bブロック
潮待ち補正係数1.25

V0007

単第0 -0030 表

見積り

100

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.505	人			
普通作業員	0.270	人			
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.407	日			
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.157	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	29.770	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

仮設盛土工 Cブロック
潮待ち補正係数1.25

V0008

単第0 -0031 表

見積り

100

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.505	人			
普通作業員	0.270	人			
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.407	日			
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.157	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	29.770	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

仮設盛土工 Dブロック
潮待ち補正係数1.28

V0009

単第0 -0032 表

見積り

100

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.517	人			
普通作業員	0.276	人			
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.417	日			
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.161	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	30.480	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

防砂シート敷設工 Aブロック
潮待ち補正係数1.03

V0010

単第0 -0033 表

見積り

10

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.046	人			
特殊作業員	0.093	人			
普通作業員	0.417	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.046	日			
不織布(長繊維化繊系) 質量500g/m2,強度1078N/5cm	10	m2			
諸雑費	0.5	%			#09 労務費の0.5%
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

防砂シート敷設工 Bブロック
潮待ち補正係数1.27

V0011

単第0 -0034 表

見積り

10

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.057	人			
特殊作業員	0.114	人			
普通作業員	0.514	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.057	日			
不織布(長繊維化繊系) 質量500g/m2,強度1078N/5cm	10	m2			
諸雑費	0.5	%			#09 労務費の0.5%
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

防砂シート敷設工 Cブロック
潮待ち補正係数1.27

V0012

単第0 -0035 表

見積り

10

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.057	人			
特殊作業員	0.114	人			
普通作業員	0.514	人			
<作>クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型)50t吊,オペレータ付 排ガス(第1,2次)低騒音(分解,組立が必要)	0.057	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.560	L			
不織布(長繊維化繊系) 質量500g/m2,強度1078N/5cm	10	m2			
諸雑費	0.5	%			#09 労務費の0.5%
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

防砂シート敷設工 Dブロック
潮待ち補正係数1.14

V0013

単第0 -0036 表

見積り

10

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.051	人			
特殊作業員	0.103	人			
普通作業員	0.462	人			
<作>クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型)50t吊,オペレータ付 排ガス(第1,2次)低騒音(分解,組立が必要)	0.051	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.080	L			
不織布(長繊維化繊系) 質量500g/m2,強度1078N/5cm	10	m2			
諸雑費	0.5	%			#09 労務費の0.5%
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

敷鉄板撤去

S1050043

単第0 -0039 表

頁0 -0061

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.143	人			
とび工	0.143	人			
普通作業員	0.143	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.143	日			単第0-0038 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100 m2 当り

施工単価表

大型土のう製作

SHD10007

単第0 -0041 表

頁0 -0063

10 袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.161	人			1*0.161
特殊作業員	0.161	人			1*0.161
普通作業員	0.161	人			1*0.161
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 長期仮設対応(3年)型	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.161	日			単第0-0042 表
諸雑費	7	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=3 耐候性(長期)大型土のう(径110cm×長110cm)			B=1	土砂の計上なし	

施工単価表

大型土のう工 Aブロック
潮待ち補正係数1.03

V0014
設置手間のみ

単第0 -0043 表

10

袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.129	人			
特殊作業員	0.129	人			
普通作業員	0.129	人			
<作>クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型)50t吊,オペレータ付 排ガス(第1,2次)低騒音(分解,組立が必要)	0.129	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	10.320	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			

施工単価表

大型土のう工 Bブロック
潮待ち補正係数1.27

V0015
設置手間のみ

単第0 -0044 表

10

袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.244	人			
特殊作業員	0.244	人			
普通作業員	0.244	人			
<作>クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型)50t吊,オペレータ付 排ガス(第1,2次)低騒音(分解,組立が必要)	0.192	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.360	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			

施工単価表

大型土のう工 Cブロック
潮待ち補正係数1.27

V0016
設置手間のみ

単第0 -0045 表

10

袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.159	人			
特殊作業員	0.159	人			
普通作業員	0.159	人			
<作>クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型)50t吊,オペレータ付 排ガス(第1,2次)低騒音(分解,組立が必要)	0.159	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.720	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			

施工単価表

大型土のう工 Dブロック
潮待ち補正係数1.14

V0017
設置手間のみ

単第0 -0046 表

10

袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.143	人			
特殊作業員	0.143	人			
普通作業員	0.143	人			
<作>クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型)50t吊,オペレータ付 排ガス(第1,2次)低騒音(分解,組立が必要)	0.143	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.440	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			

施工単価表

仮設管渠工 Bブロック
潮待ち補正係数1.45

V0019

単第0 -0053 表

設置手間のみ

見積り

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.725	人			
特殊作業員	1.117	人			
普通作業員	3.219	人			
<作>クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型)50t吊,オペレータ付 排ガス(第1,2次)低騒音(分解,組立が必要)	0.290	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	23.200	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

仮設管渠工 Cブロック
潮待ち補正係数1.45

V0020
設置手間のみ

単第0 -0054 表

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.725	人			
特殊作業員	1.117	人			
普通作業員	3.219	人			
<作>クローラクレーン(油圧駆動式ウィンチ) (ラチスジブ型)50t吊,オペレータ付 排ガス(第1,2次)低騒音(分解,組立が必要)	0.290	日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	23.200	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

裏込め工
潮待ち補正係数1.45

V0021
標準突出型断面 M-30

見積り

単第0 -0056 表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.328	人			
特殊作業員	0.608	人			
普通作業員	1.544	人			
バックホウ運転 油圧式クローラ型 山積0.8(平積0.6)m3	0.468	日			単第0-0057 表
粒度調整碎石 30~0mm	12	m3			
諸雑費	0.6	%			#09 労務費・機械費の0.6%
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

2023年度(令和5年度)

道路改良工事

新涯箕島線(橋梁下部)・5-1

工事数量計算書

本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
道路改良工事（新渥美島線（橋梁下部）・5-1）								
橋梁下部								
	A2橋台工							
		作業土工						
			床掘り	土砂 標準 無し 障害無し	m3	264.4	260	計第1表
			埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	164.7	160	計第1表
			基面整正	基面整正	m3	44.4	44	計第1表
		残土処理工						
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	m3	81.4	80	計第1表
			残土等処分	残土処分費 砂質土等	m3	81.4	80	計第1表
		場所打杭工						
			場所打杭	基礎杭工 杭1本当り掘削長7.15m 設計杭径 1,000mm	本	6.0	6	計第2表
			杭頭処理工		本	6.0	6	計第2表
			鉄筋工	SD345_D16~D25 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t未満	t	3.168	3.17	計第2表
				SD345_D13 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t未満	t	0.042	0.04	計第2表
			積込(ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	m3	18.0	20	計第2表
				破碎岩 土量50,000m3未満	m3	7.8	8	計第2表
			埋戻し	最大埋戻幅1m未満	m3	7.8	8	計第2表
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	m3	18.0	20	計第2表
				標準 硬岩 DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	m3	7.8	8	計第2表
			残土等処分	残土処分費 砂質土等	m3	18.0	20	計第2表
				残土処分費 硬岩	m3	7.8	8	計第2表
			コンクリート殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離28.4km以下(23.2km超)	m3	4.8	5	計第2表
			コンクリート殻処分	コンクリート殻処分費 再生工場搬入	t	11.3	11	4.8m3*2.35t/m3 =11.3t
		橋台躯体工(構造物単位)						
			逆T式橋台	90m3以上160m3未満 (H5m以上7m未満) 生コンクリート(各種)	m3	126.7	127	計第5表
				円形紙管材料費 各種箱抜き	式	1.0	1	計第5表
				コンクリート保護塗装工 CC-B塗装	m2	35.8	36	計第5表
			鉄筋工	SD345_D16~D25 一般構造物 [規]10t未満	t	4.909	4.91	計第5表
				SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	t	0.707	0.71	計第5表
	護床工							
		護床工						
			既設護床撤去工	既設護床切断工 水中作業	m	494.1	494	計第28表
				既設護床撤去工 水中作業	m2	744.0	744	計第29表
				既設捨石撤去工 水中作業 再利用撤去	m3	18.1	18	計第30表
		運搬処理工						
			殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離34.3km以下(28.4km超)	m3	74.4	74	V=744.0m2×0.1m =74.4m3
			殻処分	既設護床マット処分費 廃プラスチック類・がれき類混成 安定型最終処分場 埋立処分	t	156.2	156	W=74.4m3×2.1t/m3 =156.24t
		構造物撤去工						
			構造物取壊し工	構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	m3	4.1	4	計第27表

本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
道路改良工事（新渥美島線（橋梁下部）・5-1）								
橋梁下部								
				舗装版切断 コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下	m	5.6	6	計第27表
		運搬処理工						
			殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離28.4km以下(23.2km超)	m3	4.1	4	計第27表
			殻処分	コンクリート殻処分費 再生工場搬入	t	9.6	10	W=4.1m ³ ×2.35t/m ³ =9.6t
	仮設工							
		工事用道路工						
			工事用道路盛土	仮設盛土工 Aブロック 潮待ち補正 補正係数1.23	m3	251.1	250	計第7表
				仮設盛土工 Bブロック 潮待ち補正 補正係数1.25	m3	822.5	820	計第7表
				仮設盛土工 Cブロック 潮待ち補正 補正係数1.25	m3	783.4	780	計第7表
				仮設盛土工 Dブロック 潮待ち補正 補正係数1.28	m3	749.9	750	計第7表
				防砂シート敷設工 Aブロック 潮待ち補正 補正係数1.03	m2	292.1	292	計第7表
				防砂シート敷設工 Bブロック 潮待ち補正 補正係数1.27	m2	596.9	597	計第7表
				防砂シート敷設工 Cブロック 潮待ち補正 補正係数1.27	m2	528.0	528	計第7表
				防砂シート敷設工 Dブロック 潮待ち補正 補正係数1.14	m2	281.9	282	計第7表
			敷鉄板	敷鉄板設置	m2	362.3	362	計第26表
				敷鉄板撤去	m2	362.3	362	計第26表
				敷鉄板賃料 22×1524×3048, 802kg/枚 賃貸期間138日	枚	78.0	78	計第26表
			土のう	大型土のう製作	袋	1436.0	1436	計第7表
				大型土のう工 Aブロック 潮待ち補正係数1.03 設置手間のみ	袋	284.0	284	計第7表
				大型土のう工 Bブロック 潮待ち補正係数1.27 設置手間のみ	袋	444.0	444	計第7表
				大型土のう工 Cブロック 潮待ち補正係数1.27 設置手間のみ	袋	448.0	448	計第7表
				大型土のう工 Dブロック 潮待ち補正係数1.14 設置手間のみ	袋	260.0	260	計第7表
	水替工							
		ポンプ排水		水替工 排水量 40以上120未満 (m ³ /h) 作業時排水	式	1.0	1	A2橋台
	仮水路工							
		仮設管渠工		仮設管渠工 Bブロック 潮待ち補正係数1.45 設置手間のみ	m	60.0	60	計第24表 L=20m×3本
				仮設管渠工 Cブロック 潮待ち補正係数1.45 設置手間のみ	m	40.0	40	計第24表 L=20m×2本
				高耐圧ポリエチレン管材料費 呼び径1800mm	式	1.0	1	計第24表
				裏込め工 潮待ち補正係数1.45 標準突出型断面 M-30	m3	631.6	630	計第25表
		汚濁防止膜工						
			汚濁防止フェンス	汚濁防止膜 設置 汚濁防止膜 (連続フロー) φ300, #300, 4×20m 買取	m	61.1	61	汚濁防止膜 (シルトフェンス) 詳細図
	運搬費							
		運搬費						
			重建設機械分解組立輸送費	クローラクレーン系 35t吊超え80t吊以下	回	1.0	1	仮設工
				重建設機械分解組立輸送 オールケーシング掘削機(クローラ式)	回	1.0	1	A2橋台
			仮設材運搬費	仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 6.8km 製品長 12m以内	式	1.0	1	仮設工

A2橋台

1. 床掘り

a) オープン掘削部

① A領域, 土砂

$$\begin{aligned}
 V1 &= \frac{\text{m}^2}{21.28} \times (1.520 \times 1/2 + 0.500) & = & 26.8 \text{ m}^3 \\
 V2 &= \frac{\text{m}^2}{21.28} \times 10.250 & = & 218.1 \text{ m}^3 \\
 V3 &= \frac{\text{m}^2}{21.28} \times (1.450 \times 1/2 + 0.500) & = & 26.1 \text{ m}^3 \\
 \text{杭頭控除 } V4 &= (-) \pi/4 \times 1.000^2 \times 1.400 \times 6 & = & -6.6 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V & & = & 264.4 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

2. 埋戻し (最大埋戻幅 1m以上4m未満, 土砂)

$$\begin{aligned}
 V1 &= \frac{\text{m}^2}{21.28} \times (1.520 \times 1/2 + 0.500) & = & 26.8 \text{ m}^3 \\
 V2 &= \frac{\text{m}^2}{10.91} \times 10.250 & = & 111.8 \text{ m}^3 \\
 V3 &= \frac{\text{m}^2}{21.28} \times (1.450 \times 1/2 + 0.500) & = & 26.1 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V & & = & 164.7 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

3. 残土

$$V = \frac{\text{m}^3}{\text{床掘り土量}} - \frac{\text{m}^3}{\text{埋戻し土量}} \times 1 / 0.90 = 81.4 \text{ m}^3$$

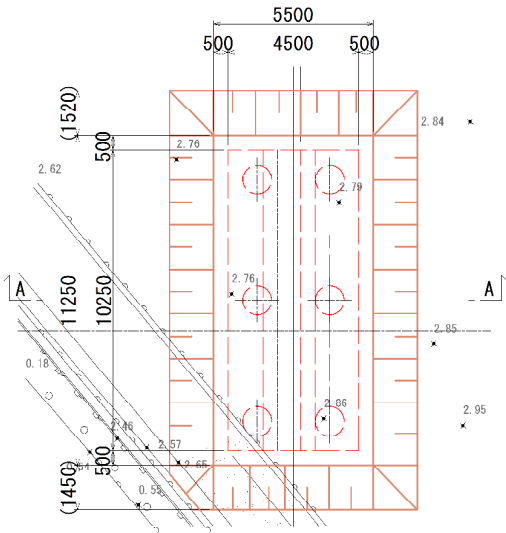
4. 基面整正

$$\begin{aligned}
 A1 &= 10.450 \times 4.700 & = & 49.12 \text{ m}^2 \\
 \text{杭控除 } A2 &= (-) \pi/4 \times 1.000^2 \times 6 & = & -4.71 \text{ m}^2 \\
 \hline
 \Sigma A & & = & 44.41 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

A2橋台 土工根拠図

(平面図)

注) ()内は、平均寸法を示す。

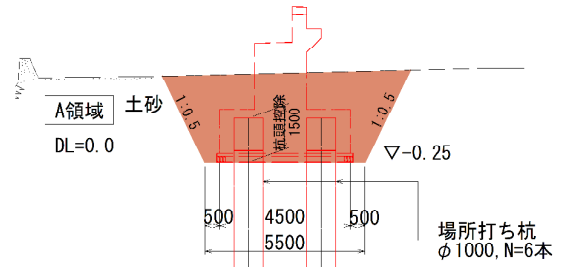


(断面図)

(A-A)

注) ()内は、躯体範囲外の寸法を示す。

床掘り (A領域) 土砂 A=21.28m² 埋戻し (最大埋戻し幅 1m以上4m未満) 土砂 A=10.91m² (A=21.28m²)



基礎工 数量総括表

種 別	規 格	単 位	A2橋台		合 計	
			φ 1000, N=6本			
			1本当り	1基当り		
杭 長	φ 1000	m	4.5	27.0		
コンクリート	呼び強度 30N/mm ²	m ³	3.5	21.0		
鉄 筋	SD345 場所打杭用かご筋	D35	kg			
		D32~D29	kg			
		D25~D16	kg	528	3168	
		D13	kg	7	42	
		合 計	kg	535	3210	
杭頭処理		m ³	0.8	4.8		
補強リング 固定金具	L6×50×50	kg				
	L12×75×75	kg				
	L9×75×75	kg				
	FB 9×65	kg	19	114		
	Uボルト	D35用, SS400	本			
	D22用, SS400	本	40	240		
スペーサー	L=0.300m	本	8	48		
スペーサー 固定金具	Uボルト	D35用, SS400	本			
		D22用, SS400	本	16	96	
	FB30×4	kg	1	6		
土質別掘削長	土 砂	m	5.6	33.6		
	軟岩 I	m				
	中硬岩	m	1.6	9.6		
土 工	掘削	土 砂	m ³	4.4	26.4	
		軟岩 I	m ³			
		中硬岩	m ³	1.3	7.8	
	埋戻し	土 砂	m ³	1.3	7.8	
		軟岩 I	m ³			
		中硬岩	m ³	1.3	7.8	
残 土	土 砂	m ³	3.0	18.0		
	軟岩 I	m ³				
	中硬岩	m ³	1.3	7.8		

計第3表

(1) 場所打杭

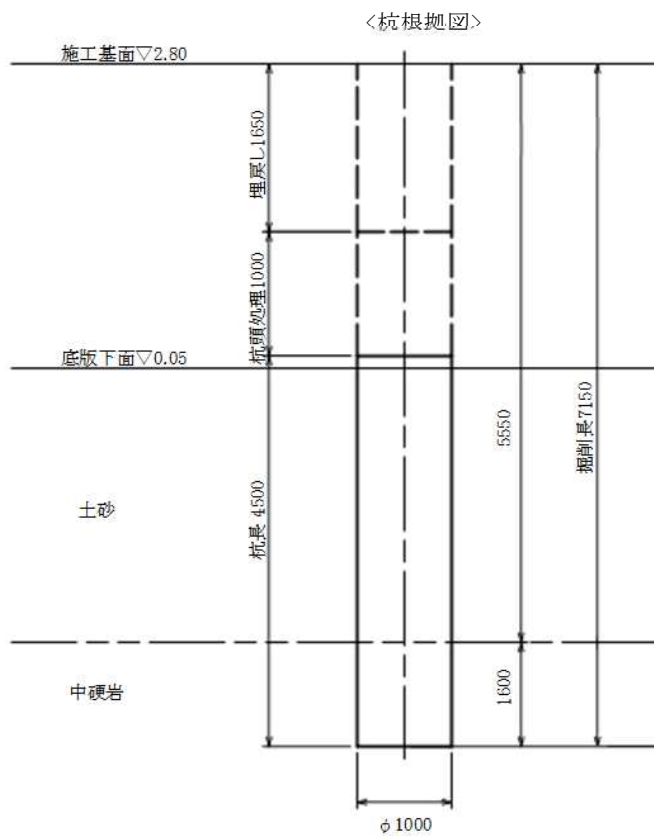
工種	種別	杭径 mm	杭長 m	杭 1 本 当 り																	杭 総 本 数 本		
				鉄 筋								コンク リート m3	コンク リート 種類	モルタル m3	モルタル 規格	中詰材 規格 使用量	H型钢 規格 単位質量	鋼管 規格 単位質量	杭頭処理 取壊コン クリート m3	継材の 有無			
				SD345																			
				D=13 kg	16≤D ≤25 kg	29≤D ≤32 kg	D=35 kg	D=38 kg	D=41 kg	D=51 kg	計 kg												
橋台工	A2橋台	φ1000	4.5	7	528							535	3.5	呼び強度 30N/mm ²							0.8		6

注) 1.杭の種類に応じて必要材料の算出を行う。
 2.杭頭鉄筋の鉄筋量は鉄筋規格・径別に集計する。
 3.橋梁については、各橋台・橋脚ごとに集計する。
 4.掘削残土については第1編2章土工により別途算出する。
 5.泥水については別途算出する。

A2橋台 場所打ち杭

杭径 ϕ 1000 杭長 L= 4.500 m
 杭本数 6 本 施工方法: 全回転式オールケーシング工

(杭1本当たり数量)



1. コンクリート (呼び強度 30N/mm²)

$$V = \pi/4 \times 1.000^2 \times 4.500 = 3.53 \text{ m}^3$$

2. 鉄筋 (SD345, 場所打ち杭用かご筋)

(kg)

径	本体	合計
D25		
D22	327	
D19		
D16	201	528
D13	7	7
合計	535	535

3. 杭頭処理

$$V = \pi/4 \times 1.000^2 \times 1.000 = 0.79 \text{ m}^3$$

4. 補強リング、固定金具

a) FB 9×65

W= 場所打ち杭配筋図 補強リング、固定金具より = 19 kg

b) Uボルト (SS400)

(本)

	本数
D22用	40

5. スペーサー (L=0.300m)

N= 8 本

6. スペーサー固定金具

a) Uボルト (SS400)

(本)

	本数
D22用	16

b) FB 30×4

W= 場所打ち杭配筋図 スペーサー固定金具より = 1 kg

7. 土質別掘削長

土質別掘削長集計表 (m)

土質	掘削長
土砂	5.55
中硬岩	1.60
合計	7.15

A2橋台 場所打ち杭
杭土工

1. 掘削

土質	掘削径(m)	掘削長(m)	断面積(m ²)	掘削土量(m ³)
土砂	1.000	5.55	0.785	4.4
中硬岩	1.000	1.60	0.785	1.3
合計	-	7.15	-	5.7

土質別掘削集計表 (m³)

土質	掘削土量
土砂	4.4
中硬岩	1.3
合計	5.7

2. 埋戻し

$$V = \frac{\pi}{4} \times 1.000^2 \times 1.650 = 1.3 \text{ m}^3$$

3. 残土

a) 土砂

$$V = \frac{4.4 \text{ m}^3}{\text{土砂掘削土量}} - \frac{1.3 \text{ m}^3}{\text{埋戻し土量}} \times 1 \div \frac{0.90}{\text{土量変化率}} = 3.0 \text{ m}^3$$

a) 中硬岩

$$V = \frac{1.3 \text{ m}^3}{\text{中硬岩掘削土量}} = 1.3 \text{ m}^3$$

下部工 数量総括表

種 別		規 格		区 分		単 位	A2橋台	合 計
コンクリート	底版	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$				m ³	68.7	68.7
	堅壁					m ³	42.2	42.2
	パラペット					m ³	6.9	6.9
	ウイング					m ³	8.9	8.9
	柱					m ³		
	梁					m ³		
	合計					m ³	126.7	126.7
型 枠	底版	一般型枠, 鉄筋・無筋構造物				m ²	44.3	44.3
	堅壁					m ²	48.2	48.2
	パラペット					m ²	24.6	24.6
	ウイング					m ²	35.7	35.7
	柱					m ²		
	梁					m ²		
	合計					m ²	152.7	152.7
均しコンクリート		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ t=10cm				m ²	44.4	44.4
均しコンクリート型枠						m ³	4.4	4.4
基礎砕石		RC-40, t=20cm				m ²	3.0	3.0
伸縮後打ち							上部工にて計上	
鉄 筋	SD345 一般構造物	D51				kg		
		D41				kg		
		D38				kg		
		D35				kg		
		D32~D29				kg		
		D25~D16				kg	4909	4909
		D13				kg	707	707
		合 計				kg	5616	5616
足場工			手摺先行型枠組足場	H \leq 30m		掛m ²	118	118
支保工			パイプサポート	H<4.0m	w \leq 40kN/m ²	空m ³	7.2	7
					40kN/m ² <w \leq 60kN/m ²	空m ³	2.5	3
			くさび結合	h \leq 30m	w \leq 40kN/m ²	空m ³		
アンカーボルト箱抜き	ϕ 150					m		
	ϕ 125					m	14.2	14.2
ガードレール箱抜き	ϕ 180					m	1.2	1.2
転落防止柵箱抜き	ϕ 100					m	0.5	0.5
	CC-B					m ²	35.8	35.8

A2橋台

1. コンクリート ($\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$)

a) 底版

$$\begin{array}{rcl}
 V1= & 4.500 & \times 10.250 \times 1.500 & = & 69.19 & \text{m}^3 \\
 \text{杭控除 } V2= (-) & \pi/4 & \times 1.000^2 \times 0.100 & \times & 6 & = & -0.47 & \text{m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V1 & = & & & 68.72 & \text{m}^3
 \end{array}$$

b) 縦壁

$$\begin{array}{rcl}
 V1= & 1.300 & \times 10.250 \times 1/2 \times (2.262 + 2.301) & = & 30.40 & \text{m}^3 \\
 V2= & 0.500 & \times 10.250 \times 2.301 & = & 11.79 & \text{m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V2 & = & & & 42.19 & \text{m}^3
 \end{array}$$

c) パラペット

(正面面積)

$$\begin{array}{rcl}
 a1= & 0.400 & \times 1/2 \times (1.359 + 1.351) & = & 0.542 & \text{m}^2 \\
 a2= & 2.300 & \times 1/2 \times (1.251 + 1.205) & = & 2.824 & \text{m}^2 \\
 a3= & 0.200 & \times 1/2 \times (1.351 + 1.351) & = & 0.270 & \text{m}^2 \\
 a4= & 3.250 & \times 1/2 \times (1.151 + 1.199) & = & 3.819 & \text{m}^2 \\
 a5= & 3.500 & \times 1/2 \times (1.199 + 1.147) & = & 4.106 & \text{m}^2 \\
 a6= & 0.600 & \times 1/2 \times (1.397 + 1.409) & = & 0.842 & \text{m}^2 \\
 \text{控除 } a7= (-) & 2.300 & \times 0.250 & = & -0.575 & \text{m}^2 \\
 \text{" } a8= (-) & 6.750 & \times 0.250 & = & -1.688 & \text{m}^2 \\
 \hline
 \Sigma a & = & & & 10.140 & \text{m}^2
 \end{array}$$

(背面面積)

$$\begin{array}{rcl}
 a1= & 0.400 & \times 1/2 \times (1.345 + 1.337) & = & 0.536 & \text{m}^2 \\
 a2= & 2.300 & \times 1/2 \times (1.237 + 1.191) & = & 2.792 & \text{m}^2 \\
 a3= & 0.200 & \times 1/2 \times (1.337 + 1.337) & = & 0.267 & \text{m}^2 \\
 a4= & 3.250 & \times 1/2 \times (1.137 + 1.186) & = & 3.775 & \text{m}^2 \\
 a5= & 3.500 & \times 1/2 \times (1.186 + 1.133) & = & 4.058 & \text{m}^2 \\
 a6= & 0.600 & \times 1/2 \times (1.383 + 1.395) & = & 0.833 & \text{m}^2 \\
 \text{控除 } a7= (-) & 2.300 & \times 0.250 & = & -0.575 & \text{m}^2 \\
 \text{" } a8= (-) & 6.750 & \times 0.250 & = & -1.688 & \text{m}^2 \\
 \hline
 \Sigma a & = & & & 9.998 & \text{m}^2
 \end{array}$$

$$V= 0.500 \times 1/2 \times (10.140 + 9.998) = 5.03 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V3 = 5.03 \text{ m}^3$$

d) 受台

$$V= 0.500 \times 6.750 \times 1/2 \times (0.300 + 0.800) = 1.86 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V4 = 1.86 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V3 \sim V4 = 6.89 \text{ m}^3$$

e) L側ウイング

$$\begin{aligned}
 V1 &= 0.400 \times 1/2 \times \{ 1.500 \times 1/2 \times (3.646 + 3.602) \\
 &\quad + 1.500 \times 1/2 \times (3.638 + 3.594) \} = 2.17 \text{ m}^3 \\
 \text{ハンチ } V2 &= 1/2 \times 0.500 \times 0.500 \times 3.438 = 0.43 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V5 &= 2.60 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

f) R側ウイング

$$\begin{aligned}
 V1 &= 0.600 \times 1/2 \times \{ 1.500 \times 1/2 \times (3.696 + 3.649) \\
 &\quad + 1.500 \times 1/2 \times (3.684 + 3.637) \} = 3.30 \text{ m}^3 \\
 V2 &= 0.600 \times 1/2 \times \{ 2.400 \times 1/2 \times (2.738 + 1.062) \\
 &\quad + 2.400 \times 1/2 \times (2.726 + 1.050) \} = 2.73 \text{ m}^3 \\
 \text{ハンチ } V3 &= 1/2 \times 0.500 \times 0.500 \\
 &\quad \times 1/3 \times (1.947 + 1.947 + 2.447) = 0.26 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V6 &= 6.29 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V5 \sim V6 &= 8.89 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

コンクリート集計 (m³)

	数量
底版	68.72
堅壁	42.19
パラペット	6.89
ウイング	8.89
合計	126.69

※受台含む

2. 型 枠 (一般型枠, 鉄筋・無筋構造物)

a) 底版

$$\begin{aligned}
 A &= (4.500 + 10.250) \times 1.500 \times 2 = 44.25 \text{ m}^2 \\
 \hline
 \Sigma A1 &= 44.25 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

b) 堅壁

$$\begin{aligned}
 \text{正背面 } A1 &= 10.250 \times (2.262 + 2.301) = 46.77 \text{ m}^2 \\
 \text{妻面 } A2 &= \{ 1.300 \times 1/2 \times (2.262 + 2.301) \\
 &\quad + 0.500 \times 2.301 \} \times 2 = 8.23 \text{ m}^2 \\
 \text{L側ウイング控除 } A3 &= (-) 0.400 \times 2.301 = -0.92 \text{ m}^2 \\
 \text{L側ハンチ控除 } A4 &= (-) 0.500 \times 2.301 = -1.15 \text{ m}^2 \\
 \text{R側ハンチ控除 } A5 &= (-) 0.500 \times 1.947 = -0.97 \text{ m}^2 \\
 \text{R側ウイング控除 } A6 &= (-) 0.600 \times 2.301 = -1.38 \text{ m}^2 \\
 \text{受台控除 } A7 &= (-) 6.750 \times 0.354 = -2.39 \text{ m}^2 \\
 \hline
 \Sigma A2 &= 48.19 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

c) パラペット

		m ²		m ²					
正背面	A1=	10.140	+	9.998	※CAD図測	=	20.14	m ²	
		<small>正面面積aより</small>		<small>背面面積aより</small>					
妻面	A2=	0.500	×	1/2	×	(1.359	+	1.345
"	A3=	0.500	×	(0.100	+	0.250)	
"	A4=	0.500	×	(0.146	+	0.250)	
"	A5=	0.500	×	(0.200	+	0.250)	
"	A6=	0.500	×	(0.250	+	0.250)	
妻面	A7=	0.500	×	1/2	×	(1.409	+	1.395
L側ウイング控除	A8= (-)	0.400	×	1/2	×	(1.345	+	1.337
L側ハンチ控除	A9= (-)	0.500	×	1/2	×	(0.987	+	0.977
R側ウイング控除	A10= (-)	0.500	×	1/2	×	(1.383	+	1.395
受台控除	A11= (-)	6.750	×	0.446					
							<hr/>		
						Σ A3	=	17.65	m ²

d) 受台

A1=	6.750	×	0.300		=	2.03	m ²					
A2=	1/2	×	(6.750	+	6.250)	×	0.707	=	4.60	m ²
妻面 A3=	0.500	×	1/2	×	(0.300	+	0.800)	=	0.28	m ²
							<hr/>					
						Σ A4	=	6.91	m ²			
							<hr/>					
						Σ A3~A4	=	24.56	m ²			

e) L側ウイング

外側 A1=	1.500	×	1/2	×	(3.646	+	3.602)	=	5.44	m ²
内側 A2=	1.500	×	1/2	×	(3.638	+	3.594)	=	5.42	m ²
妻面 A3=	0.400	×	1/2	×	(3.602	+	3.594)	=	1.44	m ²
" A4=	0.500	×	1/2	×	(0.160	+	0.150)	=	0.08	m ²
ハンチ A5=	0.707	×	3.438						=	2.43	m ²	
ハンチ控除 A6= (-)	0.500	×	3.438						=	-1.72	m ²	
							<hr/>					
						Σ A5	=	13.09	m ²			

f) R側ウイング

外側 A1=	1.500	×	1/2	×	(3.696	+	3.649)	=	5.51	m ²				
" A1=	2.400	×	1/2	×	(2.738	+	1.062)	=	4.56	m ²				
内側 A2=	1.500	×	1/2	×	(3.684	+	3.637)	=	5.49	m ²				
" A2=	2.400	×	1/2	×	(2.726	+	1.050)	=	4.53	m ²				
妻面 A2=	0.600	×	(1/2	×	(1.062	+	1.050)	+	2.884)	=	2.36	m ²
ハンチ A4=	0.707	×	1/2	×	(1.947	+	2.447)	=	1.55	m ²				
受台控除 A5= (-)	0.500	×	1/2	×	(0.300	+	0.800)	=	-0.28	m ²				
ハンチ控除 A6= (-)	0.500	×	1/2	×	(1.947	+	2.447)	=	-1.10	m ²				
							<hr/>									
						Σ A6	=	22.62	m ²							
							<hr/>									
						Σ A5~A6	=	35.71	m ²							

型枠集計 (m ²)	
	数量
底版	44.25
堅壁	48.19
パラペット	24.56
ウイング	35.71
合計	152.71

※受台含む

3. 均しコンクリート (σ_{ck}=18N/mm², t=10cm)

$$A1 = 4.700 \times 10.450 = 49.12 \text{ m}^2$$

$$\text{杭控除 } A2 = (-) \pi/4 \times 1.000^2 \times 6 = -4.71 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 44.41 \text{ m}^2$$

$$V = 44.41 \times 0.100 = 4.44 \text{ m}^3$$

4. 均しコンクリート型枠

$$A = (4.700 + 10.450) \times 2 \times 0.100 = 3.03 \text{ m}^2$$

5. 基礎砕石 (RC-40, t=20cm)

$$A1 = 4.700 \times 10.450 = 49.12 \text{ m}^2$$

$$\text{杭控除 } A2 = (-) \pi/4 \times 1.000^2 \times 6 = -4.71 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 44.41 \text{ m}^2$$

6. 伸縮後打ち

上部工にて計上

7. 鉄筋

a) 鉄筋 (SD345, 一般構造物)

(kg)

径	本体	L側ウイング	R側ウイング	合計
D25	652			4909
D22	392			
D19	923			
D16	2310	284	348	
D13	604	23	80	707
合計	4881	307	428	5616

8. 足場工 (手摺先行型枠組足場, H≤30m)

$$A = (7.650 + 2.300 + 6.800 + 12.450 + 4.400) \times 3.500 = 117.6 \text{ 掛m}^2$$

$$\Sigma A = 117.6 \text{ 掛m}^2$$

9. 支保工

a) 受台 (パイプサポート, H<4.0m, 支保耐力40kN/m²以下)

$$\text{平均厚 } t = 1/2 \times (0.300 + 0.800) = 0.550 \text{ m}$$

$$\text{支保耐力 } w = 0.550 \times 24.5 = 13.48 \text{ kN/m}^2$$

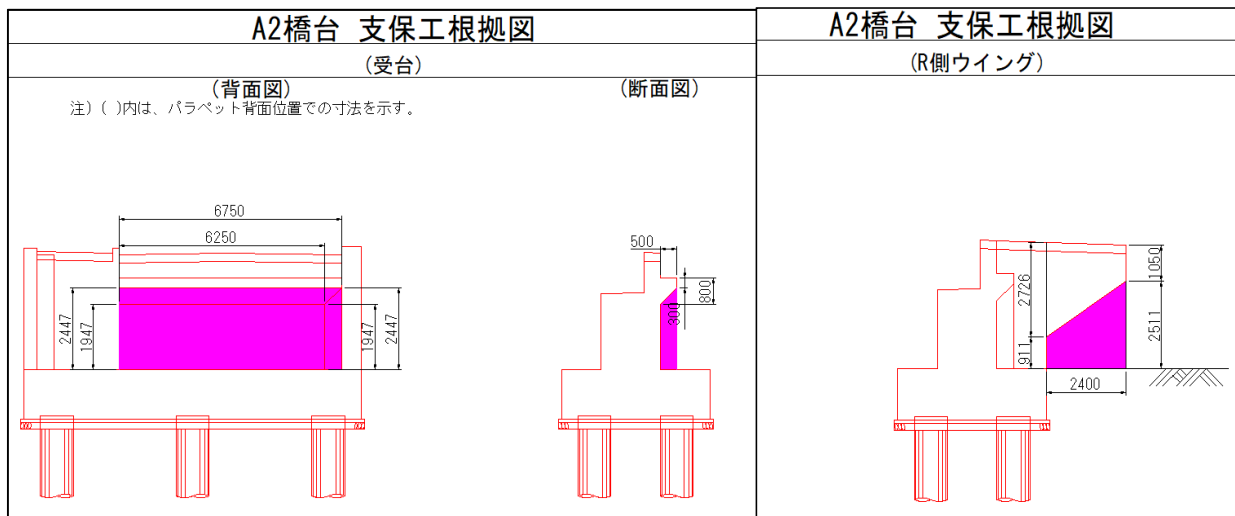
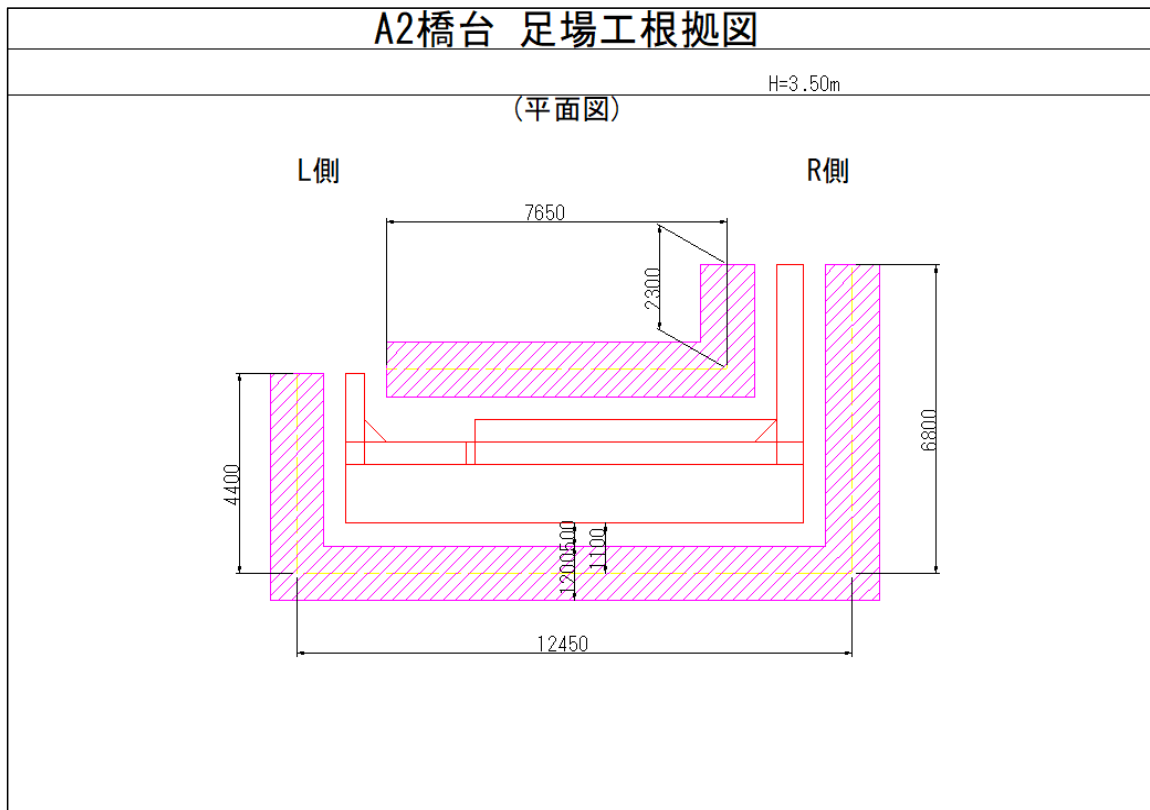
$$\text{平均設置高 } h = 1/2 \times (2.447 + 1.947) = 2.20 \text{ m}$$

$$V = 0.500 \times 1/2 \times (6.750 \times 2.447 + 6.250 \times 1.947) = 7.2 \text{ 空m}^3$$

b) R側ウイング (パイプサポート, H<4.0m, 支保耐力40kN/m²を超え60kN/m²以下)

$$\begin{aligned} \text{平均厚 } t &= \frac{1}{4} \times (2.738 + 1.062 + 2.726 + 1.050) = 1.894 \text{ m} \\ \text{支保耐力 } w &= 1.894 \times 24.5 = 46.40 \text{ kN/m}^2 \\ \text{平均設置高 } h &= \frac{1}{2} \times (0.911 + 2.511) = 1.711 \text{ m} \\ V &= 0.600 \times 2.400 \times \frac{1}{2} \times (0.911 + 2.511) = 2.5 \text{ 空m}^3 \end{aligned}$$

支保工集計		(空m ³)			
	平均設置高	支保耐力	受台	R側ウイング	合計
パイプサポート	H<4.0m	40kN/m ² 以下	7.2		7.2
		40kN/m ² を超え60kN/m ² 以下		2.5	2.5



10. アンカーボルト箱抜き	(φ 125)						
l=	0.273 m						
n=	4 × 13			=	52	箇所	
L=	0.273 × 52			=	14.20	m	
11. ガードレール箱抜き	(φ 180)						
l=	0.400 m						
n=	3 箇所						
L=	0.400 × 3			=	1.20	m	
12. 転落防止柵箱抜き	(φ 100)						
l=	0.250 m						
n=	2 箇所						
L=	0.250 × 2			=	0.50	m	
13. コンクリート塗装	(CC-B)						
縦壁 A1=	(1.300 + 10.250 + 1.300) × 1.000			=	12.85	m ²	
縦壁各座面 A2=	1.300 × 10.250 - 0.450 × 0.650 × 13			=	9.52	m ²	
パラペット A4=	$\frac{10.140}{\text{パラペット正面面積より}}$			=	10.14	m ²	
控除 A7=	(-) 0.400 × 1/2 × (0.358 + 0.350)			=	-0.14	m ²	
" A8=	(-) 0.200 × 1/2 × (0.396 + 0.450)			=	-0.08	m ²	
" A9=	(-) 0.600 × 1/2 × (0.500 + 0.512)			=	-0.30	m ²	
L側妻面 A5=	1.000 × 1/2 × (2.001 + 1.943)			=	1.97	m ²	
R側妻面 A6=	1.000 × 1/2 × (1.897 + 1.839)			=	1.87	m ²	
				<hr/>			
				Σ A	=	35.83	m ²

計第7表

仮設盛土数量

項目	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	合計 (m3)
仮設盛土工	53.8	69.9	70.1	99.2	293.0
仮設盛土工 (水面より下)	197.3	1101.4	996.0	650.7	2945.4
仮設管渠裏込め工 控除		-348.8	-282.7		-631.5
計	251.1	822.5	783.4	749.9	2606.9

大型土のう製作・設置数量

項目	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	合計 (袋)
大型土のう設置	284	444	448	260	1436
計					1436

防砂シート敷設数量

項目	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	合計 (m2)
防砂シート敷設	219.1	447.8	396.1	211.5	1274.5
重ね代考慮	292.1	596.9	528.0	281.9	1698.9
計					1698.9

防砂シートは重ね代0.5mを考慮する $2.0\text{m}/1.5\text{m} = 1.333$

仮設盛土 Aブロック盛土工 数量計算書

測点	距離	仮設盛土工			仮設盛土工			摘要
		断面	平均	立積	断面	平均	立積	
水叩き部		0.0	-----	-----				
	0.9	0.8	0.40	0.4				
NO.13+8.2付近	6.0	0.8	0.80	4.8				
	0.9	0.0	0.40	0.4				
海上部					0.0	-----	-----	距離計算
	0.5				7.4	3.70	1.9	$1/2(1.39+0.65) \times 0.5=0.51$
NO.13+10付近	6.0				7.4	7.40	44.4	
	0.5				0.0	3.70	1.9	$1/2(1.39+0.65) \times 0.5=0.51$
小計	14.8			5.6			48.2	
合計	14.8			5.6			48.2	

仮設盛土 Aブロック盛土工 数量計算書

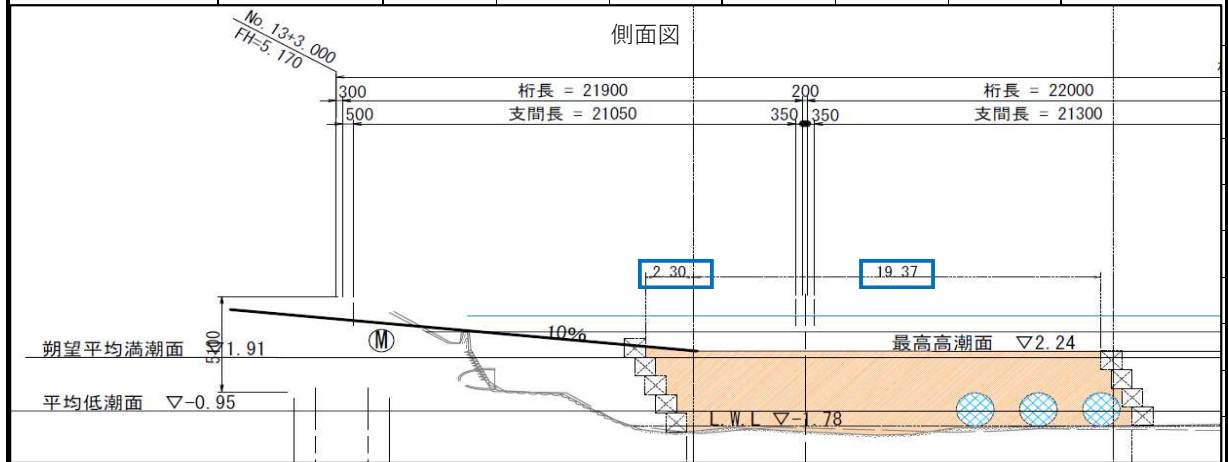
NO.2

測点	距離	仮設盛土工			仮設盛土工			摘要
		断面	平均	立積	断面	平均	立積	
海上部								
(水面下)		0.0	-----	-----				距離計算
	1.4	16.5	8.25	11.6				$2.86 \times 0.5 = 1.43$
NO.13+10付近	9.0	16.5	16.50	148.5				$(7.46+10.46) \times 0.5 = 8.96$
	1.4	0.0	8.25	11.6				$2.86 \times 0.5 = 1.43$
					0.0	-----	-----	
	0.6				2.3	1.15	0.7	$1.19 \times 0.5 = 0.60$
NO.13+16.7付近	10.5				2.3	2.30	24.2	
	0.6				0.0	1.15	0.7	$1.19 \times 0.5 = 0.60$
小計	23.5			171.7			25.6	
合計	23.5			171.7			25.6	

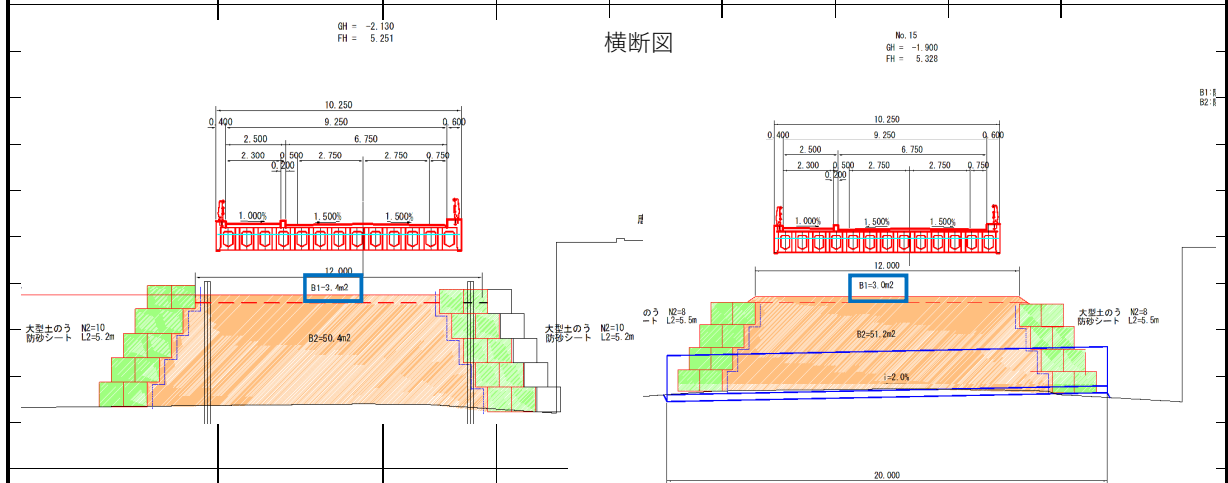
仮設盛土 Bブロック盛土工 数量計算書

NO.1

測点	距離	仮設盛土工			断面	平均	立積	摘要
		断面	平均	立積				
海上部								
NO.14	2.3				3.4	-----	-----	
NO.14+19.37	19.4				3.4	3.40	7.8	
					3.0	3.20	62.1	



--	--	--	--	--	--	--	--	--

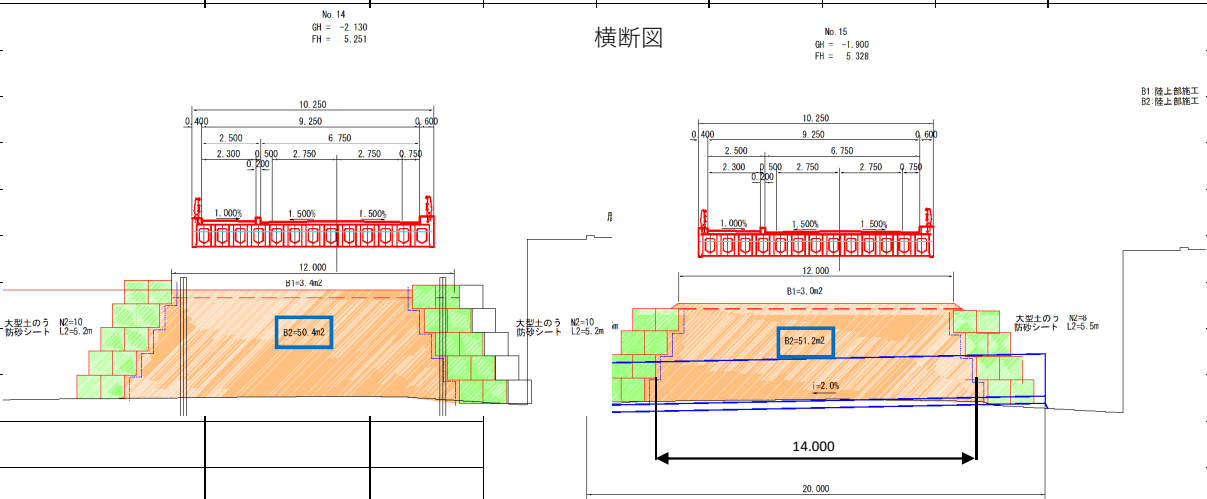
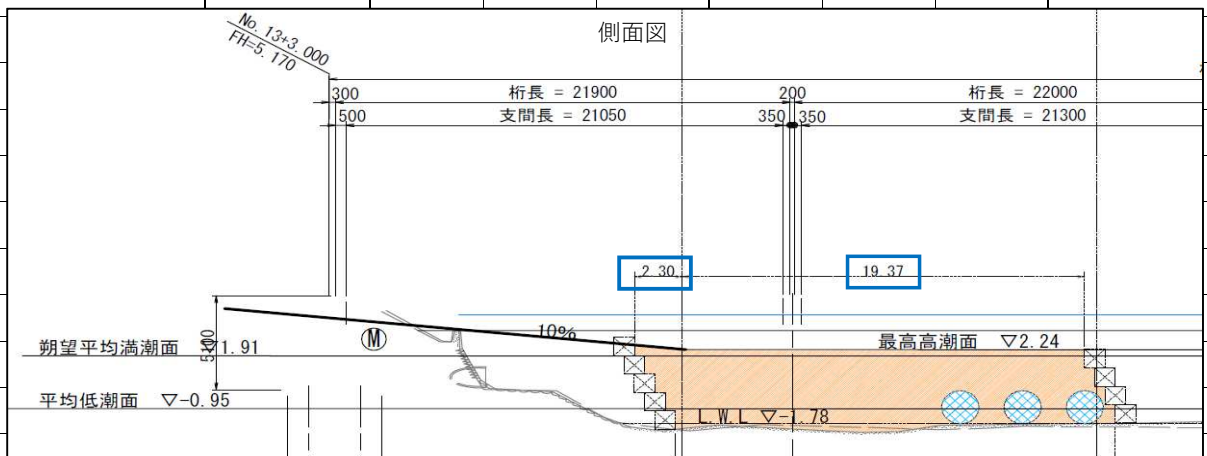


小計	21.7						69.9	
合計	21.7						69.9	

仮設盛土 Bブロック盛土工 数量計算書

NO. 2

測 点	距 離	仮設盛土工			断面	平均	立積	摘 要
		断面	平均	立積				
海上部								
(水面下)		50.4	-----	-----				
NO. 14	2.3	50.4	50.40	115.9				
NO. 14+19.37	19.4	51.2	50.80	985.5				
NO. 15								

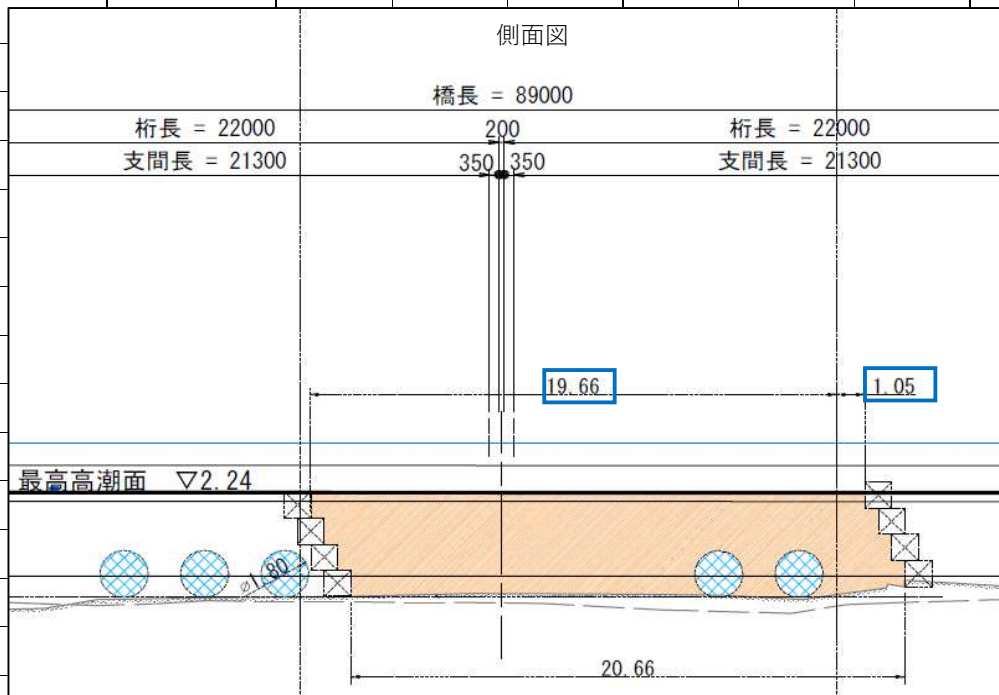


小 計	21.7			1101.4				
合 計	21.7			1101.4				

仮設盛土 Cブロック盛土工 数量計算書

NO.1

測点	距離	仮設盛土工			断面	平均	立積	摘要
		断面	平均	立積				
海上部								
NO.15					3.0	-----	-----	
NO.16	19.7				3.7	3.35	66.0	
	1.1				3.7	3.70	4.1	

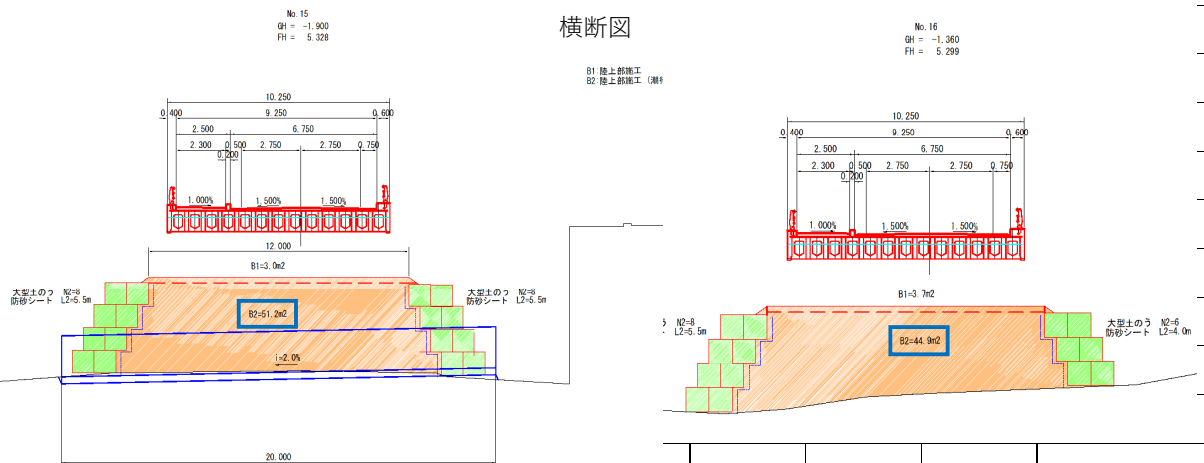
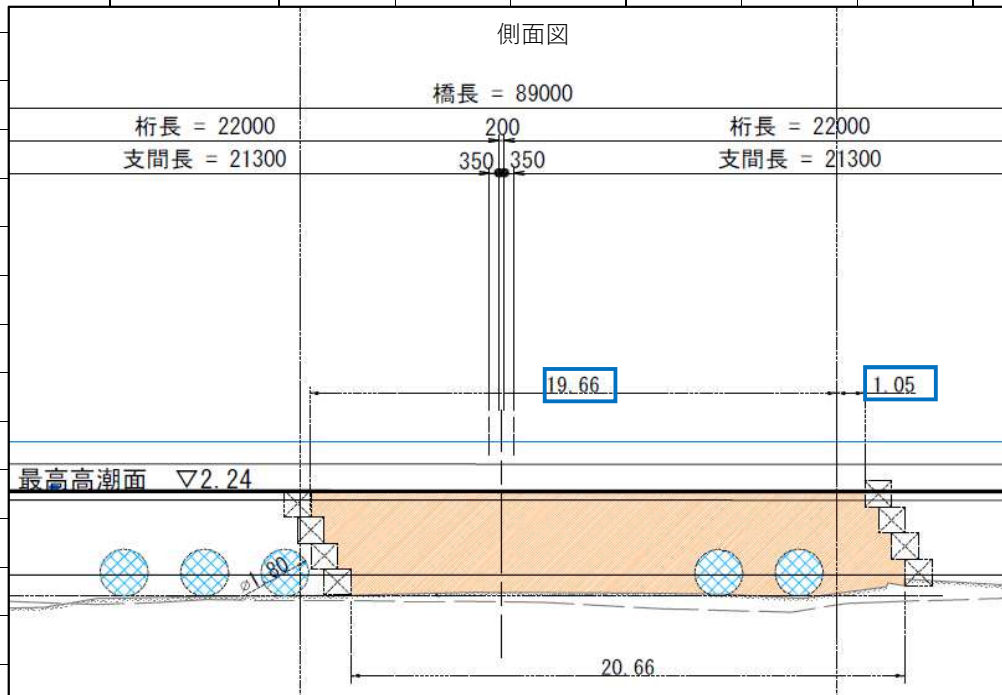


No. 15		No. 16	
GH = -1.900 FH = 5.328		GH = -1.360 FH = 5.299	
<p>横断面図 B1=0.9m² B2=51.2m² 1:2.00 12.000 20.000</p>		<p>横断面図 B1=3.7m² B2=44.9m² 1:2.00 10.250 20.000</p>	
小計	20.8		70.1
合計	20.8		70.1

仮設盛土 Cブロック盛土工 数量計算書

NO.2

測点	距離	仮設盛土工			断面	平均	立積	摘要
		断面	平均	立積				
海上部 (水面下)								
No.15		51.2	-----	-----				
No.16	19.7	44.9	48.05	946.6				
	1.1	44.9	44.90	49.4				

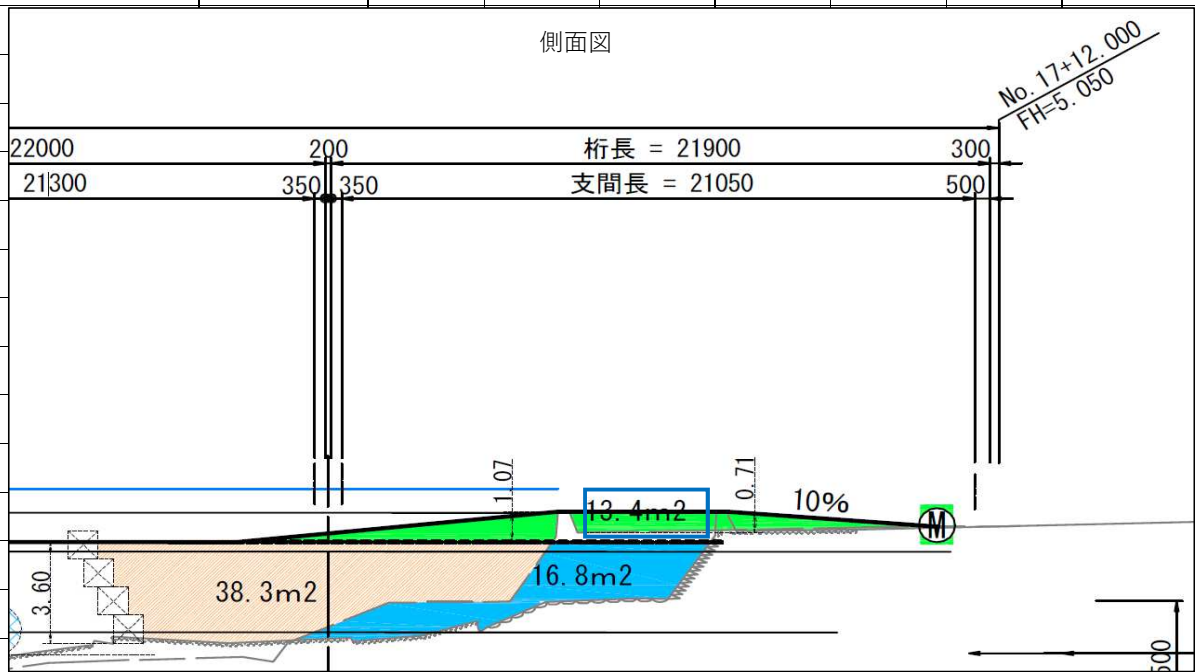


小計	20.8			996.0				
合計	20.8			996.0				

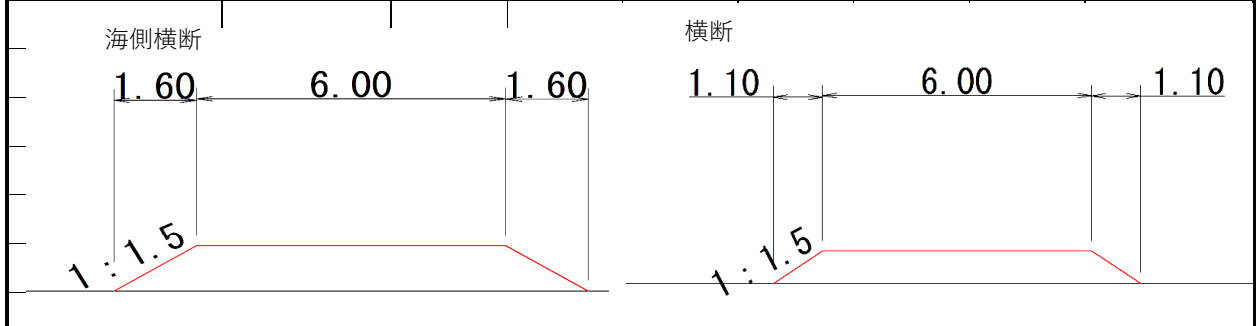
仮設盛土 Dブロック盛土工 数量計算書

NO.1

測点	距離	仮設盛土工			断面	平均	立積	摘要
		断面	平均	立積				
水叩き部・A2橋台側取付部								
平均幅=(1.6+1.1) × 1/2=1.35m								
					0.0	-----	-----	
NO.17付近	1.4				13.4	6.70	9.4	
	6.0				13.4	13.40	80.4	
	1.4				0.0	6.70	9.4	



--	--	--	--	--	--	--	--	--

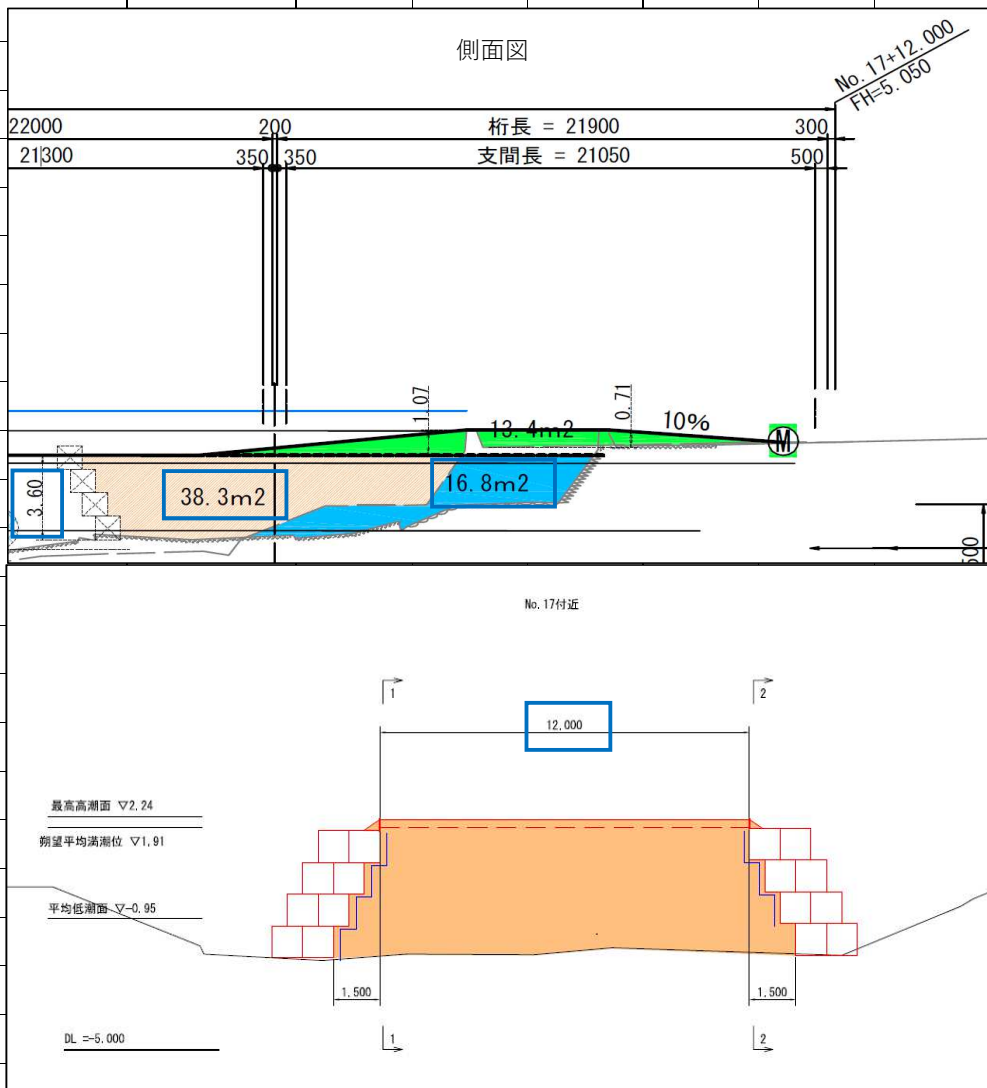


小計	8.8						99.2	
合計	8.8						99.2	

仮設盛土 Dブロック盛土工 数量計算書

NO.2

測点	距離	仮設盛土工			断面	平均	立積	摘要
		断面	平均	立積				
海上部								
		沖側の断面=38.3m ²						
		樋門側の断面=38.3+16.8=58.1m ²						
(潮待ち補正)		0.0	-----	-----				
	1.5	38.3	19.15	28.7				
NO.17	12.0	58.1	48.20	578.4				
	1.5	0.0	29.05	43.6				



小計	15.0			650.7				
合計	15.0			650.7				

潮待ち

Aブロック大型土のう工 数量計算書

NO.1

測点	距離	大型土のう工			防砂シート敷設工			摘要
				個	断面	平均	平積	
陸上				40.0				展開図より
潮待ち				244.0				
護岸前面							53.9	幅11m 高さ方向4.9m
海側								
1段目	2.4				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
					1.5	1.50	3.6	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
2段目	5.7				1.5	1.50	8.6	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
3段目	9.4				1.5	1.50	14.1	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横1.0m
4段目	8.9				1.5	1.50	13.4	
横断部								
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
1段目	12.1				1.5	1.50	18.2	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
2段目	11.4				1.5	1.50	17.1	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
3段目	10.7				1.5	1.50	16.1	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
4段目	10.0				1.5	1.50	15.0	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横1.0m
5段目	7.8				1.5	1.50	11.7	
小計	78.4			284.0			171.7	

Aブロック大型土のう工 数量計算書

NO.2

測点	距離	大型土のう工			防砂シート敷設工			摘要
				個	断面	平均	立積	
陸側					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
1段目	3.1				1.5	1.50	4.7	
2段目	6.4				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
3段目	6.9				1.5	1.50	10.4	
4段目	7.3				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
5段目	7.8				1.5	1.50	11.7	縦1.0m+横1.0m
<p>防砂シート敷設工 断面図</p>								
小計	31.5						47.4	
合計	109.9			284.0			219.1	

潮待ち

Bブロック大型土のう工 数量計算書

NO.1

測 点	距 離	大型土のう工			防砂シート敷設工			摘 要
				個	断面	平均	平積	
陸上				4.0				展開図より
潮待ち				440.0				
海側								
1段目	20.6				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
					1.5	1.50	30.9	
2段目	21.7				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
					1.5	1.50	32.6	
3段目	21.7				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
					1.5	1.50	32.6	
4段目	21.7				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
					1.5	1.50	32.6	
5段目	21.7				1.5	-----	-----	縦1.0m+横1.0m
					1.5	1.50	32.6	
横断部								
1段目	19.0				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
					1.5	1.50	28.5	
2段目	18.0				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
					1.5	1.50	27.0	
3段目	17.0				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
					1.5	1.50	25.5	
4段目	16.0				1.5	-----	-----	縦1.0m+横1.0m
					1.5	1.50	24.0	
小 計	177.4			444.0			266.3	
合 計	177.4			444.0			266.3	

Bブロック大型土のうエ 数量計算書

NO. 2

測点	距離	大型土のうエ			防砂シート敷設工			摘要
				個	断面	平均	平積	
陸側					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
1段目	24.6				1.5	1.50	36.9	
2段目	24.4				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
					1.5	1.50	36.6	
3段目	24.2				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
					1.5	1.50	36.3	
4段目	24.0				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
					1.5	1.50	36.0	
5段目	23.8				1.5	-----	-----	縦1.0m+横1.0m
					1.5	1.50	35.7	
<div data-bbox="446 1176 1300 1848" data-label="Diagram"> <p>防砂シート敷設工 断面図</p> <p>防砂シート</p> <p>大型土のう</p> <p>1.00</p> <p>0.50</p> <p>1.00</p> <p>0.50</p> <p>0.50</p> <p>重ね代</p> </div>								
小計	121.0						181.5	
合計	298.4			444.0			447.8	

潮待ち

Cブロック大型土のうエ 数量計算書

NO.1

測 点	距 離	大型土のうエ			防砂シート敷設工			摘 要
				個	断面	平均	平積	
陸上								展開図より
潮待ち				448.0				
海側								
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
1段目	20.2				1.5	1.50	30.3	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
2段目	21.7				1.5	1.50	32.6	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
3段目	21.7				1.5	1.50	32.6	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
4段目	21.7				1.5	1.50	32.6	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横1.0m
5段目	21.7				1.5	1.50	32.6	
横断部								
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
1段目	19.0				1.5	1.50	28.5	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
2段目	18.0				1.5	1.50	27.0	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
3段目	17.0				1.5	1.50	25.5	
					1.5	-----	-----	縦1.0m+横1.0m
4段目	16.0				1.5	1.50	24.0	
合 計	177.0			448.0			265.7	

Cブロック大型土のうエ 数量計算書

NO.2

測点	距離	大型土のうエ			防砂シート敷設工			摘要
				個	断面	平均	平積	
陸側								
1段目	21.7				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
2段目	21.7				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
3段目	21.7				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
4段目	21.7				1.5			縦1.0m+横1.0m
<p>防砂シート敷設工 断面図</p>								
小計	86.8							130.4
合計	263.8			448.0				396.1

潮待ち

Dブロック大型土のう工 数量計算書

NO.1

測 点	距 離	大型土のう工			防砂シート敷設工			摘 要
				個	断面	平均	平積	
陸上				32.0				展開図より
潮待ち				228.0				
護岸前面							90.2	幅18.41m 高さ方向4.9m
海側								
1段目	1.2				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
2段目	4.4				1.5	1.50	1.8	縦1.0m+横0.5m
3段目	10.9				1.5	-----	-----	縦1.0m+横0.5m
4段目	13.3				1.5	1.50	20.0	縦1.0m+横1.0m
小 計	29.8			260.0			135.0	

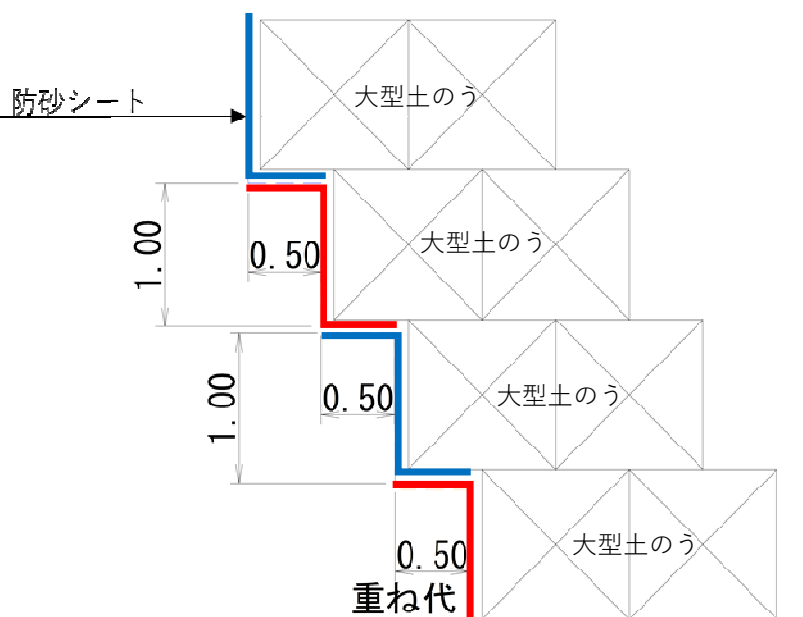
水中

Dブロック大型土のう工 数量計算書

NO.2

測点	距離	大型土のう工			防砂シート敷設工			摘要
				個	断面	平均	平積	
陸側								
1段目	8.0				1.5 1.5	----- 1.50	----- 12.0	縦1.0m+横0.5m
2段目	17.8				1.5 1.5	----- 1.50	----- 26.7	縦1.0m+横0.5m
3段目	25.2				1.5 1.5			縦1.0m+横1.0m

防砂シート敷設工 断面図

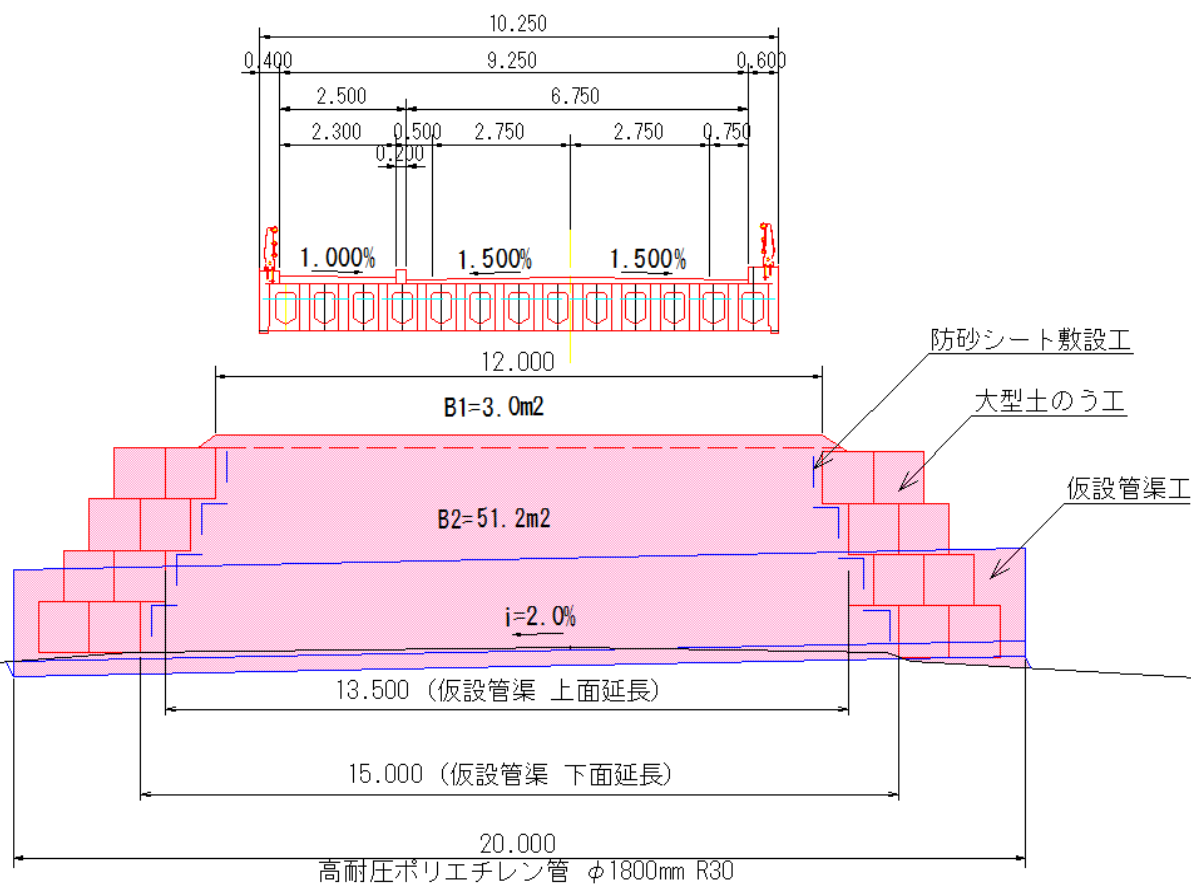


小計	51.0						76.5	
合計	80.8			260.0			211.5	

仮設管渠工

NO.1

測点	距離	高耐圧ポリエチレン管 φ1800mm R30			摘要
		1本当たり延長	本数	延長	
P1~P2橋脚間		20.0	3	60.0	
P2~P3橋脚間		20.0	2	40.0	



小計				100.0			
合計				100.0	m		

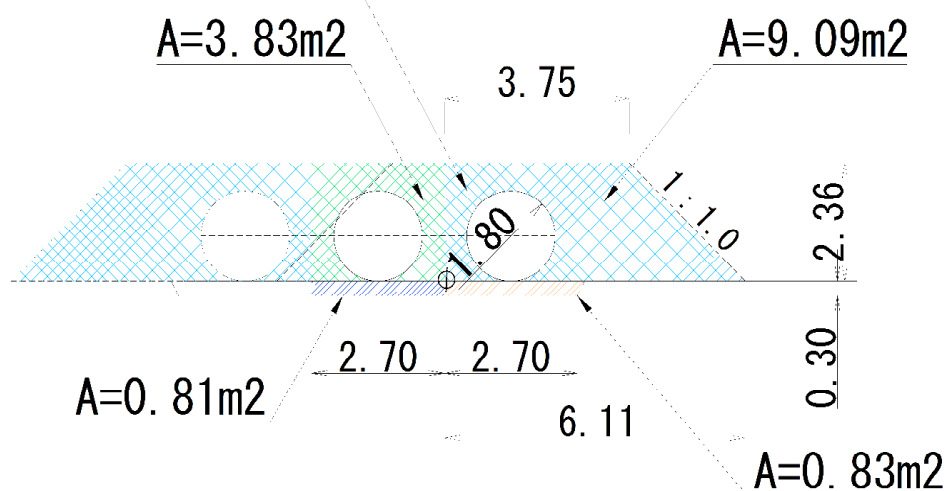
単位数量計算書

細 別：裏込め工
規 格：M-30

略 図

標準突出型断面

砕石 (M-30)



材料/規格	算 式	単 位	数 量
3本設置箇所 (Bブロック) L=14.25m			
裏込め工	$(0.83+0.81+0.83+9.09+3.83+9.09) \times 14.25$	m ³	348.84
2本設置箇所 (Cブロック) L=14.25m			
裏込め工	$(0.83+0.83+9.09+9.09) \times 14.25$	m ³	282.72
	合計	m ³	631.56

既設護床撤去工 切断工 数量計算書

NO.1

測点	距離	切断延長		延長	摘要
縦断方向				49.6	
				51.4	
				55.1	
				58.1	
				48.6	
				32.0	
横断方向				10.0	
				14.0	
				15.1	
				15.1	
				15.1	
				15.1	
				13.6	
				13.6	
				13.6	
				12.7	
				11.8	
				10.9	
				10.0	
小計				494.1	
合計				494.1	

既設護床撤去工 撤去工 数量計算書

NO.1

測点	距離	撤去面積		撤去数量		摘要
			平積		立積	
			744.0	744.0×0.1 厚さ0.1m(想定)	74.4	
小計			744.0 m2		74.4 m3	
合計			744.0 m2		74.4 m3	

捨石工 撤去工 数量計算書

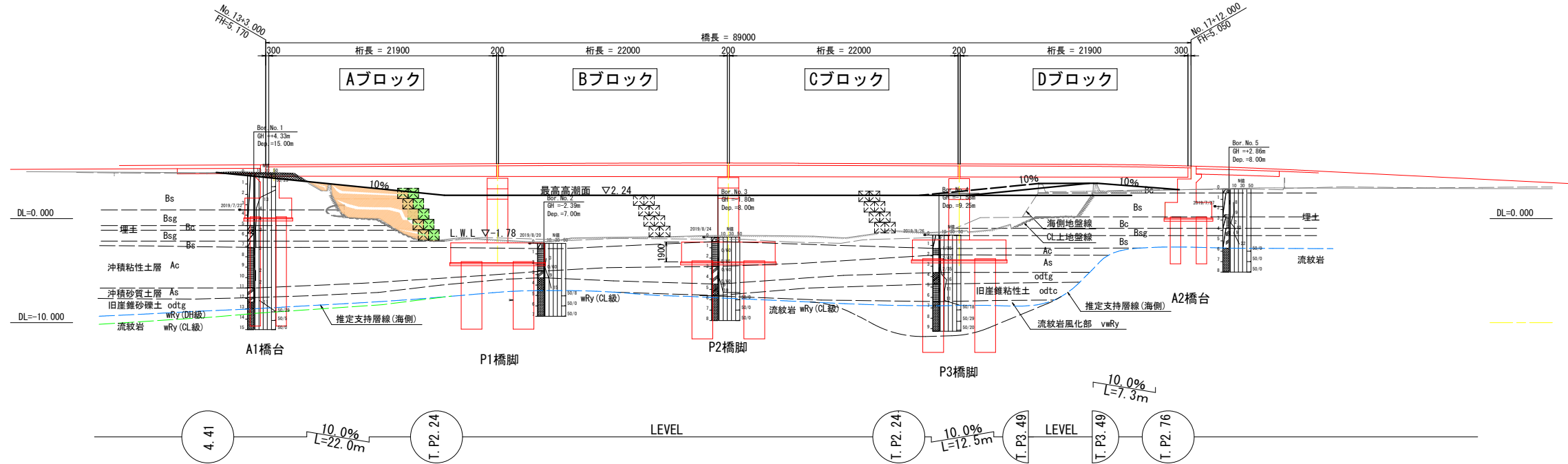
NO.1

測点	距離	捨石撤去		捨石撤去		摘要
			平積		立積	
A2橋台前面			51.6			
					厚さ 0.35m 想定	
小計			51.6 m2		18.1 m3	
合計			51.6 m2		18.1 m3	

仮設計画図（その1）

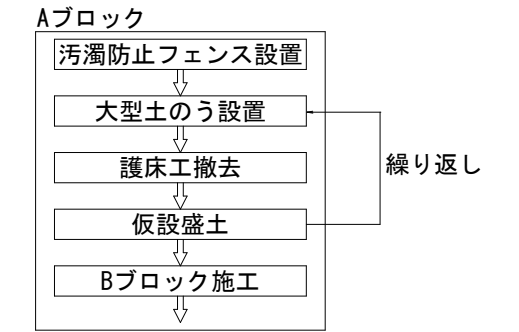
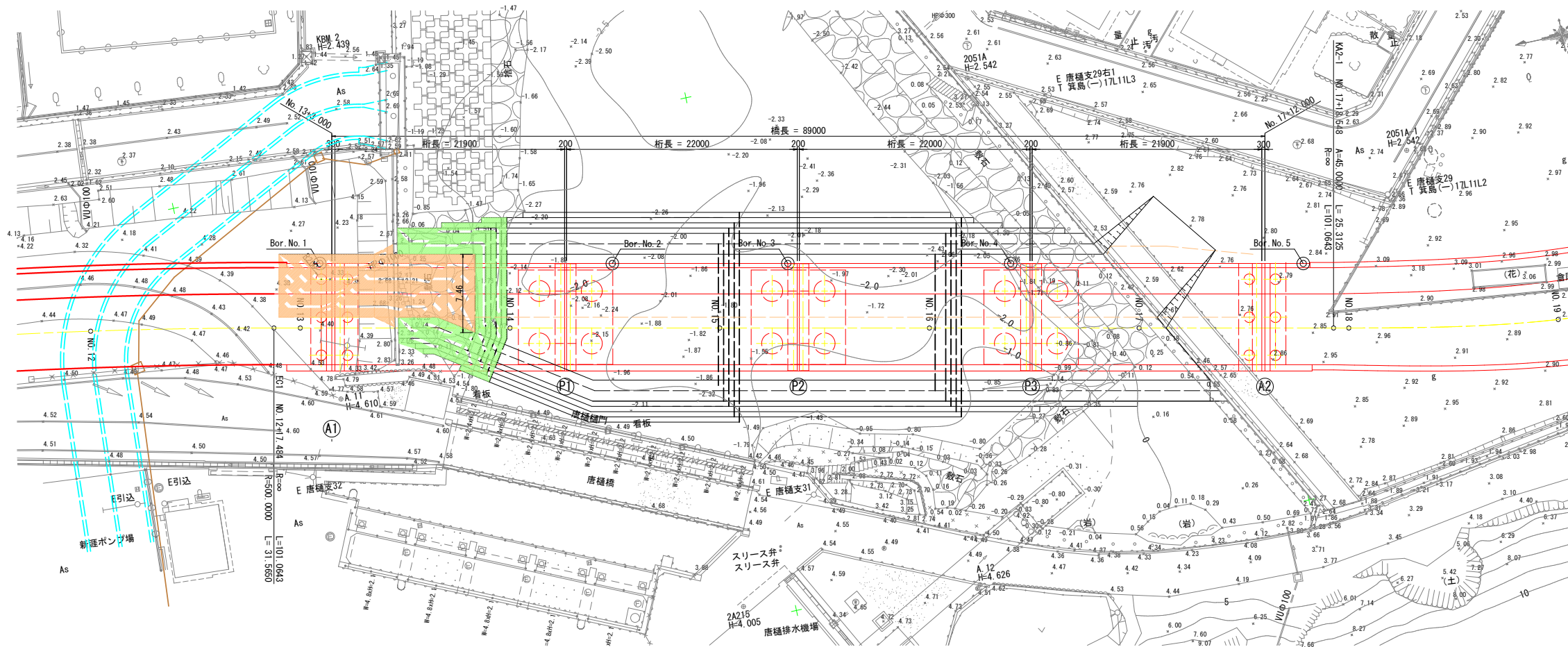
Aブロック

側面図 S=1:250



Aブロック
 仮設盛土 V=250m³
 大型土のう N=284個

平面図 S=1:250



注) 護床工撤去は大型土のう1段目のみ

福山港潮位表

潮位種別	C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高潮面	4.96 3.00
H.H.W.L	最高潮面	4.20 2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87 1.91
M.S.L	平均水面	2.10 0.14
T.M.S.L(旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96 0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01 -0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18 -1.78
C.D.L	最低水面	0.00 -1.96

※T.M.S.L(旧称T.P)で図示している。

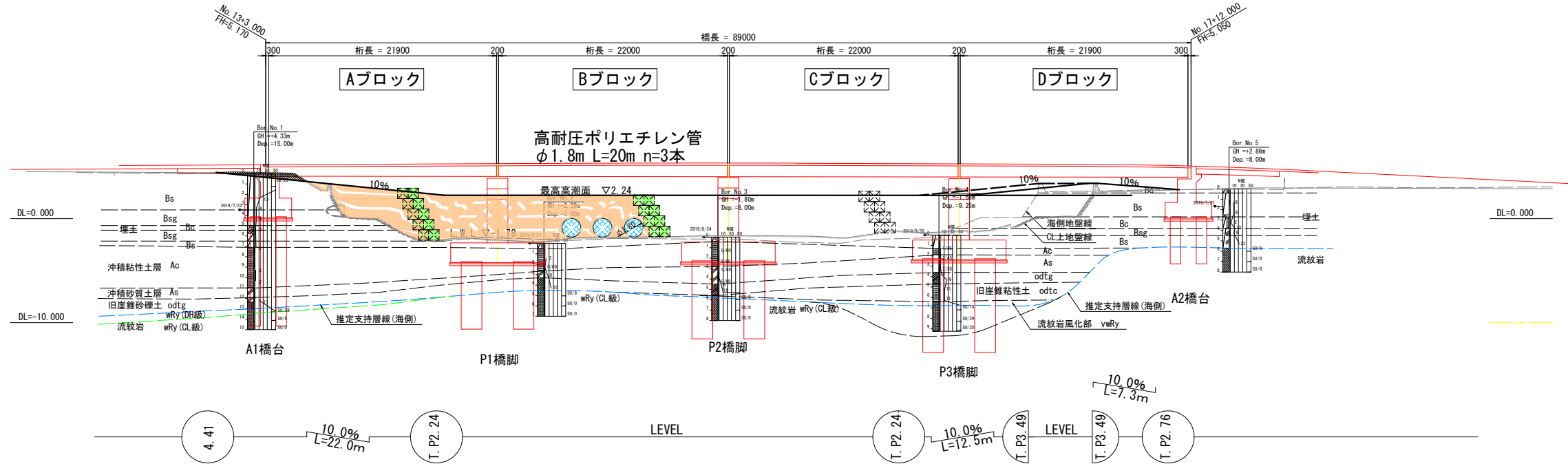
令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

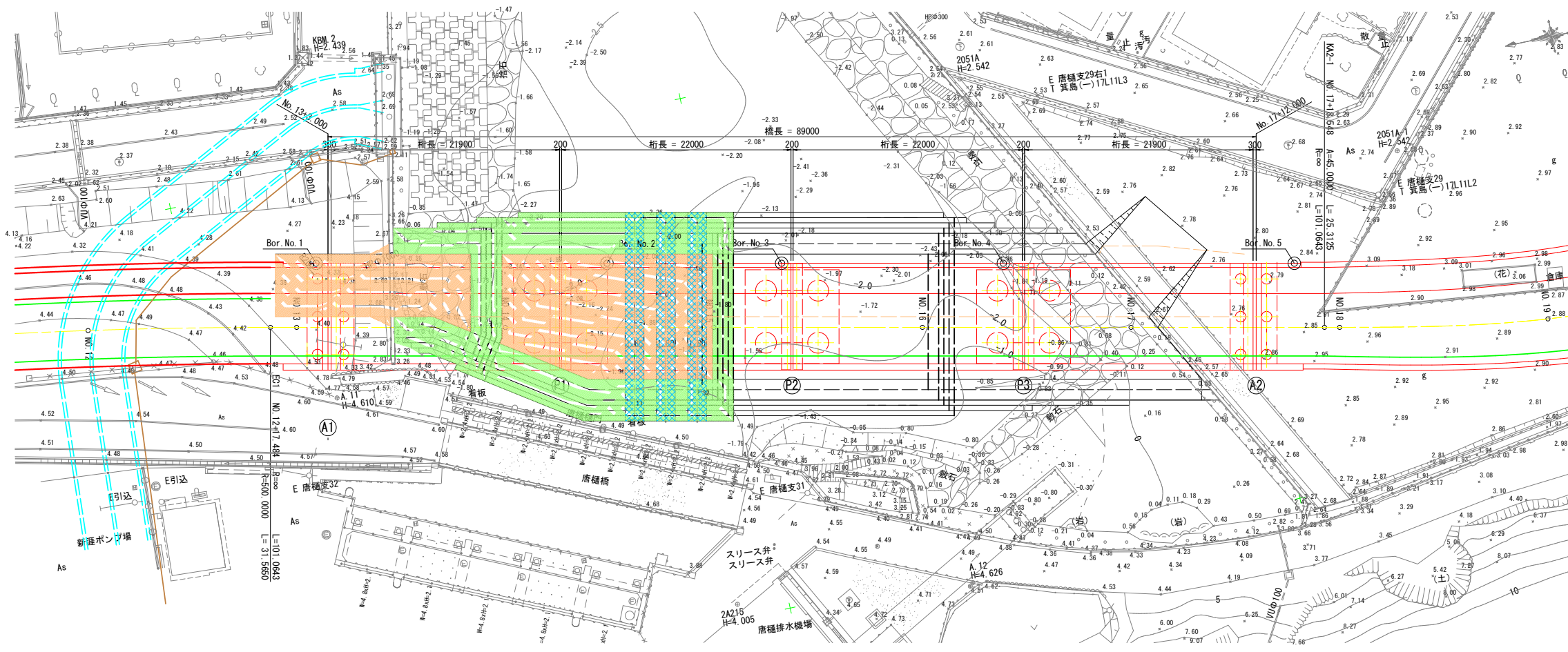
工事名	道路改良工事(新運賃島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	仮設計画図(その1) Aブロック		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	参考図1
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

仮設計画図 (その2) Bブロック

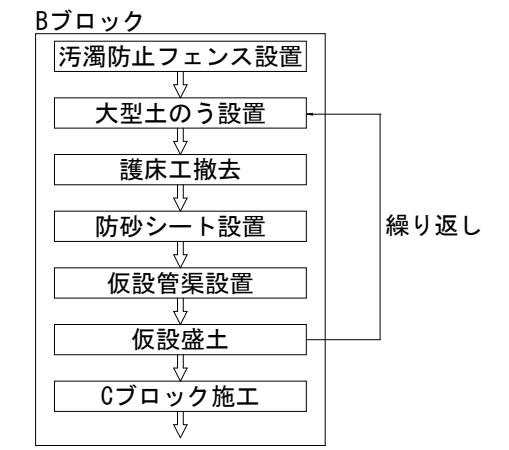
側面図 S=1:250



平面図 S=1:250



Bブロック
 仮設盛土 V= 820m³
 大型土のう N= 444個
 仮設管渠φ1.8m L= 60m



注) 護床工撤去・仮設管渠設置は大型土のう1段目のみ

潮位種別	C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高潮面	4.96 3.00
H.H.W.L	最高高潮面	4.20 2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87 1.91
M.S.L	平均水面	2.10 0.14
T.M.S.L(旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96 0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01 -0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18 -1.78
C.D.L	最低水面	0.00 -1.96

※T.M.S.L(旧称T.P)で図示している。

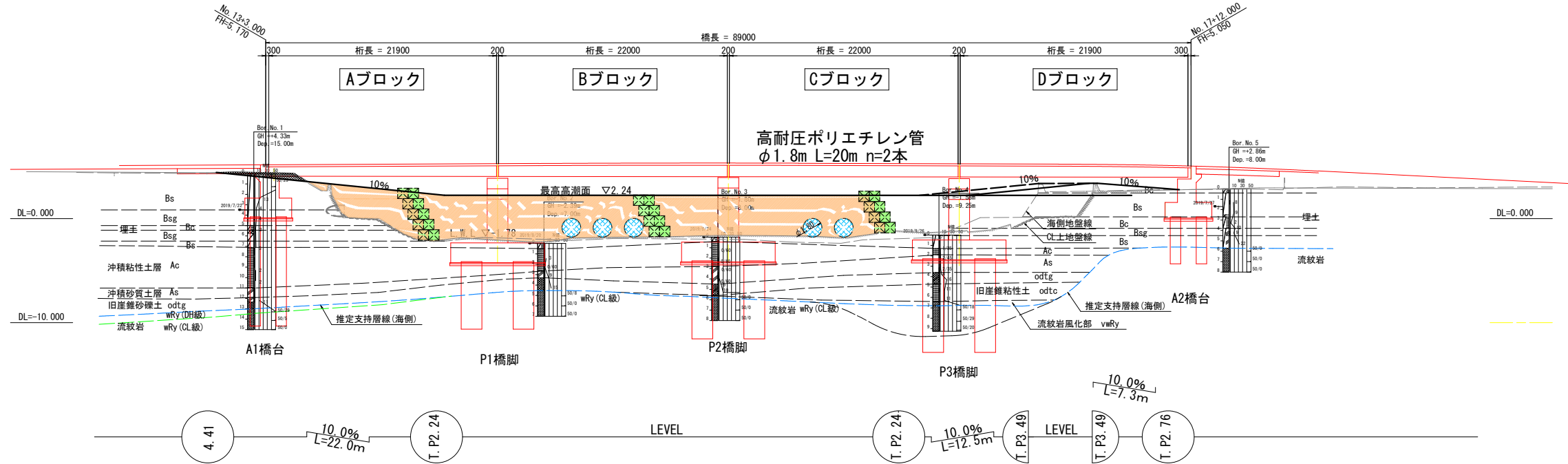
令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

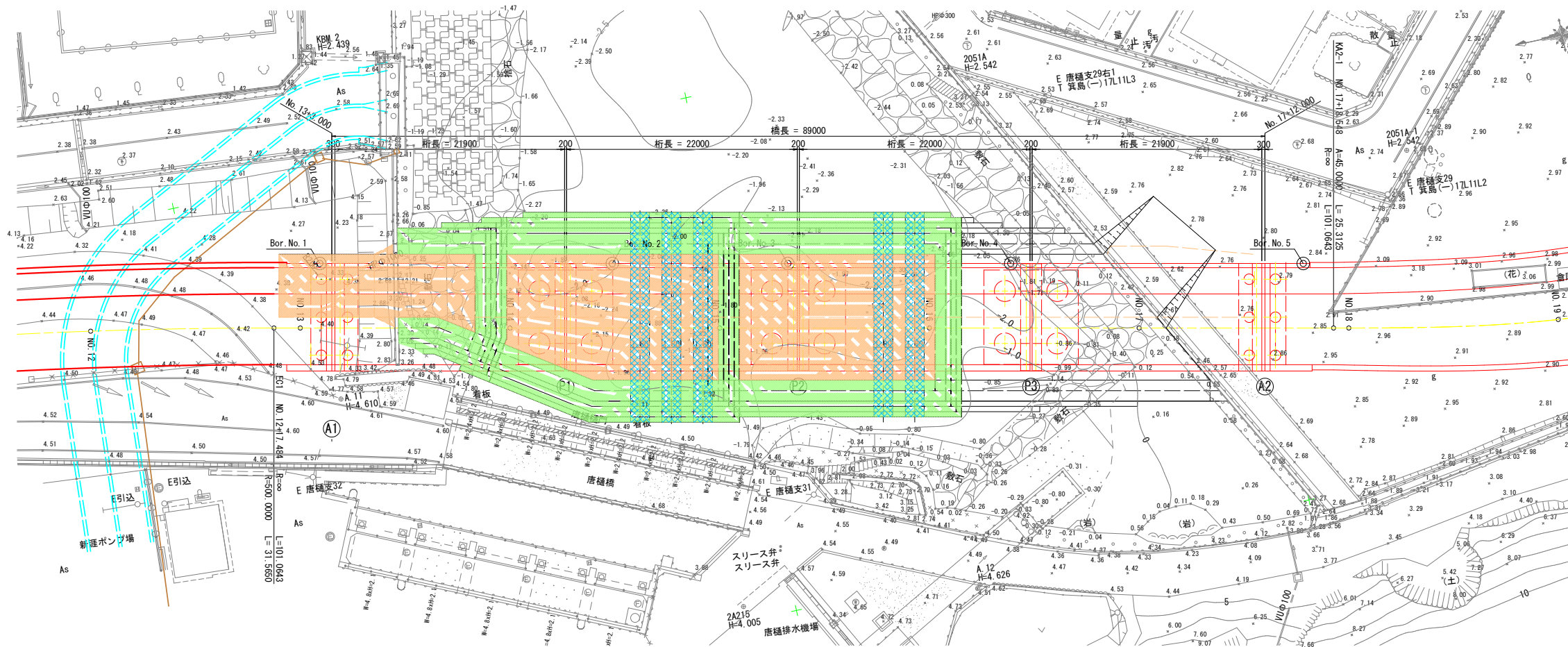
工事名	道路改良工事(新運賃島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	仮設計画図(その2) Bブロック		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	参考図2
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

仮設計画図（その3） Cブロック

側面図 S=1:250



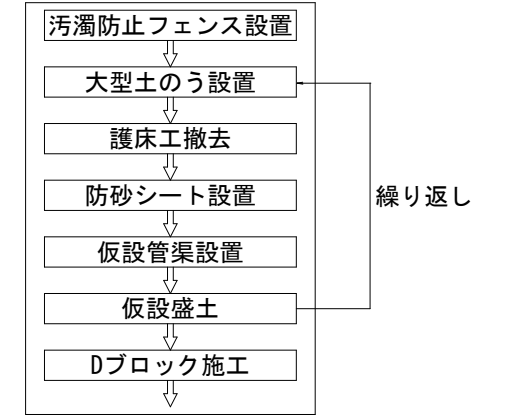
平面図 S=1:250



Cブロック

仮設盛土 V= 780m³
大型土のう N= 448個
仮設管渠φ1.8m L= 40m

Cブロック



注) 護床工撤去・仮設管渠設置は大型土のう1段目のみ

福山港潮位表

潮位種別	C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高潮面	4.96 3.00
H.H.W.L	最高潮面	4.20 2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87 1.91
M.S.L	平均水面	2.10 0.14
T.M.S.L(旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96 0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01 -0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18 -1.78
C.D.L	最低水面	0.00 -1.96

※T.M.S.L(旧称T.P)で図示している。

令和5年度
国補

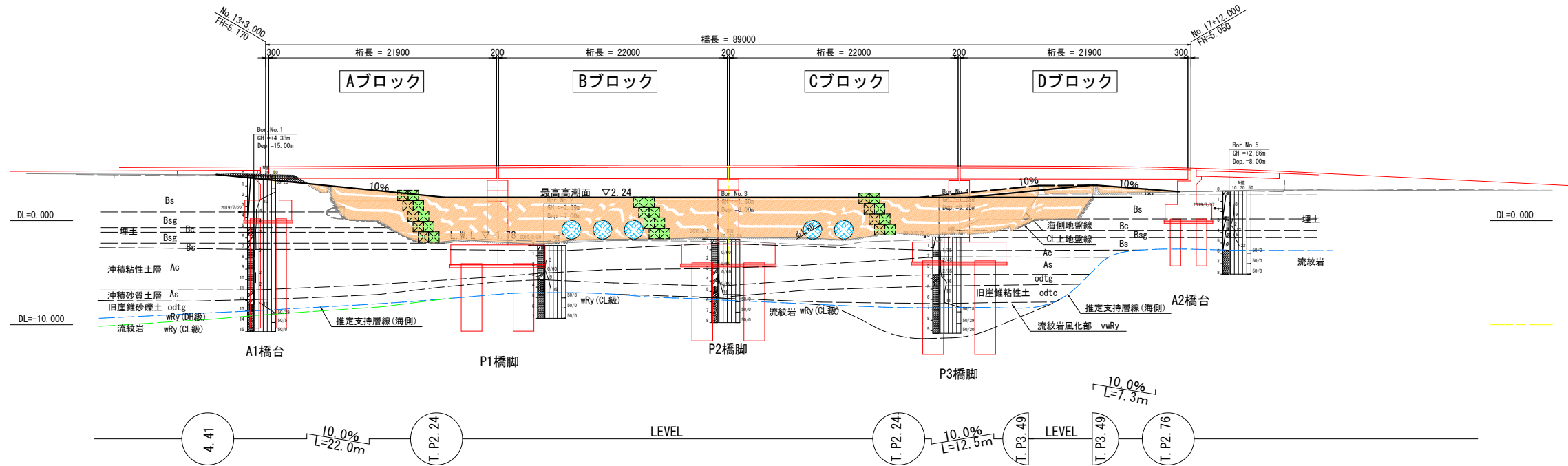
※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新運賃島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	仮設計画図(その3) Cブロック		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	参考図3
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

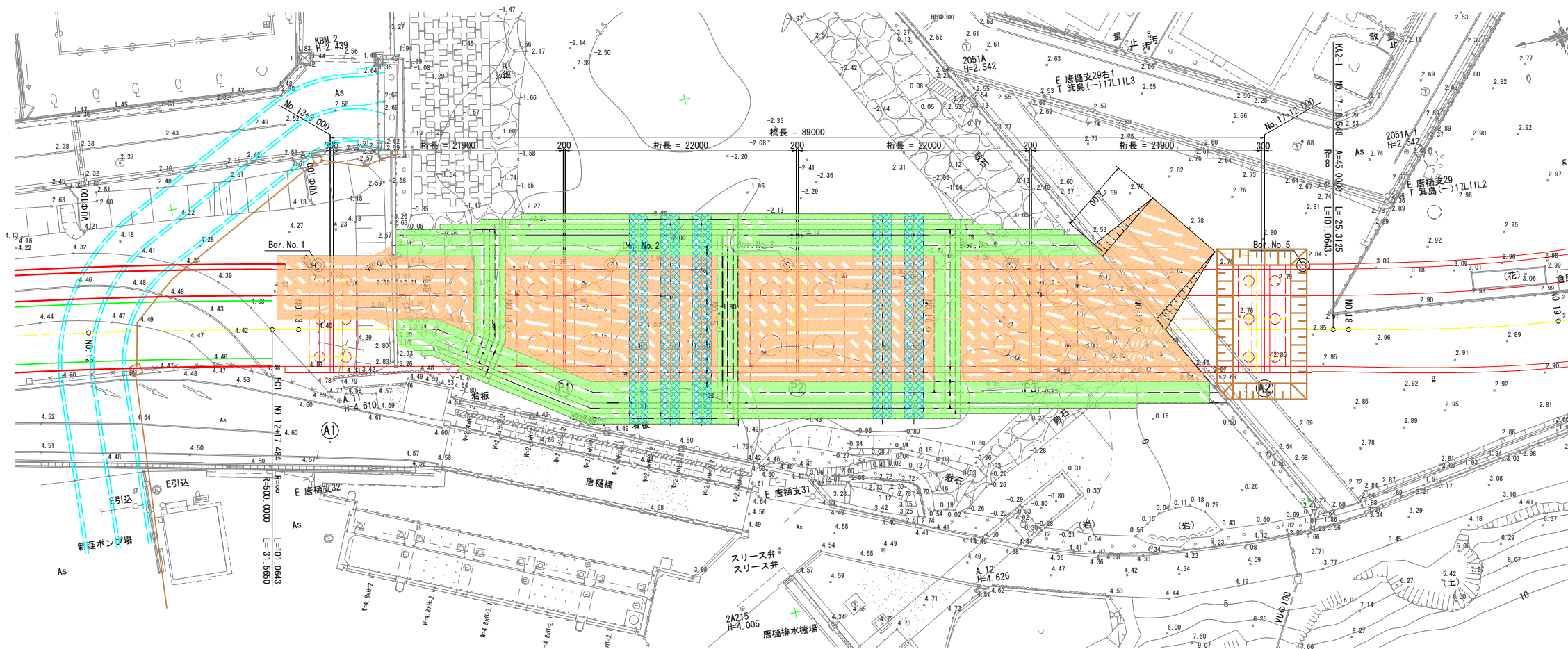
注) 撤去時には、大型土のうをBブロックに転用するものとする。

仮設計画図（その4） Dブロック

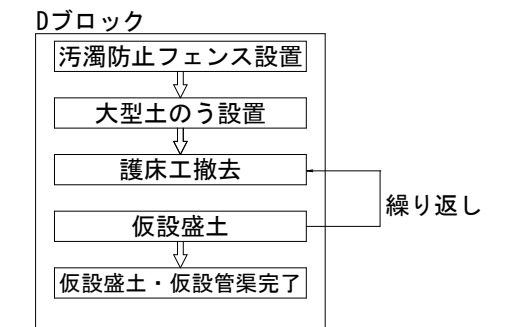
側面図 S=1:250



平面図 S=1:250



Dブロック
 仮設盛土 V=750m³
 大型土のう N=260個



注) 護床工撤去は大型土のう1段目のみ

潮位種別	C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高潮面	4.96 3.00
H.H.W.L	最高潮面	4.20 2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87 1.91
M.S.L	平均水面	2.10 0.14
T.M.S.L(旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96 0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01 -0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18 -1.78
C.D.L	最低水面	0.00 -1.96

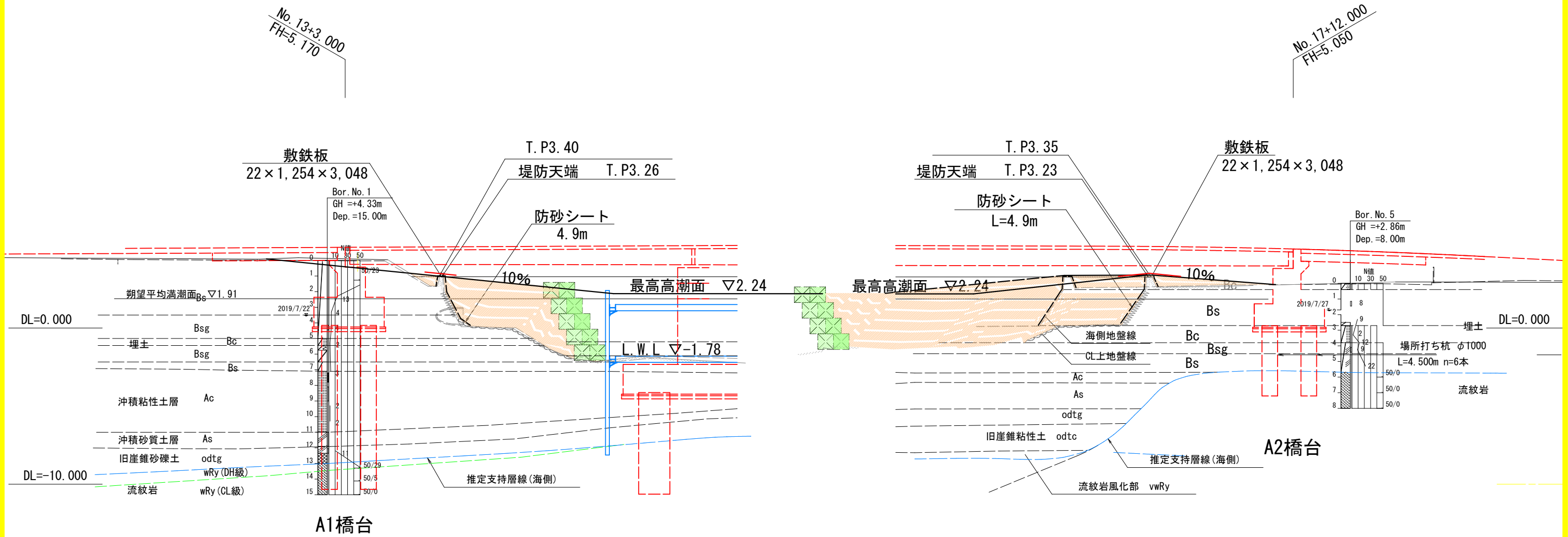
※T.M.S.L(旧称T.P)で図示している。

令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新運賃島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	仮設計画図(その4) Dブロック		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	参考図4
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

仮設計画図（その5）



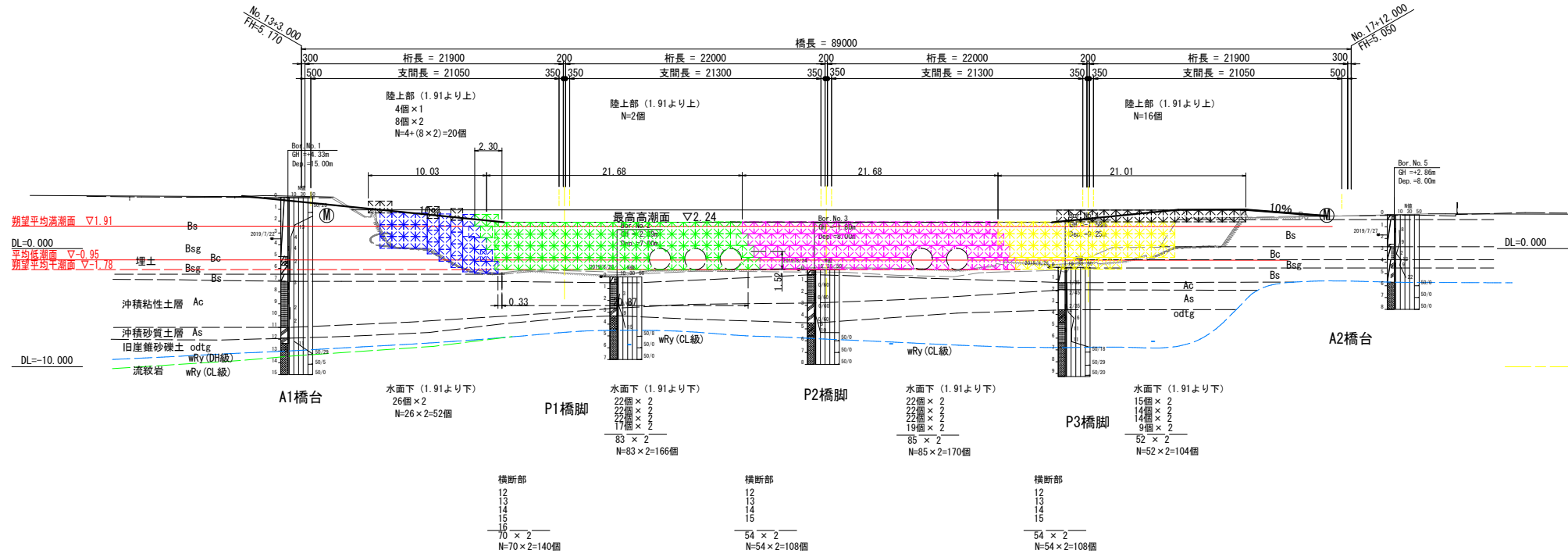
令和5年度
国
補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事（新運賃島線（橋梁下部）・5-1）		
図面名	仮設計画図（その5）		
作成年月日	2024年（令和6年）2月		
縮尺	図示	図面番号	参考図5
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

大型土のう配置図 S=1:250

沖側側面図 S=1:250



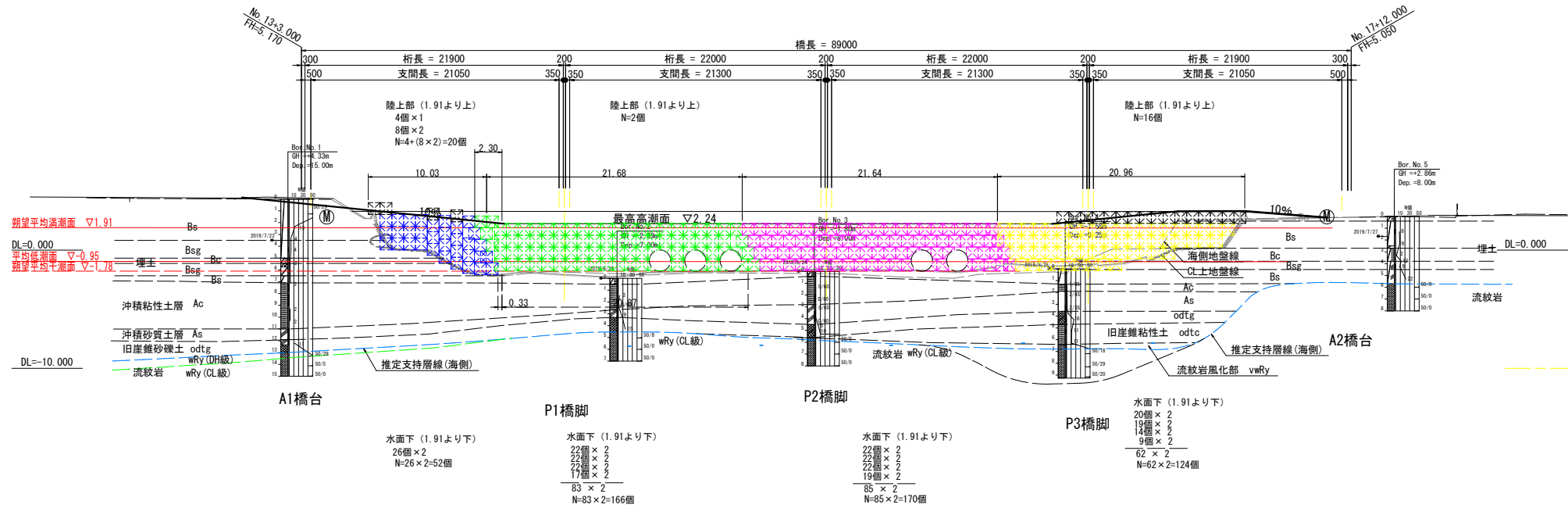
陸上数量

施工箇所	沖側	陸側	小計(個)
Aブロック	20	20	40
Bブロック	2	2	4
Cブロック	—	—	—
Dブロック	16	16	32
合計	38	38	76

水面下数量

施工箇所	沖側	横断部	陸側	小計(個)
Aブロック	52	140	52	244
Bブロック	166	108	166	440
Cブロック	170	108	170	448
Dブロック	104	—	124	228
合計	492	356	512	1360

陸側側面図 S=1:250



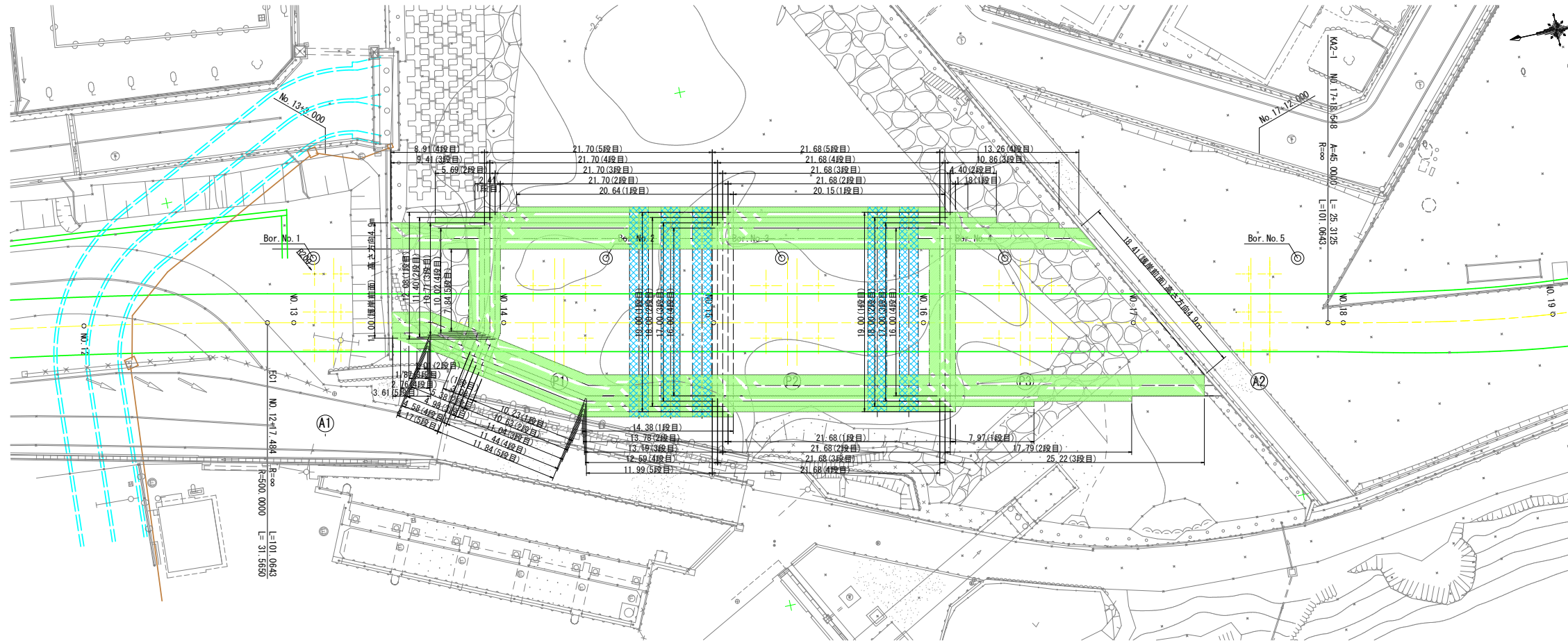
令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

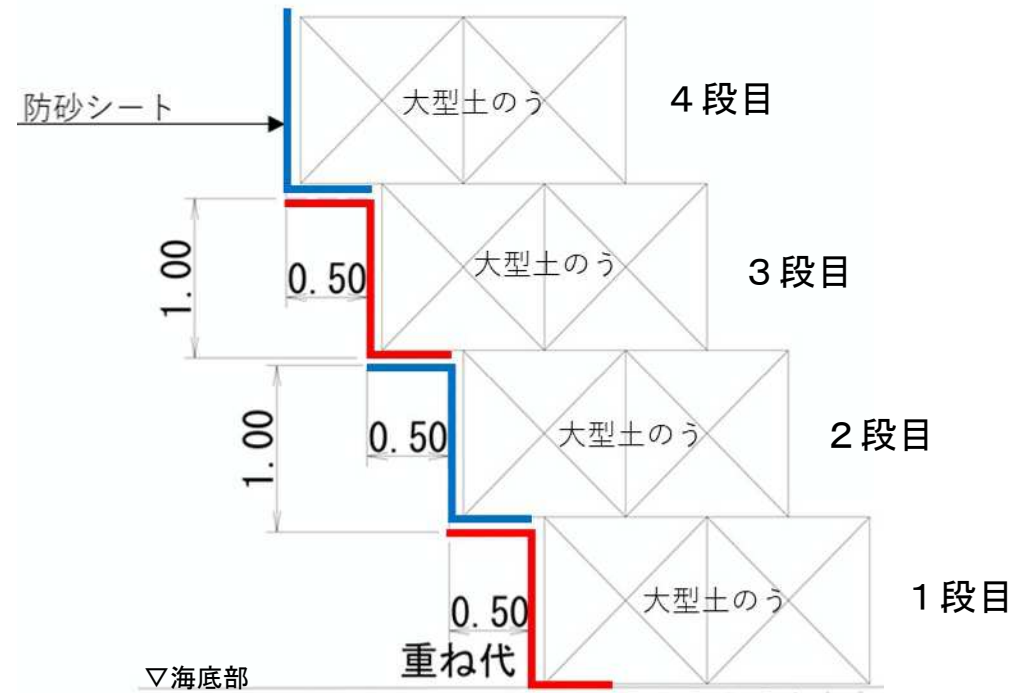
工事名	道路改良工事(新運真島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	土のう配置図		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	参考図6
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

防砂シート敷設計画図

平面図 S=1:250



断面図 No Scale



防砂シート規格
不織布(長繊維化繊系)
質量500g/m², 強度1078N/5cm

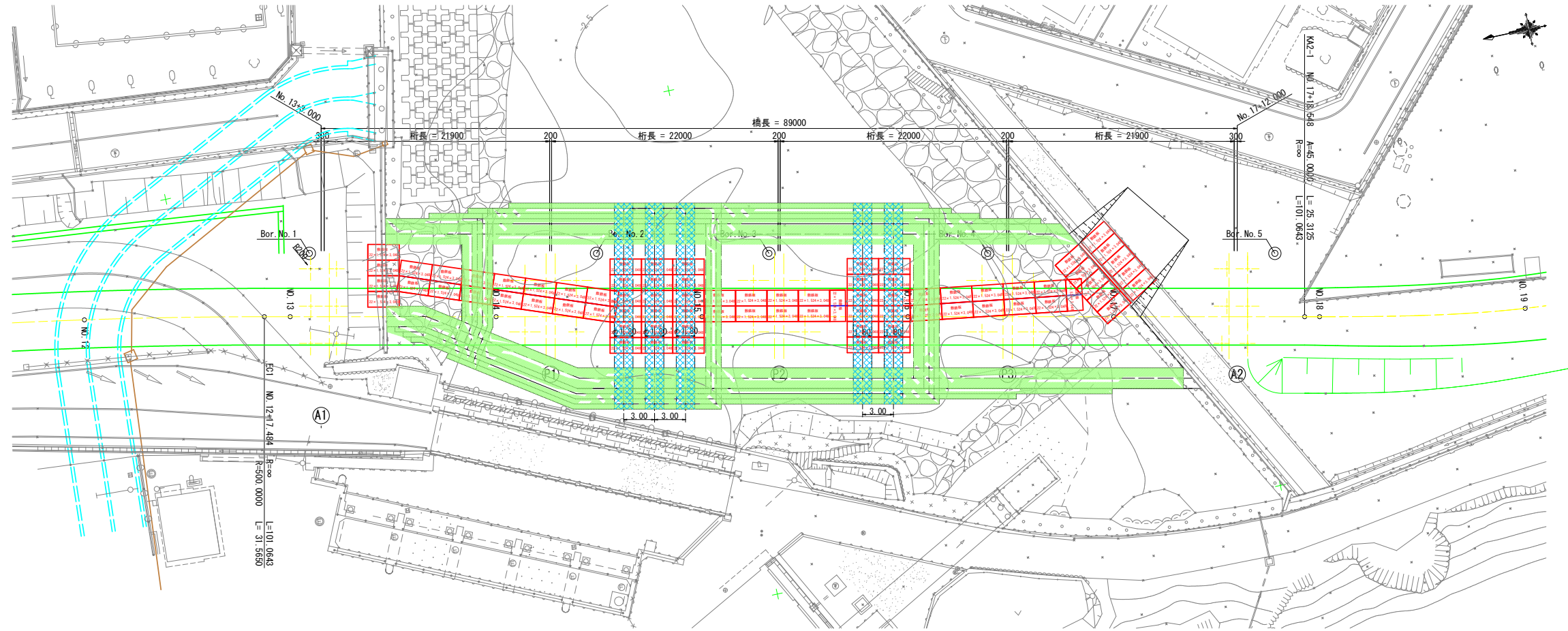
令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

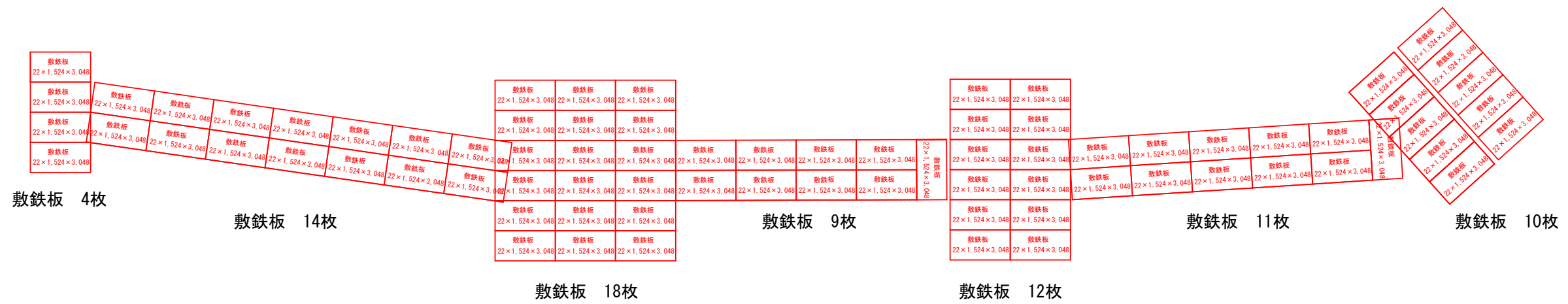
工事名	道路改良工事(新選算島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	防砂シート敷設計画図		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	参考図7
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

敷鉄板敷設計画図

平面図 S=1:250



展開図 S=1:125



敷鉄板数量 N=4+14+18+9+12+11+10=78枚
(規格: 22 x 1,524 x 3,048)

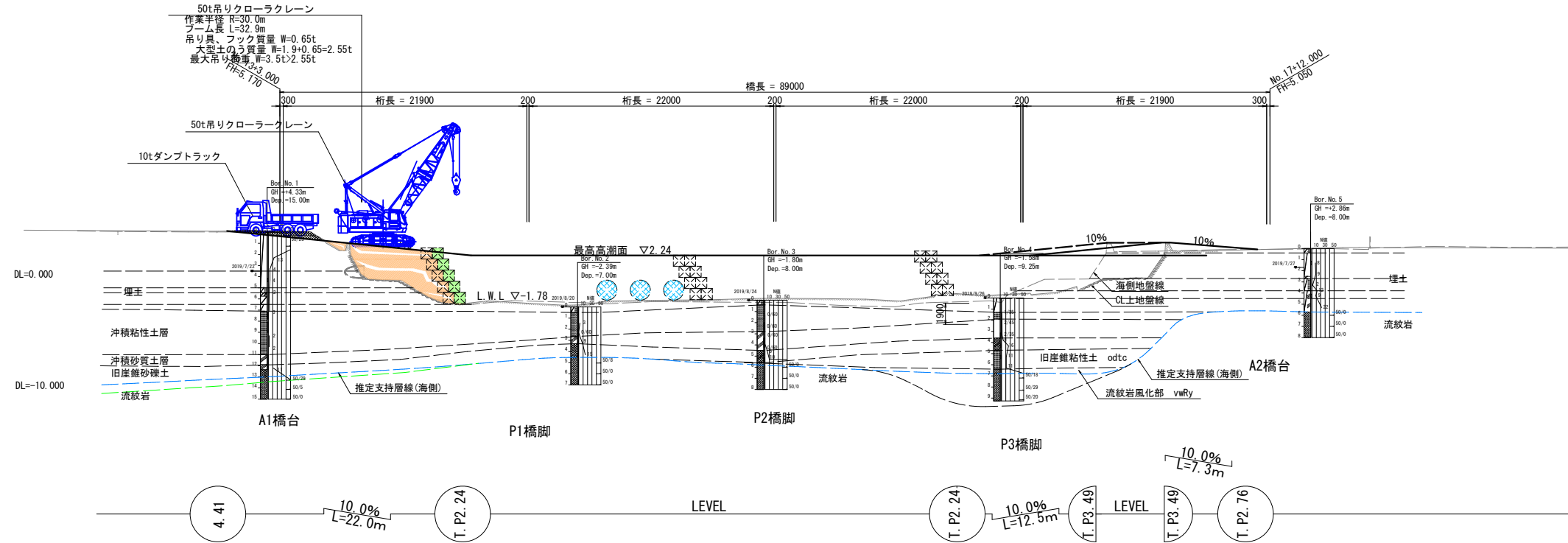
令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

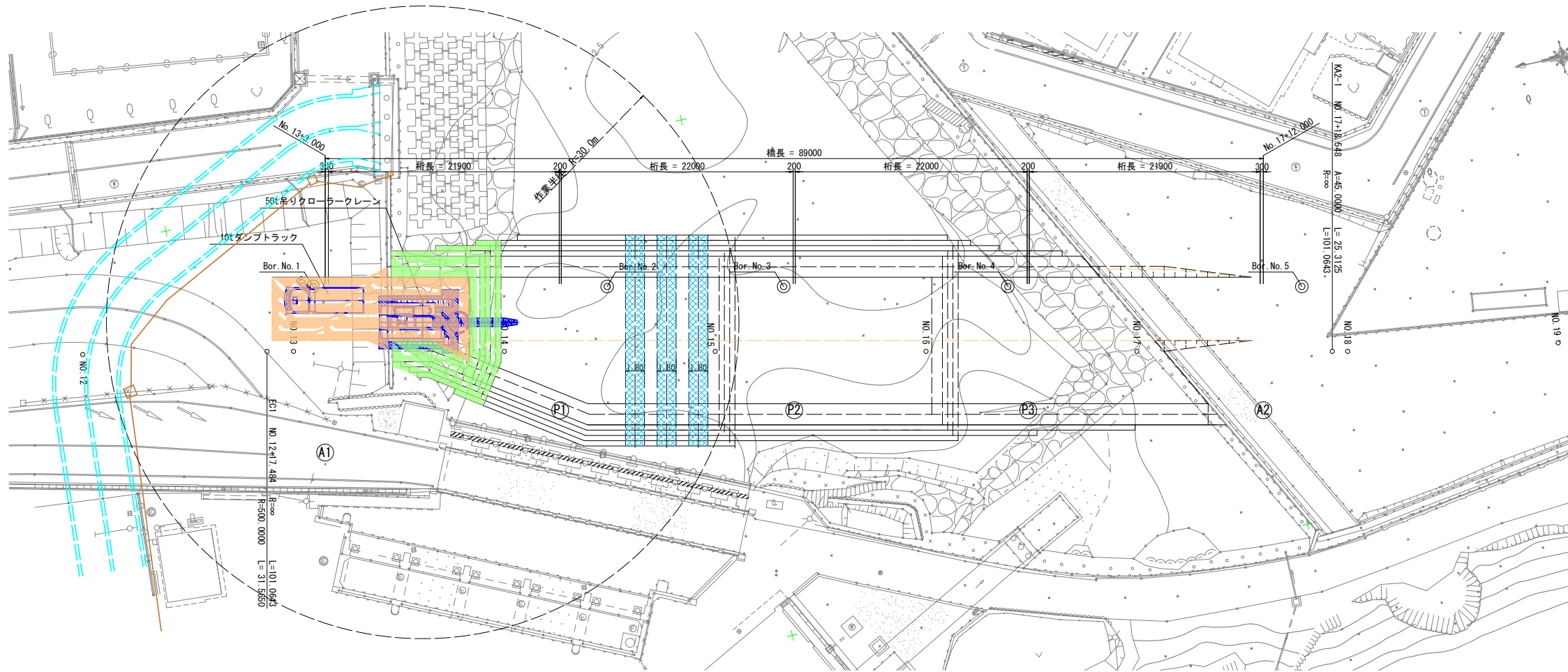
工事名	道路改良工事(新渥美島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	敷鉄板敷設計画図		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	参考図8
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

大型土のう・仮設管渠施工要領図（その1） （Bブロック）

側面図 S=1:250



平面図 S=1:250

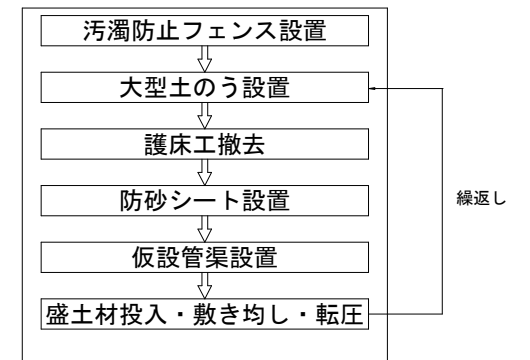


能力表 (50t吊りクローラークレーン) (単位:t)

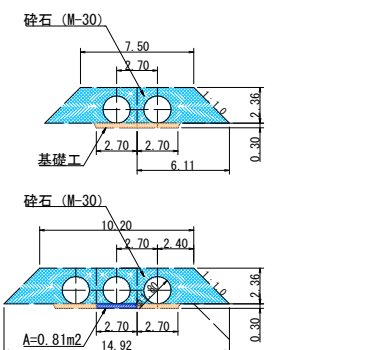
作業半径 (m)	ブーム長さ(m)					
	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6
5.0	30.1/5.2m					
5.5	27.6	26.0/5.7m				
6.0	24.1	24.1	22.8/6.2m	19.8/6.8m		
7.0	19.2	19.2	19.1	19.0	17.8/7.3m	16.1/7.8m
8.0	15.8	15.8	15.7	15.7	15.6	15.5
9.0	13.4	13.4	13.3	13.3	13.2	13.1
10.0	11.6	11.6	11.5	11.4	11.4	11.3
12.0	9.0	9.0	8.9	8.9	8.8	8.7
14.0	7.3	7.3	7.2	7.1	7.0	7.0
16.0	6.1	6.0	6.0	5.9	5.8	5.7
18.0	5.2	5.1	5.0	4.9	4.9	4.8
20.0	4.6/19.7m	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
22.0		3.8	3.7	3.6	3.6	3.5
24.0		3.8/22.3m	3.3	3.2	3.1	3.0
26.0			3.1/25.0m	2.8	2.7	2.6
28.0				2.5/27.6m	2.4	2.3
30.0				3.5/32.9m	2.1	2.0
DL=0.000					2.0/30.3m	1.7

注:フック質量 0.65t

高耐圧ポリエチレン管:1.235 t/5m (作業半径28.1m)
大型土のう:1.9 t/個



標準突出型断面



潮位種別		C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高高潮面	4.96	3.00
H.H.W.L	最高高潮面	4.20	2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87	1.91
M.S.L	平均水面	2.10	0.14
T.M.S.L(旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96	0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01	-0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18	-1.78
C.D.L	最低水面	0.00	-1.96

※T.M.S.L(旧称T.P)で図示している。

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

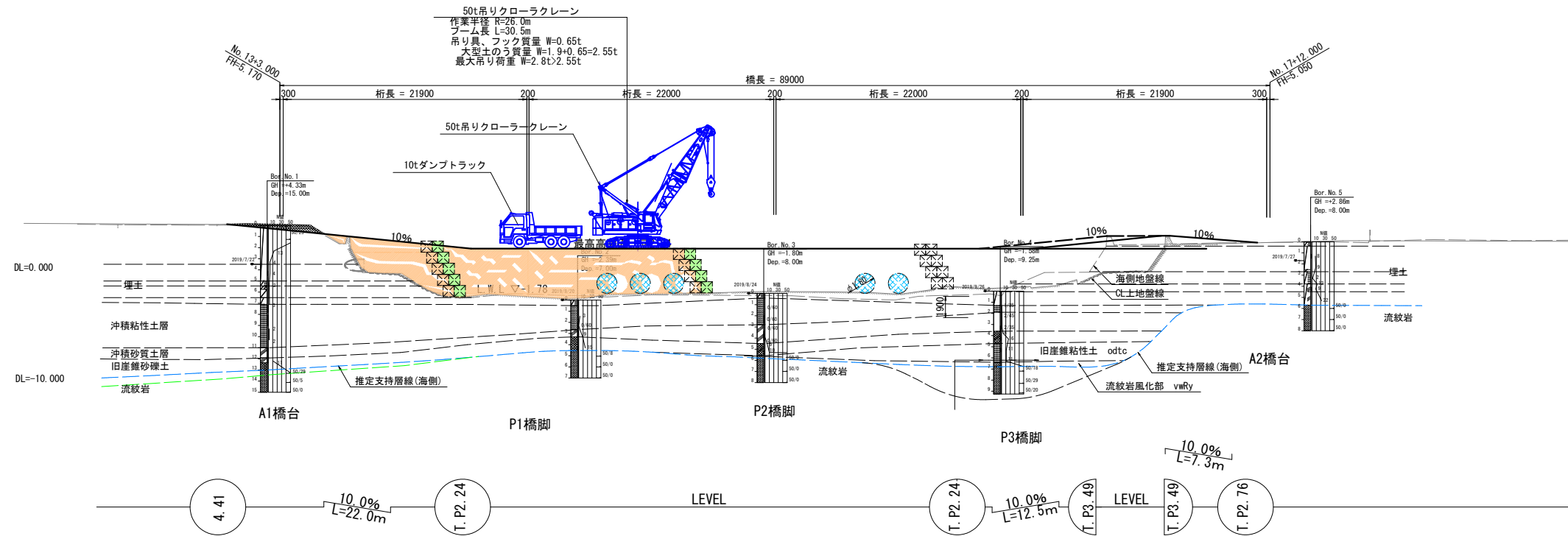
工事名	道路改良工事(新運賃島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	大型土のう・仮設管渠施工要領図(その1)(Bブロック)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	参考図9
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

注) 建設機械は、大型土のうに1.5m以内に近づかないこと

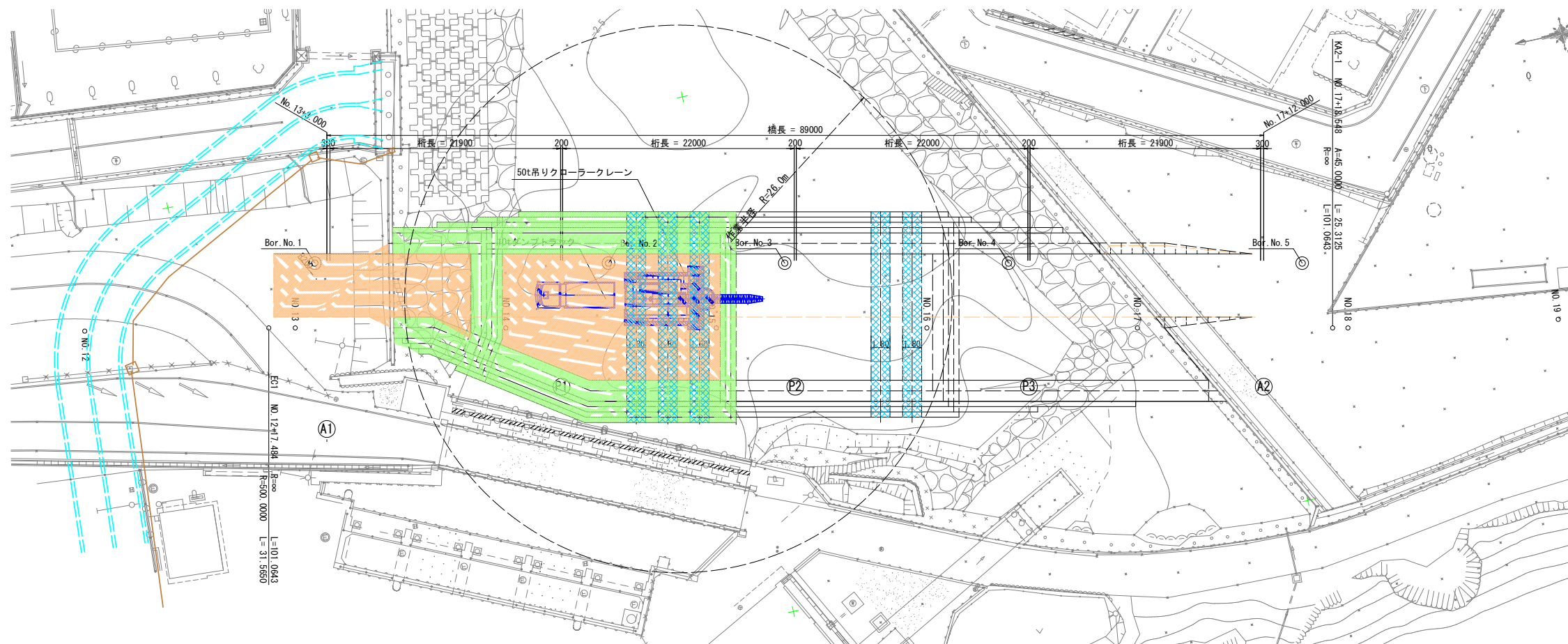


大型土のう・仮設管渠施工要領図（その2） （Cブロック）

側面図 S=1:250



平面図 S=1:250

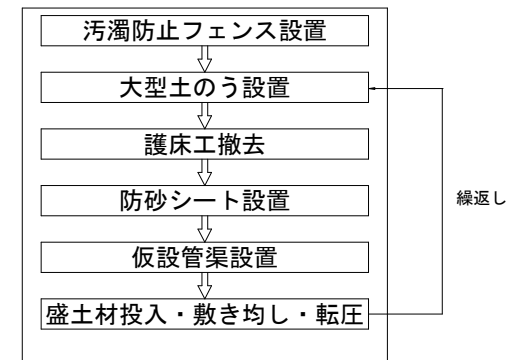


能力表 (50t吊りクローラークレーン) (単位:t)

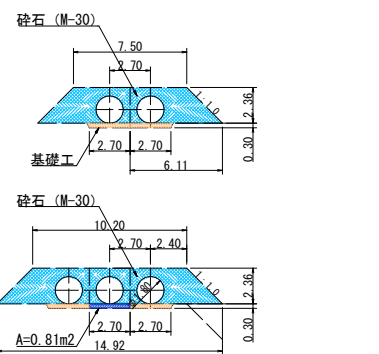
作業半径 (m)	ブーム長さ(m)					
	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6
5.0	30.1/5.2m					
5.5	27.6	26.0/5.7m				
6.0	24.1	24.1	22.8/6.2m	19.8/6.8m		
7.0	19.2	19.2	19.1	19.0	17.8/7.3m	16.1/7.8m
8.0	15.8	15.8	15.7	15.7	15.6	15.5
9.0	13.4	13.4	13.3	13.3	13.2	13.1
10.0	11.6	11.6	11.5	11.4	11.4	11.3
12.0	9.0	9.0	8.9	8.9	8.8	8.7
14.0	7.3	7.3	7.2	7.1	7.0	7.0
16.0	6.1	6.0	6.0	5.9	5.8	5.7
18.0	5.2	5.1	5.0	4.9	4.9	4.8
20.0	4.6/19.7m	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
22.0		3.8	3.7	3.6	3.6	3.5
24.0		3.8/22.3m	3.3	3.2	3.1	3.0
26.0			3.1/25.0m	2.8	2.7	2.6
28.0				2.5/27.6m	2.4	2.3
30.0				3.5/32.9m	2.1	2.0
30.0					2.0/30.3m	1.7

注:フック質量 0.65t

高耐圧ポリエチレン管:1.235 t/5m (作業半径23.5m)
大型土のう:1.9 t/個



標準突出型断面



潮位種別		C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高潮面	4.96	3.00
H.H.W.L	最高潮面	4.20	2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87	1.91
M.S.L	平均水面	2.10	0.14
T.M.S.L (旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96	0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01	-0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18	-1.78
C.D.L	最低水面	0.00	-1.96

※T.M.S.L (旧称T.P) で図示している。

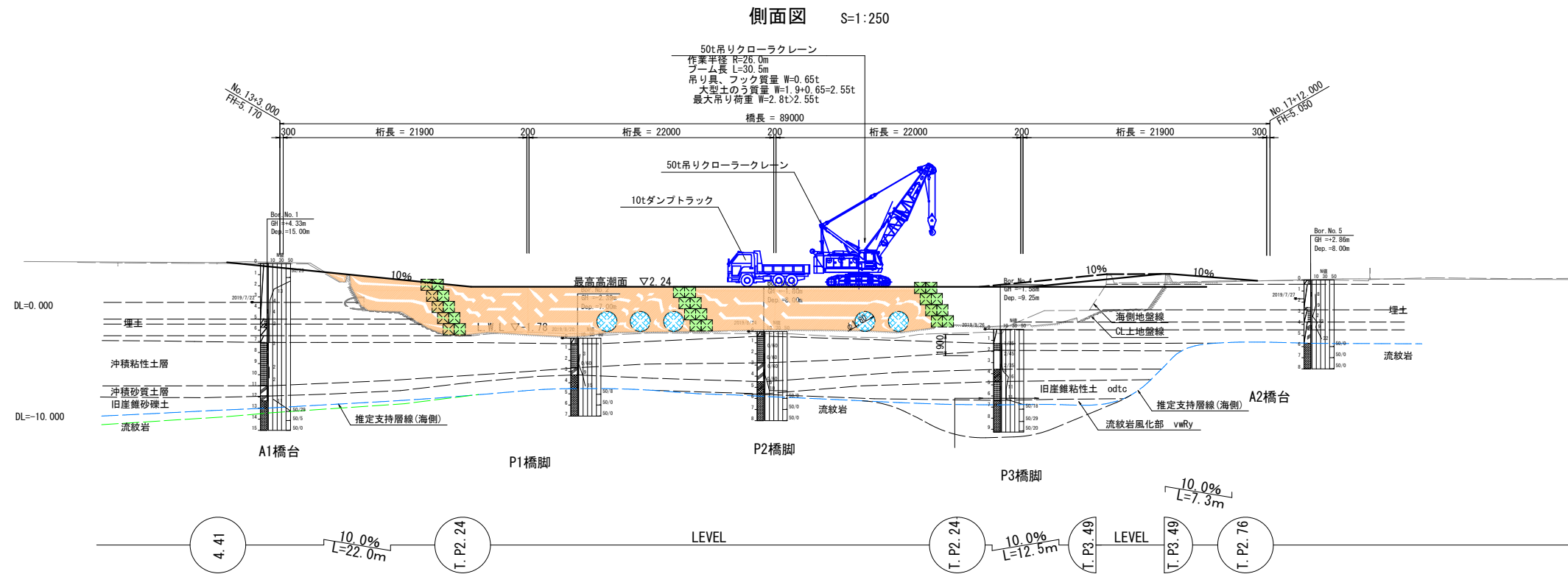
※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事 (新運賃島線 (橋梁下部)・5-1)		
図面名	大型土のう・仮設管渠施工要領図 (その2) (Cブロック)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	参考図10
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

注) 建設機械は、大型土のうに1.5m以内に近づかないこと



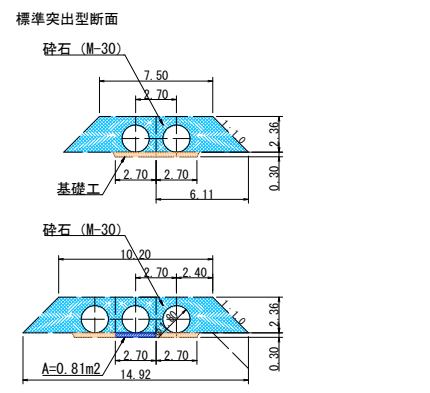
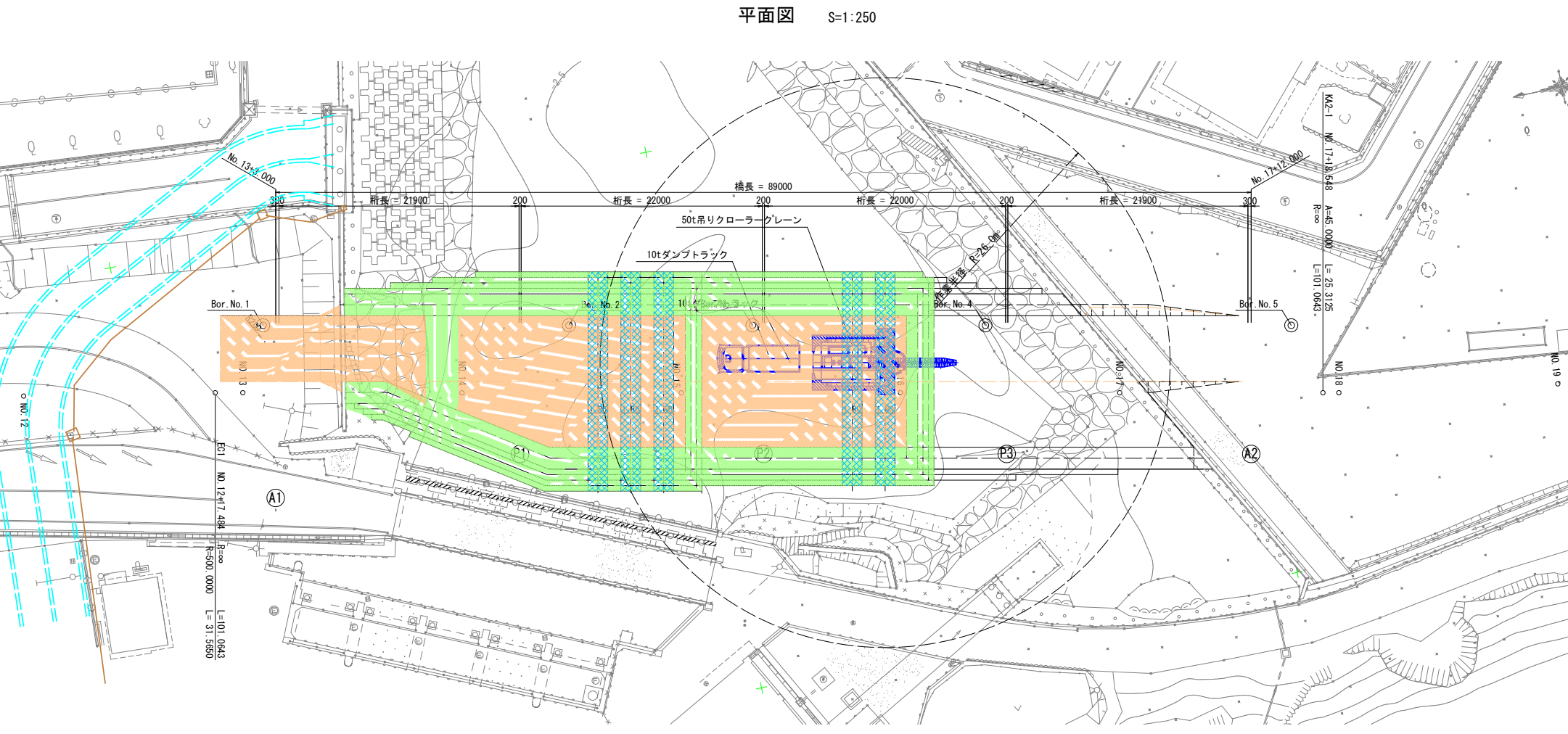
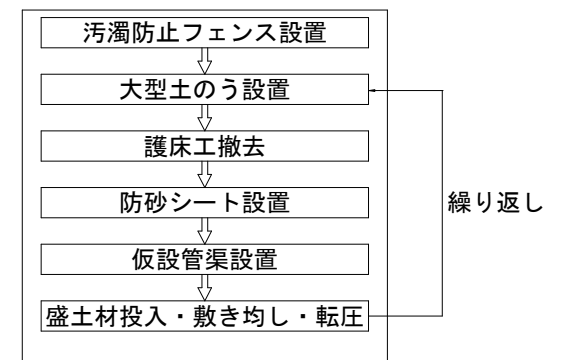
大型土のう・仮設管渠施工要領図（その3） （Dブロック）



能力表 (50t吊りクローラクレーン) (単位:t)

作業半径 (m)	ブーム長さ(m)					
	21.3	24.4	27.4	30.5	33.5	36.6
5.0	30.1/5.2m					
5.5	27.6	26.0/5.7m				
6.0	24.1	24.1	22.8/6.2m	19.8/6.8m		
7.0	19.2	19.2	19.1	19.0	17.8/7.3m	16.1/7.8m
8.0	15.8	15.8	15.7	15.7	15.6	15.5
9.0	13.4	13.4	13.3	13.3	13.2	13.1
10.0	11.6	11.6	11.5	11.4	11.4	11.3
12.0	9.0	9.0	8.9	8.9	8.8	8.7
14.0	7.3	7.3	7.2	7.1	7.0	7.0
16.0	6.1	6.0	6.0	5.9	5.8	5.7
18.0	5.2	5.1	5.0	4.9	4.9	4.8
20.0	4.6/19.7m	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0
22.0		3.8	3.7	3.6	3.6	3.5
24.0		3.8/22.3m	3.3	3.2	3.1	3.0
26.0			3.1/25.0m	2.8	2.7	2.6
28.0				2.5/27.6m	2.4	2.3
30.0				3.5/32.9m	2.1	2.0
30.0					2.0/30.3m	1.7

注:フック質量 0.65t
 高耐圧ポリエチレン管:1.235 t/5m (作業半径23.5m)
 大型土のう:1.9 t/個



潮位種別		C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高高潮面	4.96	3.00
H.H.W.L	最高高潮面	4.20	2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87	1.91
M.S.L	平均水面	2.10	0.14
T.M.S.L (旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96	0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01	-0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18	-1.78
C.D.L	最低水面	0.00	-1.96

※T.M.S.L (旧称T.P) で図示している。

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

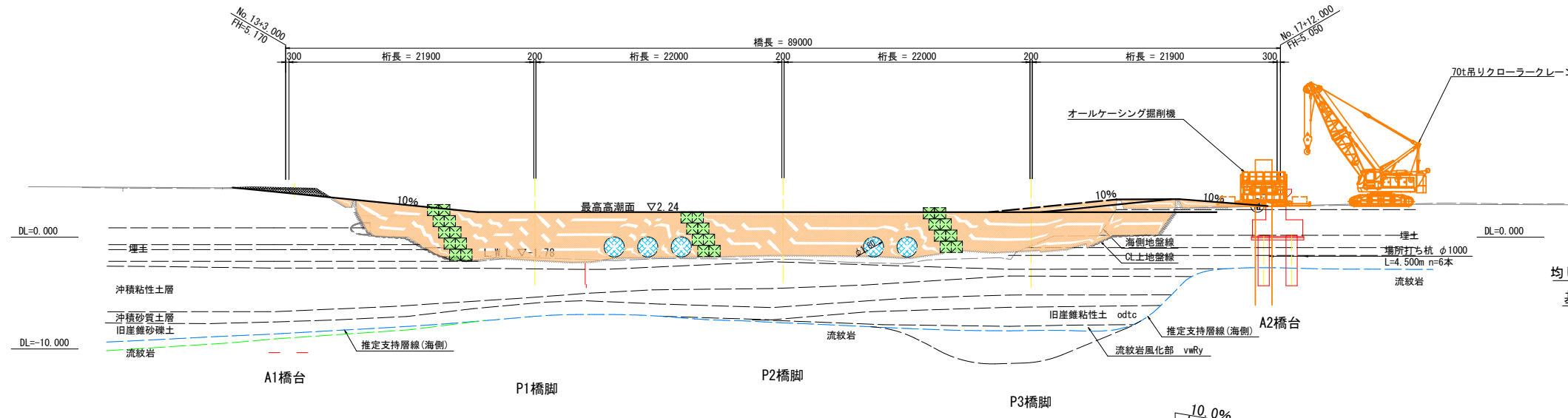
工事名	道路改良工事 (新運賃島線 (橋梁下部) ・5-1)		
図面名	大型土のう・仮設管渠施工要領図 (その3) (Dブロック)		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	参考図11
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

注) 建設機械は、大型土のうに1.5m以内に近づかないこと

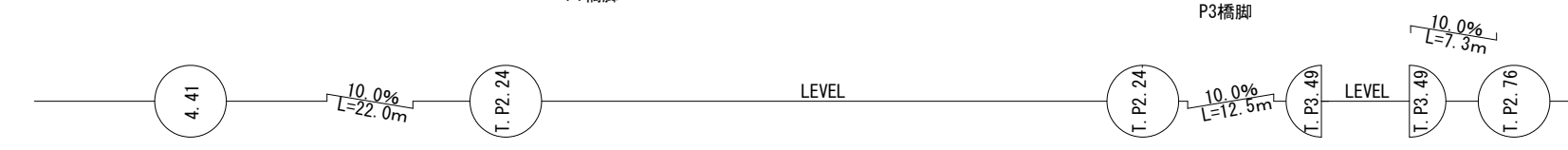
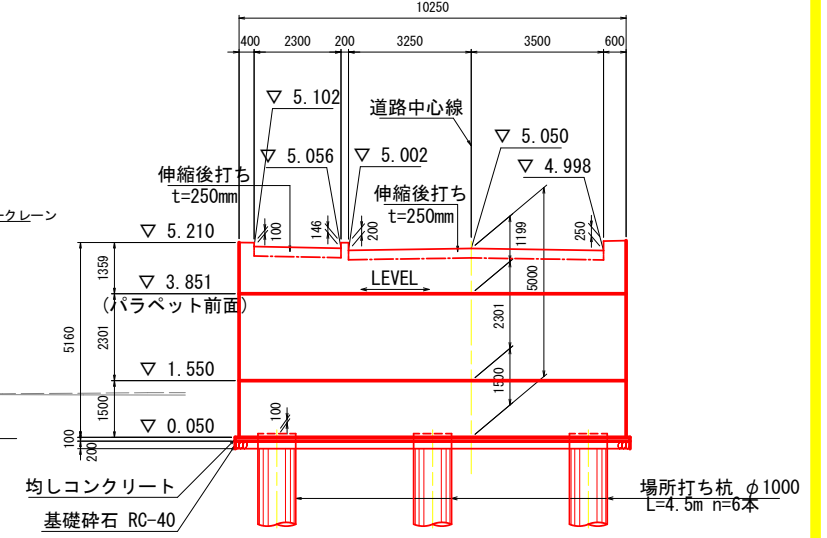


A2橋台基礎工 施工要領図

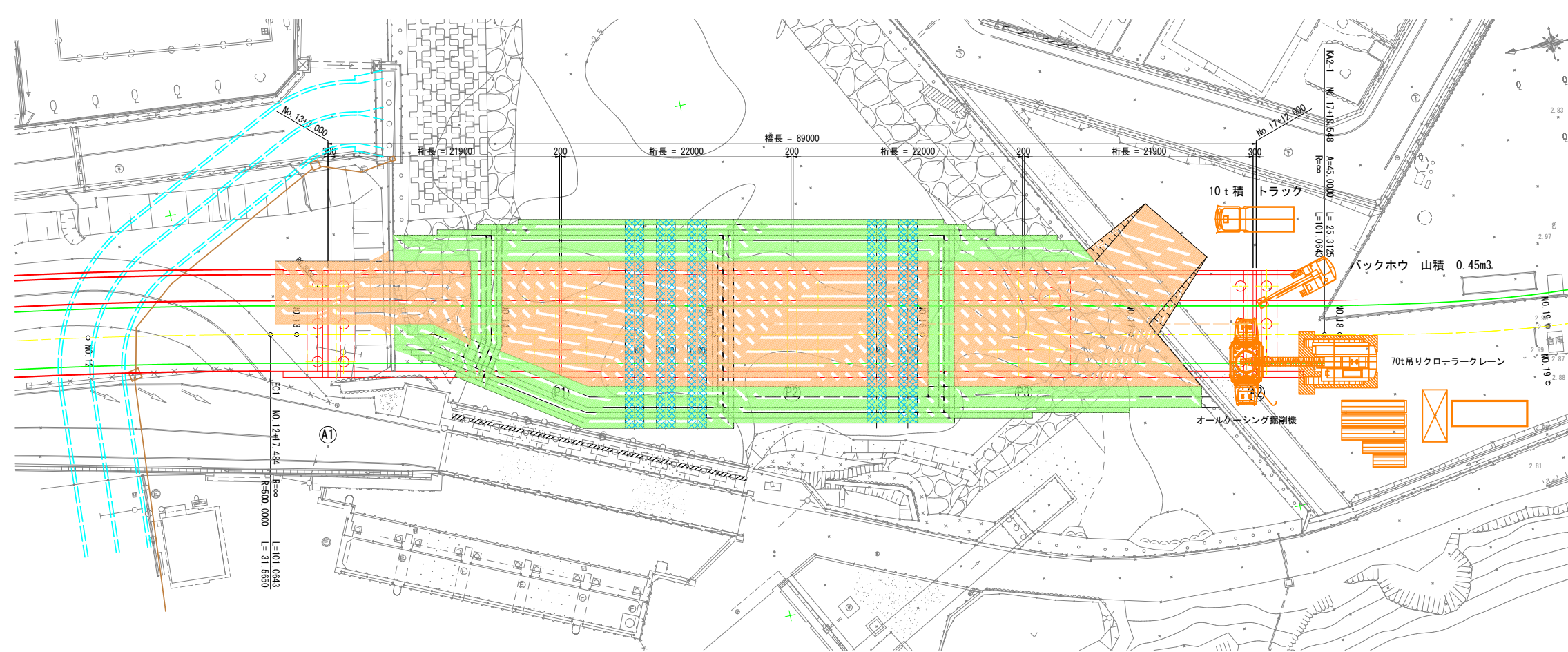
側面図 S=1:250



断面図 S=1:100 L側 R側

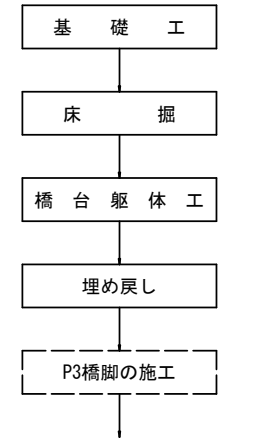


平面図 S=1:250



主な施工機械
 全周回転型オールケーシング掘削機
 クローラークレーン 70t吊り
 バックホウ 山積 0.45m³
 10t積 トラック

<A2橋台橋施工フロー>



注) 建設機械は、大型土のうに1.5m以内に近づかないこと

令和5年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

工事名	道路改良工事(新運賃島線(橋梁下部)・5-1)		
図面名	A2橋台基礎工 施工要領図		
作成年月日	2024年(令和6年)2月		
縮尺	図示	図面番号	参考図12
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		